



# 研修プログラムガイド 2017



四国地区大学教職員能力開発ネットワーク





## 研修プログラムガイド2017の発刊にあたって

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」(SPOD)は、四国地区32の国公立大学・短期大学・高等専門学校によって構成される教職員能力開発の大学間ネットワークです。平成20年度に文部科学省戦略的大学連携支援事業の採択を機に設立され、平成23年度から加盟校の分担金による自主運営体制のもと、取組を継続しています。

SPODは、ネットワークの活動を通じて、学生の豊かな学びと成長を支援する実践的力量をもった高等教育のプロフェッショナルを輩出することを目指しており、加盟校が協力・連携して、教職員の能力開発のプログラムやサービスを提供しています。SPODでは加盟校間での情報共有のために、本ガイドブックを平成21年度より毎年発行し、加盟校の全教職員約7,000名に配布しています。

本誌には、加盟校内で開催し、加盟校間で相互に参加可能な研修プログラムを掲載しています。SPODでは、授業改善、学生支援、マネジメント等幅広いテーマを設け、今年度10件の新規開講を含め教職員の能力開発に役立つ実践的なプログラムを1年を通して多数開講しています。また、昨今の大学教育改革に対応するプログラムも開講しており、「3つのポリシー」に関するプログラムのほか、アクティブ・ラーニングや学習評価など、時代のニーズの声に応じたプログラムを提供しています。

平成20年度から昨年度までの間にSPODが提供したプログラムの受講者数は、延べ17,000名を超えています。四国地区の多くの教職員の皆様にSPOD事業を御活用いただいていることに深く感謝いたします。今後も充実したプログラムやサービスを提供できるよう、議論を重ねて参ります。

本年4月から、大学設置基準でスタッフ・ディベロップメント(SD)が義務化されるなど、教職員の能力開発の重要性は更に高まりをみせています。引き続き加盟校の皆様には、御協力・御支援をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク企画・実施統括者

愛媛大学学長特別補佐、教育・学生支援機構教育企画室長

**小林 直人**

# 研修プログラムガイド2017目次

|                                     |    |                                                                                 |    |
|-------------------------------------|----|---------------------------------------------------------------------------------|----|
| 研修プログラムガイド利用の手引き                    | 3  | 講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン・考え方と進め方                                               | 39 |
| 四国地区大学教職員能力開発ネットワーク                 | 4  | <b>New!!</b> 大人数講義法～良い授業づくりのコツ～                                                 | 39 |
| SPODにおけるFDについて                      | 6  | はじめてみよう! アクティブ・ラーニング                                                            | 40 |
| SPODにおけるSDについて                      | 8  | グループワークの技法                                                                      | 40 |
| はじめてSPOD研修プログラムを利用される方へ             | 11 | シラバスブラッシュアップワークショップ                                                             | 41 |
| 日程別プログラム一覧                          | 12 | <b>New!!</b> 新任教員のためのリフレクションセミナー                                                | 41 |
| 開催大学別プログラム一覧                        | 14 | 能動的学習支援者必須! グループワークのためのファシリテーション入門                                              | 42 |
| テーマ別プログラム一覧                         | 16 | FD/SDプログラム(教職員対象)                                                               | 43 |
| 平成29年度SPOD加盟校内講師派遣プログラム一覧           | 18 | 学生の学びやすさと学習意欲を高める授業設計-課題分析図の活用-                                                 | 44 |
| 研修プログラム                             |    | アクティブラーニング入門セミナー                                                                | 44 |
| FDプログラム(主に教員対象)                     | 19 | プロジェクトマネジメント                                                                    | 45 |
| 授業設計ワークショップ                         | 20 | 講義のための話し方入門                                                                     | 45 |
| ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ             | 21 | <b>New!!</b> 3つのポリシー(ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー; アセスメント・ポリシー)の開発と一貫性構築 | 46 |
| 新任教員研修会「よりよい授業のためのFDワークショップ」        | 22 | 学習者の学習意欲を高める授業設計を行うための                                                          |    |
| 大人数講義をもっとうまくやるためのコツ                 | 23 | インストラクショナル・デザイン(ID) 入門-ARCS動機づけモデルの活用-                                          | 46 |
| 始めよう! アクティブ・ラーニング型授業-協同学習・話し合いの技法編- | 23 | eラーニング活用(入門編)-学習支援システムMoodleを活用して                                               |    |
| 始めよう! アクティブ・ラーニング型授業-協同学習・教え合いの技法編- | 24 | きめ細やかな学習支援を実現しよう-                                                               | 47 |
| 始めよう! アクティブ・ラーニング型授業-協同学習・問題解決の技法編- | 24 | <b>New!!</b> IRer養成講座                                                           | 47 |
| 始めよう! アクティブ・ラーニング型授業-協同学習・図解の技法編-   | 25 | 学生の授業時間外学習を促すシラバス作成法                                                            | 48 |
| 始めよう! アクティブ・ラーニング型授業-協同学習・文章作成の技法編- | 25 | <b>New!!</b> メンタルヘルス研修会-ストレスマネジメント                                              |    |
| 初心者のためのクリッカー講座                      | 26 | およびアンガーマネジメントの基礎知識-                                                             | 48 |
| 学生の学びを促すシラバスの書き方                    | 26 | SDプログラム(主に職員対象)                                                                 | 49 |
| 基礎から学ぶ学習評価法                         | 27 | 次世代リーダー養成ゼミナール                                                                  | 50 |
| 学生参加型授業の技法                          | 27 | 大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅠ) 第1回                                               |    |
| <b>New!!</b> シラバス・授業を改善しよう!         | 28 | 【新任職員研修】                                                                        | 52 |
| 「アカデミック・スキル」をどう教えるか                 | 28 | 大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅠ) 第2回                                               | 53 |
| 「日本語技法」をどう教えるか                      | 29 | 大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅡ)                                                   | 54 |
| 会議マネジメント                            | 29 | 大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅢ)                                                   | 55 |
| <b>New!!</b> 学生のやる気を引き出すアイスブレイクの技法  | 30 | 職員のための講師養成講座                                                                    | 56 |
| <b>New!!</b> クラスルームコントロール           | 30 | <b>New!!</b> 問題発見・解決の技法                                                         | 57 |
| 効果的なグループワークの進め方                     | 31 | スタッフ・ポートフォリオ作成ワークショップ                                                           | 58 |
| 効果的なeラーニングの活用方法(超入門編)               | 31 | ブレFDプログラム(大学院生・学部生対象)                                                           | 59 |
| 学習評価の基本                             | 32 | TA講習                                                                            | 60 |
| ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ             | 32 | ファシリテーション力養成道場                                                                  | 61 |
| 授業デザインワークショップ                       | 33 | 総合プログラム                                                                         | 63 |
| 大人数講義法の基本                           | 34 | SPODフォーラム2017                                                                   | 64 |
| <b>New!!</b> ジグソー学習法入門              | 34 | 大学教育カンファレンス in 徳島                                                               | 65 |
| ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ<高専対象>       | 35 | 愛媛大学教育改革シンポジウム                                                                  | 66 |
| アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ             | 36 | 学内向け研修プログラム                                                                     | 67 |
| 英語で授業をしたい教員のためのワークショップ              | 36 | 各種研修プログラムの                                                                      |    |
| 大学授業入門                              | 37 | お申し込み・お問い合わせについて                                                                | 74 |
| 学生の学びを支援する授業準備ワークショップ               | 38 |                                                                                 |    |

# 研修プログラムガイド利用の手引き

## 〈検索方法について〉

本ガイドブックには、教職員の皆様に、様々なニーズから研修プログラムを探していただくために下記の3つの検索方法があります。

### ○日程別プログラム一覧 p.12 ～ 13

各研修プログラムを、日程順に掲載しています。日程から研修プログラムを検索したい場合に便利です。また、開催大学や内容（教員対象か職員対象かなど）についてもあわせて掲載しておりますので、ご参照ください。

### ○開催大学別プログラム一覧 p.14 ～ 15

各研修プログラムを、開催大学別に掲載しています。開催大学から研修プログラムを検索したい場合に便利です。なお、遠隔配信の欄にマークが付いているプログラムは、システムが整備されている加盟校への遠隔配信を予定しているものです。遠隔配信の申し込み方法については、p.74 をご参照ください。

### ○テーマ別プログラム一覧 p.16 ～ 17

各研修プログラムを、テーマ別に掲載しています。内容から研修プログラムを検索したい場合に便利です。なお、開催大学についてもあわせて掲載しておりますので、ご参照ください。

## 〈研修プログラムの表記について〉

**申し込みの際に  
利用するプログラム番号です。**

**遠隔配信予定  
プログラムです。**

**プログラム番号 1-019**

**研究室運営方法のコツ—先輩が後輩を指導するシステムづくり—**

**遠隔** **FD/SD**

**プログラムの対象を  
表しています。**

**開催地（もしくは開催大学）  
を表しています。**

**申し込み方法については、  
74ページをご参照ください。**

**プログラムに関連する  
参考資料や写真を  
掲載しています。**

**※対象者**  
研究室の運営に関わる教職員

**※対象校**  
SPOD加盟校

**※目標**  
右記参照

**※講師**  
城岡祥子、山内一祥、大竹奈津子（愛媛大学教育企画室）

**※日時**  
9月17日（金）13:00～15:00

**※場所**  
教大ニュース1階・アクティブラーニングスペース2

**※受講定員**  
30名

**※主催**  
愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室

**※その他**  
開講日2週間前、先着順

**※申込先・問合先**  
愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail: info@iec.ehime-u.ac.jp

**※目標\***  
1. 研究室のルールを作ることができる。  
2. 研究室内で先輩が後輩を指導するシステムを作ることができる。

**※内容\***  
1. 〈ワーク〉研究室運営に関する問題点の共有  
2. 研究室教育をとりまく状況  
(1) 中教審答申「新時代の大学院教育」  
(2) なぜ研究室教育はうまく機能しなくなったのか  
3. 研究室教育は必要なのか？  
(1) 工学系卒業生への調査から  
(2) 愛媛大学大学院教育WG報告書  
4. ケーススタディ  
5. 研究室への参加を促す仕組み  
(1) 新しいメンバーがスムーズに研究室に入れるようにするには  
(2) ルール作りのコツ  
6. 先輩が後輩の面倒を見るシステムづくり  
7. 〈ワーク〉研究室のルール作成

**参考資料**  
4. ケーススタディ  
～とある研究室の一年～  
前編：新学連ミーティング  
・教員生懇談会  
・中教審答申  
・夏の大研修・院内パーティー  
・秋の研修  
・11月の研修  
・卒業生との会合・卒業旅行  
・卒業生  
・卒業生旅行  
後編：月1で研究室研修  
・夕食やお茶は随時

〈注〉各研修プログラムの日時、講師等の詳細が未定の箇所につきましては、問い合わせ先にご確認ください。また、プログラムの詳しい内容が決まり次第、SPODホームページ（<https://www.spod.ehime-u.ac.jp/>）に掲載していきますので、ご参照ください。

# 四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

(ネットワーク略称 SPOD=Shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Education)

学生の豊かな学びと成長を支援する、実践的力量をもった  
高等教育のプロフェッショナルの輩出

## 愛媛…12校

### ■大学 ⑤

- ・愛媛大学(国)
- ・愛媛県立医療技術大学(公)
- ・聖カタリナ大学(私)
- ・松山大学(私)
- ・松山東雲女子大学(私)

### ■短期大学 ⑤

- ・今治明德短期大学(私)
- ・環太平洋大学短期大学部(私)
- ・聖カタリナ大学短期大学部(私)
- ・松山東雲短期大学(私)
- ・松山短期大学(私)

### ■高等専門学校 ②

- ・新居浜工業高等専門学校(国)
- ・弓削商船高等専門学校(国)

## 香川…6校

### ■大学 ③

- ・香川大学(国)
- ・香川県立保健医療大学(公)
- ・高松大学(私)

### ■短期大学 ②

- ・香川短期大学(私)
- ・高松短期大学(私)

### ■高等専門学校 ①

- ・香川高等専門学校(国)

## 高知…6校

### ■大学 ③

- ・高知大学(国)
- ・高知県立大学(公)
- ・高知工科大学(公)

### ■短期大学 ②

- ・高知短期大学(公)
- ・高知学園短期大学(私)

### ■高等専門学校 ①

- ・高知工業高等専門学校(国)

## 徳島…8校

### ■大学 ④

- ・徳島大学(国)
- ・鳴門教育大学(国)
- ・四国大学(私)
- ・徳島文理大学(私)

### ■短期大学 ③

- ・四国大学短期大学部(私)
- ・徳島工業短期大学(私)
- ・徳島文理大学短期大学部(私)

### ■高等専門学校 ①

- ・阿南工業高等専門学校(国)

## ネットワーク加盟校の構成

四国地区の高等教育機関が加盟  
ネットワーク参加校総数 32校  
(大学15、短期大学12、高等専門学校5)

## SPODの概要

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」(SPOD)は、四国地区の32の国公立大学・短期大学・高等専門学校によって構成される教職員能力開発の大学間ネットワークです。平成20年度に文部科学省戦略的大学連携支援事業の採択を機に設立されました。本事業は平成22年度で補助金交付が終了しましたが、平成23年度から各加盟校の分担金による自主運営体制のもと、取組が継続されています。

SPODは、ネットワークの活動を通じて、学生の豊かな学びと成長を支援する実践的力量をもった高等教育のプロフェッショナルを輩出することを目指しています。4県に位置するネットワークコア校を中心に、加盟校が協力・連携して、教職員の能力開発(FD・SD)のプログラムやサービスを提供しています。

## 取組内容

### FD・SD共通

- 1 SPODフォーラムの開催
- 2 コンサルティング・講師派遣事業
- 3 FD・SDに関する調査研究
- 4 情報提供サービス

### FD

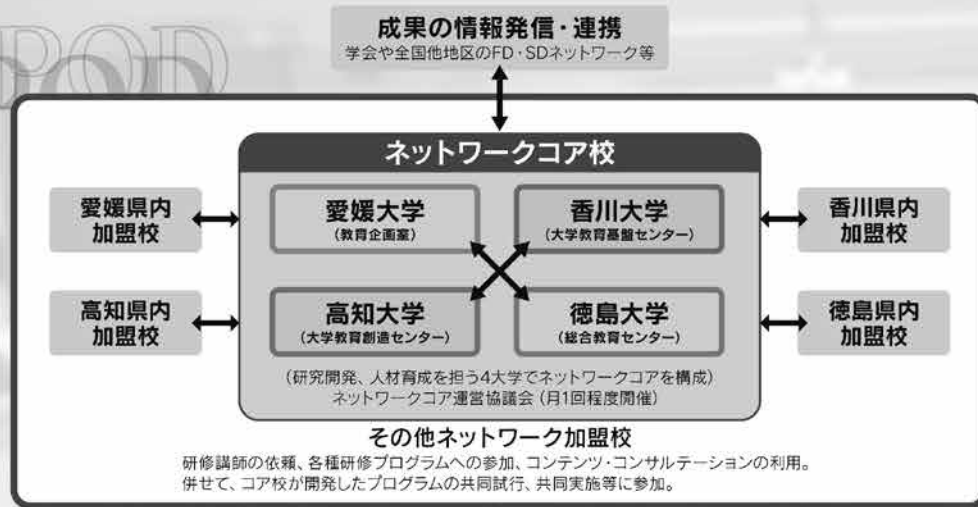
- 1 FD担当者の養成
- 2 新任教員研修の実施、公開
- 3 ティーチング・ポートフォリオ研修の実施
- 4 各加盟校におけるプログラムの公開

### SD

- 1 SDプログラムの体系的・段階的・継続的实施
- 2 次世代リーダー養成プログラムの実施
- 3 講師養成によるSDの継続的な実施
- 4 SPOD-SDCの輩出

URL <http://www.spod.ehime-u.ac.jp/>

## ネットワーク運営体制



### ① ネットワークコア、加盟校間での連携



### ② 加盟校相互での連携

研修講師派遣、先進事例実地調査、遠隔会議システム等を活用した情報交換等

## 実績・成果

### ■集中日程によるFD・SD研修を行うSPODフォーラムの実施

フォーラム 2009 (参加者延べ約 980 名)、2010 (参加者延べ約 1,000 名)、2011 (参加者延べ約 1,300 名)、2012 (参加者延べ約 1,400 名)、2013 (参加者延べ約 1,540 名)、2014 (参加者延べ約 1,300 名)、2015 (参加者延べ約 1,500 名)、2016 (参加者延べ約 1,470 名) を開催。フォーラム 2016 では参加者の 99% から有意義又は満足との高い評価を得ている。

### ■多種多様な研修プログラムの実施

加盟校が参加可能な FD・SD プログラムを網羅的に掲載した統一ガイドブック「研修プログラムガイド」を作成・配付することにより、平成 27 年度は延べ 2,500 名以上の教職員が参加した。

### ■FDプログラムの標準化

ネットワークコア校において、ほぼ共通の目標、内容、日程での新任教員研修を実施している。どのコア校の研修に参加しても同様の効果を得ることができる。

### ■教職員によるSDプログラムの開発・実施

教職員が、大学、短期大学、高等専門学校のニーズを取り入れた SD マップを教職協働で完成させ、マップに基づき開発した研修プログラムを実施している。SD 研修プログラムを担当できる職員 (講師養成) を育成するための研修も実施し、SPOD で講師を務めている。



- 小規模校が単独で開催することが難しい研修を実施
- FD・SDに関する最新の話題、課題、考え方などの情報の共有が可能

問い合わせ先／四国地区大学教職員能力開発ネットワーク事務局(愛媛大学教育学生支援部教育企画課)  
TEL:089-927-9154 E-mail:spod@stu.ehime-u.ac.jp

# SPODにおけるFDについて

---

## (1) SPODにおけるFDとは

SPODにおけるFDは、教育・学習効果を最大限に高めることを目指した、1) 授業改善、2) カリキュラム改善、3) 組織整備・改革 への組織的な取組の総称です。

大学設置基準では、「大学は、当該大学の授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。」と定められています。SPODにおけるFDは、この条文の定義よりFDを広く捉えて、研修の機会を大学間で連携して提供しています。

### 1) 授業改善 (Instructional Development)

個々の授業をより良いものにするための取組です。具体的には、授業評価アンケート、教員相互の授業参観、授業コンサルティング、教授法に関する講演会、シンポジウム、ワークショップ、セミナーなどがこれにあたります。

〈SPODでの取組例〉

- ・ 新任教員研修
- ・ 各種スキルアップ系研修
- ・ 各種公開セミナー
- ・ ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ

〈各大学での取組例〉

- ・ 教員相互の授業参観、授業講評会
- ・ 学生による授業評価アンケート
- ・ 各種セミナー
- ・ 学生との意見交換会

### 2) カリキュラム改善 (Curriculum Development)

学部、学科、課程、コース等において提供されるカリキュラムや教育プログラムをより良いものにするための取組です。具体的には、カリキュラム・ポリシーの制定、授業科目の新設・改廃、授業科目間の関連性の検討、カリキュラムの現状診断・評価・開発、またこれらに関わるセミナーなどがこれにあたります。

〈SPODでの取組例〉

- ・ FD担当者研修
- ・ カリキュラム改善に関するセミナー

〈各大学での取組例〉

- ・ カリキュラム・ポリシー制定に関する学内FD研修会
- ・ カリキュラム・ポリシーに対応した各授業科目の授業内容の検討
- ・ カリキュラム・マップの作成
- ・ 副専攻制導入の検討

### 3) 組織の整備・改革 (Organizational Development)

教育・学生支援に関わる組織の構造や組織間の関係をより機能的なものにするための取組です。具体的には、教育・学生支援に関わる委員会の設置・改廃、各委員会の役割の検討、組織の現状診断・評価・再編、組織間での連携協力、管理職等を対象とした各種研修会がこれにあたります。

〈SPODでの取組例〉

- ・ FD担当者研修
- ・ 講師派遣事業によるコンサルティング

#### 〈各大学での取組例〉

- ・ SPODに関するFD実施体制の構築
- ・ FD委員会等組織の見直し
- ・ 学科・コースの再編及びそれに伴う教員の再配置
- ・ 教育重点型教員の配置

1), 2) においては, 組織レベルのみならず教員個人レベルにおける取組も重要です。そして, 1), 2), 3) いずれにおいても, 常にPDCAサイクルを意識して, 持続的に改善を図る姿勢が肝要であると考えます。

### 【SPOD—FDプログラムのレベルについて】

国立教育政策研究所が開発したFDマップを利用して, 本ガイドブックに掲載されているSPOD—FDプログラムのレベル分類をおこなっています。FDマップとは, FDプログラムを体系的に整理できる枠組です(図参照)。FDマップでは, 横軸にFDプログラムを実施する対象を示し, 「ミクロ・レベル(授業・教授法の開発)」「ミドル・レベル(カリキュラム・プログラム開発)」「マクロ・レベル(組織の教育環境・教育制度の開発)」に分類しています。そして縦軸にFDを実施する対象者の能力開発の段階を示し, 「Ⅰ. 導入(気づく・わかる)」「Ⅱ. 基本(実践できる)」「Ⅲ. 応用(開発・報告できる)」「Ⅳ. 支援(教えられる)」と4つのフェーズに分かれています。

本ガイドブック「テーマ別索引」(p.16)に, 各プログラムのレベルとフェーズを提示しておりますのでご参照ください。

| レベル<br>フェーズ         | ミクロ<br>個々の教員<br>授業・教授法 | ミドル<br>教務委員<br>カリキュラム・プログラム | マクロ<br>管理者<br>組織の教育環境・教育制度 |
|---------------------|------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| Ⅰ. 導入<br>(気づく・わかる)  |                        |                             |                            |
| Ⅱ. 基本<br>(実践できる)    |                        |                             |                            |
| Ⅲ. 応用<br>(開発・報告できる) |                        |                             |                            |
| Ⅳ. 支援<br>(教えられる)    |                        |                             |                            |

図. FDマップのフレームワーク

参考・引用文献  
国立教育政策研究所 FDer研究会「大学・短大でFDに携わる人のためのFDマップと利用ガイドライン」国立教育政策研究所, 2009

## (2) FDプログラムの内容

FDプログラムは主に, 1) FD担当者の養成, 2) 新任教員研修, 3) ティーチング・ポートフォリオに関する研修, 4) その他各種研修で構成されています。

### 1) FD担当者の養成

以下の研修等を実施し, 各加盟校において, より主体的なFD活動を行うことのできるFD担当者の養成を行います。

- ・ FD担当者研修

### 2) 新任教員研修

教員としてのキャリアパスの早期において基礎的な内容を学習できる新任教員等向けの研修を実施・公開します。このプログラムは, どのコア校が主催する新任教員研修を受講しても同様の効果が得ら

れるよう、標準化されています。

- ・授業設計ワークショップ
- ・よりよい授業のためのFDワークショップ
- ・授業デザインワークショップ
- ・学生の学びを支援する授業準備ワークショップ

### 3) ティーチング・ポートフォリオ研修

各自の教育活動を振り返り、自身の教育理念、課題などを整理し教育力向上、意識改革の一助となる「ティーチング・ポートフォリオ」（教育業績記録）作成に関するワークショップを実施・公開します。

- ・ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ，更新ワークショップ
- ・アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ

### 4) その他各種研修

各加盟校で実施するプログラムを相互に公開し，参加を促進します。

- ・アクティブ・ラーニングに関するプログラム
- ・学生の学びの支援に関するプログラム
- ・ICTに関するプログラム
- ・教学IRに関するプログラム
- ・学習評価に関するプログラム

## SPODにおけるSDについて

---

### (1) SPODにおけるSDとは

SPODにおけるSDは、四国内の大学、短期大学、高等専門学校（以下、大学等という）の職員が組織的に共同開発した職員養成プログラムを実施し、大学等のジェネラリストとしての広汎な素養に加え、スペシャリストとして特定分野の能力開発を行うことにより、高等教育のプロフェッショナルを育成する取組です。

大学設置基準において、「大学は、当該大学の教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、その職員に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修（第25条の3に規定するものを除く。）の機会を設けることその他必要な取組を行うものとする。」という条文が加えられました。SPODにおけるSDは、この条文に書かれた研修の機会を大学間で連携して提供するものです。

その特徴として次の3点が挙げられます。

第一に、大学等間で協力してSDプログラムを開発・実施することで、多様な研修プログラムの機会を提供していることです。キャリア段階別研修、職務別能力開発研修など個々の職員のニーズに合った研修を提供しています。

第二に、大学等を越えた交流促進へ寄与することです。研修にはSPOD加盟校の職員であれば参加できるため、大学等での取組の工夫や課題を参加者間で共有することができます。

第三に、継続性が念頭に置かれていることです。SDコーディネーターの養成や講師養成研修などにより研修の担い手を育成することで、SPODや各大学等の自立的なSDを継続的に実施できるように支援しています。

## (2) SDプログラムの内容

SDプログラムは、1) キャリア段階別研修、2) 職務別能力開発研修、3) 次世代リーダー養成ゼミナール、4) SDコーディネーター及びSD講師の育成、5) 各大学等の職員能力開発の5つの柱で構成されています。

### 1) キャリア段階別研修

新任職員・若手職員から管理職員までのキャリア段階別研修として「大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅠ～レベルⅢ）」を実施しています。この研修では、職務遂行力（テクニカルスキル）、人間力（ヒューマンスキル）、管理・運営力（マネジメントスキル）の3領域の能力開発を目指しています。また、全職員の共通研修としてハラスメント研修等を実施しています。そのほかに、学長や役員も対象としたトップリーダー研修も年に1回程度開催しています。

着任早々の新任職員対象のプログラムは、四国4県から対象職員が参集し、大学職員・社会人としての基礎から学びます。その後、段階を追うごとに部下及び上司との関係性、管理職員としての視点、人材育成に資する能力を培うことなど、それぞれのキャリア段階に応じた研修プログラムを提供しています。プログラムの受講に加えて、参加者間の交流を通じた職員ネットワークの構築にも繋がっています。

- ・ 新任職員研修（レベルⅠ）
- ・ 若手職員研修（レベルⅠ）
- ・ 中堅職員研修（レベルⅡ）
- ・ 管理職員研修（レベルⅢ）
- ・ 共通研修
- ・ トップリーダー研修

### 2) 職務別能力開発研修

職務別能力開発研修として以下の3領域の研修を実施しています。プログラム構築の過程で各職務に応じた目標設定や内容を厳選しており、実践に応じたプログラムの提供に努めています。研修レベルも新任職員（レベルⅠ）から管理職員（レベルⅢ）までの段階を追った構成になっています。

- ・ 学務系職員養成研修
- ・ 社会連携系職員養成研修
- ・ 国際連携系職員養成研修

### 3) 次世代リーダー養成ゼミナール

次代のトップリーダーとして大学等の経営を担うために必要な「理論」「技能」「態度」を段階的に学び・修得する140時間を超える総合研修プログラムを提供しています。本ゼミナールは、2年間で8回の日程（2泊3日の合宿形式）で実施しており、プログラムは、「講義」「プロジェクト」「SD実践」の3つの柱で構成されています。受講者は各大学等の学長から推薦を受けた少数精鋭の職員です。受講対象者は、SPOD加盟校の職員としていますが、定員に達していない場合は、SPOD加盟校外の職員を受け入れます。

### 4) SDコーディネーター及びSD講師の育成

SPODでは、各大学等のSDの自立的運営を目指しており、受講者が講師として必要な知識・技能・態度を身に付け、次期のSDプログラム講師を務めることができる研修プログラムを提供しています。

SDコーディネーターの養成プログラムや次世代リーダー養成ゼミナールを修了した者で、以下の認定基準を満たし、諸手続を経て審査に合格した者には、SPOD-SDC資格が認定されます。

SPOD-SDCに認定を受けた者は、所属大学等のSD推進に加えて、SPODの新任職員研修やSPODフォーラムなどで研修講師としても活躍しています。

- ・ 講師養成研修
- ・ SDコーディネーターの養成

#### SPOD-SDC の資格認定基準

1. SPOD-SD（又は自大学におけるSD）講師を務めることができる。
2. 職員のキャリアプランニングをサポートすることができる。
3. 大学等における職員人材育成ビジョンの構築方法について説明することができる。
4. 大学等におけるSDプログラムの企画・立案ができる。
5. スタッフ・ポートフォリオの有益性を説明することができる。

#### 5) 各大学等の職員能力開発支援

SPODでは、以下の4つの取組により各大学等の能力開発を支援しています。

スタッフ・ポートフォリオは、職員個人のキャリア形成のためのポートフォリオを作成し、個人のビジョン・ゴールを明確にします。その過程で所属組織のビジョンや組織内での自身の立ち位置を意識することで組織的な活性化をも支援します。

また、各大学等のSD支援として、SDに関わる相談に応じるコンサルティングや実際にSD研修を行う講師派遣などを行っています。年に1回開催するSPODフォーラムでは、実践で必要とされるテーマを設定し、SPOD内外の講師による講義及び演習を交えたプログラムを提供しています。

- ・ スタッフ・ポートフォリオ作成
- ・ 講師派遣
- ・ SPODフォーラム
- ・ コンサルティング

## はじめて SPOD 研修プログラムを利用される方へ

### ◇授業を担当して間もない方へのおすすめプログラム

※シラバスの書き方や評価法、様々な授業方法などについて総合的・集中的に学ぶことができます。

| プログラム名                       | 開催日時             | 開催大学 | 詳細   |
|------------------------------|------------------|------|------|
| 授業設計ワークショップ                  | 6月17日(土)～18日(日)  | 徳島大学 | p.20 |
| 新任教員研修会「よりよい授業のためのFDワークショップ」 | 9月14日(木)～15日(金)  | 香川大学 | p.22 |
| 授業デザインワークショップ(第28回, 第29回)    | 7月1日(土)～2日(日)    | 愛媛大学 | p.33 |
|                              | 8月30日(水)～9月1日(金) |      |      |
| 学生の学びを支援する授業準備ワークショップ        | 8月29日(火)～30日(水)  | 高知大学 | p.38 |

### ◇授業に参加型学習を取り入れたい方へのおすすめプログラム

| プログラム名                                 | 開催日時      | 開催大学 | 詳細   |
|----------------------------------------|-----------|------|------|
| 始めよう!アクティブ・ラーニング型授業-協同学習・話し合いの技法編-     | 9月25日(月)  | 香川大学 | p.23 |
| 始めよう!アクティブ・ラーニング型授業-協同学習・教え合いの技法編-     | 9月26日(火)  | 香川大学 | p.24 |
| 始めよう!アクティブ・ラーニング型授業-協同学習・問題解決の技法編-     | 9月26日(火)  | 香川大学 | p.24 |
| 始めよう!アクティブ・ラーニング型授業-協同学習・図解の技法編-       | 9月27日(水)  | 香川大学 | p.25 |
| 始めよう!アクティブ・ラーニング型授業-協同学習・文章作成の技法編-     | 9月27日(水)  | 香川大学 | p.25 |
| 学生参加型授業の技法                             | 12月25日(月) | 香川大学 | p.27 |
| 学生のやる気を引き出すアイスブレイクの技法<春期FD・SDスキルアップ講座> | 4月6日(木)   | 愛媛大学 | p.30 |
| 効果的なグループワークの進め方 <春期FD・SDスキルアップ講座>      | 5月11日(木)  | 愛媛大学 | p.31 |
| アクティブラーニング入門セミナー <春期FD・SDスキルアップ講座>     | 5月18日(木)  | 愛媛大学 | p.44 |
| ジグソー学習法入門<夏期FD・SDスキルアップ講座>             | 9月12日(火)  | 愛媛大学 | p.34 |
| 講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン -考え方と進め方-    | 8月31日(木)  | 高知大学 | p.39 |
| はじめてみよう!アクティブ・ラーニング                    | 9月6日(水)   | 高知大学 | p.40 |
| グループワークの技法                             | 9月6日(水)   | 高知大学 | p.40 |

### ◇大学職員として基礎的能力を身につけたい方へのおすすめプログラム

| プログラム名                                       | 開催日時            | 開催大学 | 詳細   |
|----------------------------------------------|-----------------|------|------|
| 大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルI)<br>第1回【新任職員研修】 | 5月10日(水)～12日(金) | 愛媛大学 | p.52 |
| 大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルI)<br>第2回         | 11月9日(木)～10日(金) | 愛媛大学 | p.53 |

# 日程別プログラム一覧

| 日 程              | プログラム名                                                                       | 開催大学 | 対象     | 遠隔配信                                                                                  | ページ  |
|------------------|------------------------------------------------------------------------------|------|--------|---------------------------------------------------------------------------------------|------|
| <b>4月</b>        |                                                                              |      |        |                                                                                       |      |
| 4月6日(木)          | 会議マネジメント <春期FD・SDスキルアップ講座>                                                   | 愛媛大学 | FD     |                                                                                       | p.29 |
| 4月6日(木)          | 学生のやる気を引き出すアイスブレイクの技法<春期FD・SDスキルアップ講座>                                       | 愛媛大学 | FD     |                                                                                       | p.30 |
| 4月6日(木)          | クラスルームコントロール<春期FD・SDスキルアップ講座>                                                | 愛媛大学 | FD     |                                                                                       | p.30 |
| 4月7日(金)          | 大学授業入門                                                                       | 高知大学 | FD     |                                                                                       | p.37 |
| <b>5月</b>        |                                                                              |      |        |                                                                                       |      |
| 5月10日(水)~12日(金)  | 大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅠ)第1回【新任職員研修】                                     | 愛媛大学 | SD     |                                                                                       | p.52 |
| 5月11日(木)         | 効果的なグループワークの進め方 <春期FD・SDスキルアップ講座>                                            | 愛媛大学 | FD     |                                                                                       | p.31 |
| 5月11日(木)         | 学生の学びやすさと学習意欲を高める授業設計-課題分析図の活用- <春期FD・SDスキルアップ講座>                            | 愛媛大学 | FD/SD  |                                                                                       | p.44 |
| 5月18日(木)         | 効果的なeラーニングの活用方法(超入門編) <春期FD・SDスキルアップ講座>                                      | 愛媛大学 | FD     |                                                                                       | p.31 |
| 5月18日(木)         | アクティブラーニング入門セミナー <春期FD・SDスキルアップ講座>                                           | 愛媛大学 | FD/SD  |    | p.44 |
| 5月19日(金)         | 学習評価の基本 <春期FD・SDスキルアップ講座>                                                    | 愛媛大学 | FD     |                                                                                       | p.32 |
| <b>6月</b>        |                                                                              |      |        |                                                                                       |      |
| 6月1日(木)~3日(土)    | 次世代リーダー養成ゼミナール(第1回)                                                          | 愛媛大学 | SD     |                                                                                       | p.50 |
| 6月17日(土)~18日(日)  | 授業設計ワークショップ                                                                  | 徳島大学 | FD     |                                                                                       | p.20 |
| 6月29日(木)~30日(金)  | 大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅡ)                                                | 愛媛大学 | SD     |                                                                                       | p.54 |
| <b>7月</b>        |                                                                              |      |        |                                                                                       |      |
| 7月1日(土)~2日(日)    | 授業デザインワークショップ(28回)                                                           | 愛媛大学 | FD     |                                                                                       | p.33 |
| 7月15日(土)~16日(日)  | ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ                                                      | 愛媛大学 | FD     |                                                                                       | p.32 |
| 7月20日(木)~22日(土)  | 次世代リーダー養成ゼミナール(第2回)                                                          | 高知大学 | SD     |                                                                                       | p.50 |
| <b>8月</b>        |                                                                              |      |        |                                                                                       |      |
| 8月10日(木)         | プロジェクトマネジメント <夏期FD・SDスキルアップ講座>                                               | 愛媛大学 | FD/SD  |                                                                                       | p.45 |
| 8月21日(月)         | 講義のための話し方入門 <夏期FD・SDスキルアップ講座>                                                | 愛媛大学 | FD/SD  |                                                                                       | p.45 |
| 8月23日(水)~25日(金)  | SPODフォーラム2017                                                                | 徳島大学 | 総合     |                                                                                       | p.64 |
| 8月29日(火)~30日(水)  | 学生の学びを支援する授業準備ワークショップ                                                        | 高知大学 | FD     |                                                                                       | p.38 |
| 8月31日(木)         | 講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン -考え方と進め方-                                          | 高知大学 | FD     |                                                                                       | p.39 |
| 8月30日(水)~9月1日(金) | 授業デザインワークショップ(29回)                                                           | 愛媛大学 | FD     |                                                                                       | p.33 |
| 8月30日(水)~9月1日(金) | 職員のための講師養成講座                                                                 | 愛媛大学 | SD     |                                                                                       | p.56 |
| <b>9月</b>        |                                                                              |      |        |                                                                                       |      |
| 9月5日(火)          | 大人数講義法~良い授業づくりのコツ~                                                           | 高知大学 | FD     |                                                                                       | p.39 |
| 9月5日(火)          | メンタルヘルス研修会-ストレスマネジメントおよびアンガーマネジメントの基礎知識-                                     | 高知大学 | FD/SD  |                                                                                       | p.48 |
| 9月6日(水)          | はじめてみよう!アクティブ・ラーニング                                                          | 高知大学 | FD     |                                                                                       | p.40 |
| 9月6日(水)          | グループワークの技法                                                                   | 高知大学 | FD     |                                                                                       | p.40 |
| 9月6日(水)~8日(金)    | ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ                                                      | 徳島大学 | FD     |                                                                                       | p.32 |
| 9月11日(月)         | 大人数講義法の基本 <夏期FD・SDスキルアップ講座>                                                  | 愛媛大学 | FD★    |  | p.34 |
| 9月11日(月)         | 3つのポリシー(ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー・アセスメント・ポリシー)の開発と一貫性構築            | 愛媛大学 | FD/SD★ |  | p.46 |
| 9月12日(火)         | ジグソー学習法入門<夏期FD・SDスキルアップ講座>                                                   | 愛媛大学 | FD     |                                                                                       | p.34 |
| 9月12日(火)         | 学習者の学習意欲を高める授業設計を行うためのインストラクショナル・デザイン(ID)入門-APCS動機づけモデルの活用-<夏期FD・SDスキルアップ講座> | 愛媛大学 | FD/SD  |                                                                                       | p.46 |
| 9月14日(木)         | eラーニング活用(入門編)-学習支援システムMoodleを活用してきめ細やかな学習支援を実現しよう-<夏期FD・SDスキルアップ講座>          | 愛媛大学 | FD/SD  |                                                                                       | p.47 |
| 9月14日(木)         | 問題発見・解決の技法                                                                   | 愛媛大学 | SD     |                                                                                       | p.57 |
| 9月14日(木)~15日(金)  | 新任教員研修会「よりよい授業のためのFDワークショップ」                                                 | 香川大学 | FD     |                                                                                       | p.22 |

| 日 程              | プログラム名                             | 開催大学 | 対象    | 遠隔配信 | ページ  |
|------------------|------------------------------------|------|-------|------|------|
| 9月15日(金)～17日(日)  | ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ<高専対象>      | 愛媛大学 | FD    |      | p.35 |
| 9月15日(金)～17日(日)  | アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ            | 愛媛大学 | FD    |      | p.36 |
| 9月20日(水)～21日(木)  | 大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅢ)      | 愛媛大学 | SD    |      | p.55 |
| 9月25日(月)         | 大人数講義をもっとうまくやるためのコツ                | 香川大学 | FD    |      | p.23 |
| 9月25日(月)         | 始めよう！アクティブ・ラーニング型授業－協同学習・話し合いの技法編－ | 香川大学 | FD    |      | p.23 |
| 9月26日(火)         | 始めよう！アクティブ・ラーニング型授業－協同学習・教え合いの技法編－ | 香川大学 | FD    |      | p.24 |
| 9月26日(火)         | 始めよう！アクティブ・ラーニング型授業－協同学習・問題解決の技法編－ | 香川大学 | FD    |      | p.24 |
| 9月27日(水)         | 始めよう！アクティブ・ラーニング型授業－協同学習・図解の技法編－   | 香川大学 | FD    |      | p.25 |
| 9月27日(水)         | 始めよう！アクティブ・ラーニング型授業－協同学習・文章作成の技法編－ | 香川大学 | FD    |      | p.25 |
| 9月27日(水)         | 初心者のためのクリッカー講座                     | 香川大学 | FD    |      | p.26 |
| 9月27日(水)         | TA講習                               | 高知大学 | ブレFD  |      | p.60 |
| 9月28日(木)～29日(金)  | ファシリテーション力養成道場                     | 高知大学 | ブレFD  |      | p.61 |
| <b>10月</b>       |                                    |      |       |      |      |
| 10月26日(木)～28日(土) | 次世代リーダー養成ゼミナール(第3回)                | 香川大学 | SD    |      | p.50 |
| <b>11月</b>       |                                    |      |       |      |      |
| 11月9日(木)～10日(金)  | 大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅠ)第2回   | 愛媛大学 | SD    |      | p.53 |
| 11月17日(金)～19日(日) | IRer養成講座                           | 愛媛大学 | FD/SD |      | p.47 |
| <b>12月</b>       |                                    |      |       |      |      |
| 12月14日(木)        | 学生の授業時間外学習を促すシラバス作成法               | 愛媛大学 | FD/SD |      | p.48 |
| 12月25日(月)        | 学生の学びを促すシラバスの書き方                   | 香川大学 | FD    |      | p.26 |
| 12月25日(月)        | 基礎から学ぶ学習評価法                        | 香川大学 | FD    |      | p.27 |
| 12月25日(月)        | 学生参加型授業の技法                         | 香川大学 | FD    |      | p.27 |
| 12月中             | スタッフ・ポートフォリオ作成ワークショップ              | 愛媛大学 | SD    |      | p.58 |
| <b>1月</b>        |                                    |      |       |      |      |
| 1月5日(金)          | 大学教育カンファレンス in 徳島                  | 徳島大学 | 総合    |      | p.65 |
| 1月12日(金)         | シラバス・授業を改善しよう！                     | 香川大学 | FD    |      | p.28 |
| 1月18日(木)～19日(金)  | 次世代リーダー養成ゼミナール(第4回)                | 愛媛大学 | SD    |      | p.50 |
| 1月31日(水)         | シラバスブラッシュアップワークショップ                | 高知大学 | FD    |      | p.41 |
| <b>2月</b>        |                                    |      |       |      |      |
| 2月19日(月)         | 英語で授業をしたい教員のためのワークショップ             | 愛媛大学 | FD    |      | p.36 |
| <b>3月</b>        |                                    |      |       |      |      |
| 3月1日(木)          | 「アカデミック・スキル」をどう教えるか                | 香川大学 | FD    |      | p.28 |
| 3月6日(火)          | 「日本語技法」をどう教えるか                     | 香川大学 | FD    |      | p.29 |
| 3月27日(火)         | 新任教員のためのリフレクションセミナー                | 高知大学 | FD    |      | p.41 |
| 3月27日(火)         | 能動的学習支援者必須！グループワークのためのファシリテーション入門  | 高知大学 | FD    |      | p.42 |
| 3月30日(金)         | TA講習                               | 高知大学 | ブレFD  |      | p.60 |
| 3月中              | 愛媛大学教育改革シンポジウム                     | 愛媛大学 | 総合    |      | p.66 |

|               |                              |                 |
|---------------|------------------------------|-----------------|
| 対象についての<br>説明 | FD …………… 主に教員対象              | SD …………… 主に職員対象 |
|               | ブレFD …… 大学院生・学部生対象           | FD/SD …… 教職員対象  |
|               | ★ …………… 遠隔配信のみのため愛媛大学内では受講不可 |                 |
|               |                              |                 |

# 開催大学別プログラム一覧

| 大学名  | プログラム名                                           | 日程               | 対象    | 遠隔配信                                                                                  | プログラムNo. | ページ  |
|------|--------------------------------------------------|------------------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------|----------|------|
| 徳島大学 | 授業設計ワークショップ                                      | 6月17日(土)～18日(日)  | FD    |                                                                                       | T-001    | p.20 |
|      | SPODフォーラム2017                                    | 8月23日(水)～25日(金)  | 総合    |                                                                                       | T-002    | p.64 |
|      | ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ                          | 9月6日(水)～9月8日(金)  | FD    |                                                                                       | T-003    | p.21 |
|      | 大学教育カンファレンス in 徳島                                | 1月5日(金)          | 総合    |                                                                                       | T-004    | p.65 |
| 香川大学 | 新任教員研修会「よりよい授業のためのFDワークショップ」                     | 9月14日(木)～15日(金)  | FD    |                                                                                       | K-001    | p.22 |
|      | 大人数講義をもっとうまくやるためのコツ                              | 9月25日(月)         | FD    |                                                                                       | K-002    | p.23 |
|      | 始めよう！アクティブ・ラーニング型授業－協同学習・話し合いの技法編－               | 9月25日(月)         | FD    |                                                                                       | K-003    | p.23 |
|      | 始めよう！アクティブ・ラーニング型授業－協同学習・教え合いの技法編－               | 9月26日(火)         | FD    |                                                                                       | K-004    | p.24 |
|      | 始めよう！アクティブ・ラーニング型授業－協同学習・問題解決の技法編－               | 9月26日(火)         | FD    |                                                                                       | K-005    | p.24 |
|      | 始めよう！アクティブ・ラーニング型授業－協同学習・図解の技法編－                 | 9月27日(水)         | FD    |                                                                                       | K-006    | p.25 |
|      | 始めよう！アクティブ・ラーニング型授業－協同学習・文章作成の技法編－               | 9月27日(水)         | FD    |                                                                                       | K-007    | p.25 |
|      | 初心者のためのクリッカー講座                                   | 9月27日(水)         | FD    |                                                                                       | K-008    | p.26 |
|      | 学生の学びを促すシラバスの書き方                                 | 12月25日(月)        | FD    |                                                                                       | K-009    | p.26 |
|      | 基礎から学ぶ学習評価法                                      | 12月25日(月)        | FD    |                                                                                       | K-010    | p.27 |
|      | 学生参加型授業の技法                                       | 12月25日(月)        | FD    |                                                                                       | K-011    | p.27 |
|      | シラバス・授業を改善しよう！                                   | 1月12日(金)         | FD    |                                                                                       | K-012    | p.28 |
|      | 「アカデミック・スキル」をどう教えるか                              | 3月1日(木)          | FD    |                                                                                       | K-013    | p.28 |
|      | 「日本語技法」をどう教えるか                                   | 3月6日(火)          | FD    |                                                                                       | K-014    | p.29 |
|      | 次世代リーダー養成ゼミナール(第3回)                              | 10月26日(木)～28日(土) | SD    |                                                                                       | K-015    | p.50 |
| 愛媛大学 | 会議マネジメント＜春期FD・SDスキルアップ講座＞                        | 4月6日(木)          | FD    |                                                                                       | I-001    | p.29 |
|      | 学生のやる気を引き出すアイスブレイクの技法＜春期FD・SDスキルアップ講座＞           | 4月6日(木)          | FD    |                                                                                       | I-002    | p.30 |
|      | クラスルームコントロール＜春期FD・SDスキルアップ講座＞                    | 4月6日(木)          | FD    |                                                                                       | I-003    | p.30 |
|      | 効果的なグループワークの進め方＜春期FD・SDスキルアップ講座＞                 | 5月11日(木)         | FD    |                                                                                       | I-004    | p.31 |
|      | 効果的なeラーニングの活用方法(超入門編)＜春期FD・SDスキルアップ講座＞           | 5月18日(木)         | FD    |                                                                                       | I-005    | p.31 |
|      | 学習評価の基本＜春期FD・SDスキルアップ講座＞                         | 5月19日(金)         | FD    |                                                                                       | I-006    | p.32 |
|      | 授業デザインワークショップ(28回)                               | 7月1日(土)～2日(日)    | FD    |                                                                                       | I-007    | p.33 |
|      | ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ                          | 7月15日(土)～16日(日)  | FD    |                                                                                       | I-008    | p.32 |
|      | 授業デザインワークショップ(29回)                               | 8月30日(水)～9月1日(金) | FD    |                                                                                       | I-009    | p.33 |
|      | 大人数講義法の基本＜夏期FD・SDスキルアップ講座＞                       | 9月11日(月)         | FD★   |  | I-010    | p.34 |
|      | ジグソー学習法入門＜夏期FD・SDスキルアップ講座＞                       | 9月12日(火)         | FD    |                                                                                       | I-011    | p.34 |
|      | ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ＜高専対象＞                    | 9月15日(金)～17日(日)  | FD    |                                                                                       | I-012    | p.35 |
|      | アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ                          | 9月15日(金)～17日(日)  | FD    |                                                                                       | I-013    | p.36 |
|      | 英語で授業をしたい教員のためのワークショップ                           | 2月19日(月)         | FD    |                                                                                       | I-014    | p.36 |
|      | 学生の学びやすさと学習意欲を高める授業設計－課題分析図の活用－＜春期FD・SDスキルアップ講座＞ | 5月11日(木)         | FD/SD |                                                                                       | I-015    | p.44 |
|      | アクティブラーニング入門セミナー＜春期FD・SDスキルアップ講座＞                | 5月18日(木)         | FD/SD |  | I-016    | p.44 |

| 大学名  | プログラム名                                                                      | 日程               | 対象     | 遠隔配信           | プログラムNo. | ページ  |
|------|-----------------------------------------------------------------------------|------------------|--------|----------------|----------|------|
| 愛媛大学 | プロジェクトマネジメント＜夏期FD・SDスキルアップ講座＞                                               | 8月10日(木)         | FD/SD  |                | I-017    | p.45 |
|      | 講義のための話し方入門＜夏期FD・SDスキルアップ講座＞                                                | 8月21日(月)         | FD/SD  |                | I-018    | p.45 |
|      | 3つのポリシー(ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー・アセスメント・ポリシー)の開発と一貫性構築           | 9月11日(月)         | FD/SD★ | 遠隔配信<br>遠隔配信のみ | I-019    | p.46 |
|      | 学習者の学習意欲を高める授業設計を行うためのインストラクショナルデザイン(ID)入門-ARCS動機づけモデルの活用-＜夏期FD・SDスキルアップ講座＞ | 9月12日(火)         | FD/SD  |                | I-020    | p.46 |
|      | eラーニング活用(入門編)-学習支援システムMoodleを活用してきめ細やかな学習支援を実現しよう-＜夏期FD・SDスキルアップ講座＞         | 9月14日(木)         | FD/SD  |                | I-021    | p.47 |
|      | IRer養成講座                                                                    | 11月17日(金)～19日(日) | FD/SD  |                | I-022    | p.47 |
|      | 学生の授業時間外学習を促すシラバス作成法                                                        | 12月14日(木)        | FD/SD  |                | I-023    | p.48 |
|      | 大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅠ)第1回【新任職員研修】                                    | 5月10日(水)～12日(金)  | SD     |                | I-024    | p.52 |
|      | 次世代リーダー養成ゼミナール(第1回)                                                         | 6月1日(木)～3日(土)    | SD     |                | I-025    | p.50 |
|      | 大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅡ)                                               | 6月29日(木)～30日(金)  | SD     |                | I-026    | p.54 |
|      | 職員のための講師養成講座                                                                | 8月30日(水)～9月1日(金) | SD     |                | I-027    | p.56 |
|      | 問題発見・解決の技法                                                                  | 9月14日(木)         | SD     |                | I-028    | p.57 |
|      | 大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅢ)                                               | 9月20日(水)～21日(木)  | SD     |                | I-029    | p.55 |
|      | 大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅠ)第2回                                            | 11月9日(木)～10日(金)  | SD     |                | I-030    | p.53 |
|      | スタッフ・ポートフォリオ作成ワークショップ                                                       | 12月中             | SD     |                | I-031    | p.58 |
|      | 次世代リーダー養成ゼミナール(第4回)                                                         | 1月18日(木)～19日(金)  | SD     |                | I-032    | p.50 |
|      | 愛媛大学教育改革シンポジウム                                                              | 3月中              | 総合     |                | I-033    | p.66 |
| 高知大学 | 大学授業入門                                                                      | 4月7日(金)          | FD     |                | Y-001    | p.37 |
|      | 学生の学びを支援する授業準備ワークショップ                                                       | 8月29日(火)～30日(水)  | FD     |                | Y-002    | p.38 |
|      | 講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザインー考え方と進め方ー                                          | 8月31日(木)         | FD     |                | Y-003    | p.39 |
|      | 大人数講義法～良い授業づくりのコツ～                                                          | 9月5日(火)          | FD     |                | Y-004    | p.39 |
|      | はじめてみよう！アクティブ・ラーニング                                                         | 9月6日(水)          | FD     |                | Y-005    | p.40 |
|      | グループワークの技法                                                                  | 9月6日(水)          | FD     |                | Y-006    | p.40 |
|      | シラバスブラッシュアップワークショップ                                                         | 1月31日(水)         | FD     |                | Y-007    | p.41 |
|      | 新任教員のためのリフレクションセミナー                                                         | 3月27日(火)         | FD     |                | Y-008    | p.41 |
|      | 能動的学習支援者必須！グループワークのためのファシリテーション入門                                           | 3月27日(火)         | FD     |                | Y-009    | p.42 |
|      | メンタルヘルス研修会ーストレスマネジメントおよびアンガーマネジメントの基礎知識ー                                    | 9月5日(火)          | FD/SD  |                | Y-010    | p.48 |
|      | TA講習                                                                        | 9月27日(水)         | プレFD   |                | Y-011    | p.60 |
|      | TA講習                                                                        | 3月30日(金)         | プレFD   |                | Y-012    | p.60 |
|      | ファシリテーション力養成道場                                                              | 9月28日(木)～29日(金)  | プレFD   |                | Y-013    | p.61 |
|      | 次世代リーダー養成ゼミナール(第2回)                                                         | 7月20日(木)～22日(土)  | SD     |                | Y-014    | p.50 |

# テーマ別プログラム一覧

| プログラム名〈FDプログラム・FD/SDプログラム〉                                                    | レベル・フェーズ |     |     | 開催大学 | ページ  |
|-------------------------------------------------------------------------------|----------|-----|-----|------|------|
|                                                                               | ミクロ      | ミドル | マクロ |      |      |
| 授 業 の 基 本                                                                     |          |     |     |      |      |
| 授業設計ワークショップ                                                                   | I II     |     |     | 徳島大学 | p.20 |
| 新任教員研修会「よりよい授業のためのFDワークショップ」                                                  | I II     |     |     | 香川大学 | p.22 |
| 大人数講義をもっとうまくやるためのコツ                                                           | I        |     |     | 香川大学 | p.23 |
| 学生の学びを促すシラバスの書き方                                                              | I        |     |     | 香川大学 | p.26 |
| 基礎から学ぶ学習評価法                                                                   | I        |     |     | 香川大学 | p.27 |
| シラバス・授業を改善しよう！                                                                | II       |     |     | 香川大学 | p.28 |
| クラスルームコントロール＜春期FD・SDスキルアップ講座＞                                                 | I II     |     |     | 愛媛大学 | p.30 |
| 学習評価の基本 ＜春期FD・SDスキルアップ講座＞                                                     | I II     |     |     | 愛媛大学 | p.32 |
| 授業デザインワークショップ(28回)                                                            | I II     |     |     | 愛媛大学 | p.33 |
| 授業デザインワークショップ(29回)                                                            | I II     |     |     | 愛媛大学 | p.33 |
| 大人数講義法の基本 ＜夏期FD・SDスキルアップ講座＞                                                   | I II     |     |     | 愛媛大学 | p.34 |
| 学生の学びやすさと学習意欲を高める授業設計－課題分析図の活用－ ＜春期FD・SDスキルアップ講座＞                             | I II     |     |     | 愛媛大学 | p.44 |
| 講義のための話し方入門 ＜夏期FD・SDスキルアップ講座＞                                                 | I II     |     |     | 愛媛大学 | p.45 |
| 学習者の学習意欲を高める授業設計を行うためのインストラクショナル・デザイン(ID)入門－ARCS動機づけモデルの活用－ ＜夏期FD・SDスキルアップ講座＞ | I II     |     |     | 愛媛大学 | p.46 |
| 学生の授業時間外学習を促すシラバス作成法                                                          | I II     |     |     | 愛媛大学 | p.48 |
| 大学授業入門                                                                        | I II     |     |     | 高知大学 | p.37 |
| 学生の学びを支援する授業準備ワークショップ                                                         | I II     |     |     | 高知大学 | p.38 |
| 大人数講義法～良い授業づくりのコツ～                                                            | I II     |     |     | 高知大学 | p.39 |
| シラバスブラッシュアップワークショップ                                                           | I II     |     |     | 高知大学 | p.41 |
| 参 加 型 学 習                                                                     |          |     |     |      |      |
| 始めよう！アクティブ・ラーニング型授業－協同学習・話し合いの技法編－                                            | I        |     |     | 香川大学 | p.23 |
| 始めよう！アクティブ・ラーニング型授業－協同学習・教え合いの技法編－                                            | I        |     |     | 香川大学 | p.24 |
| 始めよう！アクティブ・ラーニング型授業－協同学習・問題解決の技法編－                                            | I        |     |     | 香川大学 | p.24 |
| 始めよう！アクティブ・ラーニング型授業－協同学習・図解の技法編－                                              | I        |     |     | 香川大学 | p.25 |
| 始めよう！アクティブ・ラーニング型授業－協同学習・文章作成の技法編－                                            | I        |     |     | 香川大学 | p.25 |
| 初心者のためのクリッカー講座                                                                | I        |     |     | 香川大学 | p.26 |
| 学生参加型授業の技法                                                                    | I        |     |     | 香川大学 | p.27 |
| 「アカデミック・スキル」をどう教えるか                                                           | I        |     |     | 香川大学 | p.28 |
| 「日本語技法」をどう教えるか                                                                | I        |     |     | 香川大学 | p.29 |
| 学生のやる気を引き出すアイスブレイクの技法＜春期FD・SDスキルアップ講座＞                                        | I II     |     |     | 愛媛大学 | p.30 |
| 効果的なグループワークの進め方 ＜春期FD・SDスキルアップ講座＞                                             | I II     |     |     | 愛媛大学 | p.31 |
| ジグソー学習法入門＜夏期FD・SDスキルアップ講座＞                                                    | I II     |     |     | 愛媛大学 | p.34 |
| アクティブラーニング入門セミナー ＜春期FD・SDスキルアップ講座＞                                            | I II     |     |     | 愛媛大学 | p.44 |
| 講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン－考え方と進め方－                                            | I II     |     |     | 高知大学 | p.39 |
| はじめてみよう！アクティブ・ラーニング                                                           | II       |     |     | 高知大学 | p.40 |
| グループワークの技法                                                                    | I II     |     |     | 高知大学 | p.40 |
| 能動的学習支援者必須！グループワークのためのファシリテーション入門                                             | I II     |     |     | 高知大学 | p.42 |
| I C T                                                                         |          |     |     |      |      |
| 効果的なeラーニングの活用方法(超入門編)＜春期FD・SDスキルアップ講座＞                                        | I II     |     |     | 愛媛大学 | p.31 |
| eラーニング活用(入門編)－学習支援システムMoodleを活用してきめ細やかな学習支援を実現しよう－＜夏期FD・SDスキルアップ講座＞           | I II     |     |     | 愛媛大学 | p.47 |

| プログラム名〈FDプログラム・FD/SDプログラム〉                                        | レベル・フェーズ |      |     | 開催大学 | ページ  |
|-------------------------------------------------------------------|----------|------|-----|------|------|
|                                                                   | ミクロ      | ミドル  | マクロ |      |      |
| 多様な学生への支援                                                         |          |      |     |      |      |
| 英語で授業をしたい教員のためのワークショップ                                            | IⅡ       |      |     | 愛媛大学 | p.36 |
| 総合プログラム                                                           |          |      |     |      |      |
| 大学教育カンファレンス in 徳島                                                 | IⅡⅢⅣ     | IⅡⅢⅣ | IⅡ  | 徳島大学 | p.65 |
| 愛媛大学教育改革シンポジウム                                                    | IⅡⅢⅣ     | IⅡⅢⅣ | IⅡ  | 愛媛大学 | p.66 |
| SPODフォーラム2017                                                     | IⅡⅢⅣ     | IⅡⅢⅣ | IⅡ  | 徳島大学 | p.64 |
| プレFD                                                              |          |      |     |      |      |
| TA講習                                                              | I        |      |     | 高知大学 | p.60 |
| ファシリテーション力養成道場                                                    | IⅡ       |      |     | 高知大学 | p.61 |
| ポートフォリオ                                                           |          |      |     |      |      |
| ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ                                           | IⅡⅢ      |      |     | 徳島大学 | p.21 |
| ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ                                           | ⅡⅢ       |      |     | 愛媛大学 | p.32 |
| ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ〈高専対象〉                                     | ⅡⅢ       |      |     | 愛媛大学 | p.35 |
| アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ                                           | ⅡⅢ       |      |     | 愛媛大学 | p.36 |
| マネジメント                                                            |          |      |     |      |      |
| 会議マネジメント〈春期FD・SDスキルアップ講座〉                                         | IⅡ       |      |     | 愛媛大学 | p.29 |
| プロジェクトマネジメント〈夏期FD・SDスキルアップ講座〉                                     | IⅡ       |      |     | 愛媛大学 | p.45 |
| 3つのポリシー(ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー；アセスメント・ポリシー)の開発と一貫性構築 |          | Ⅲ    | Ⅲ   | 愛媛大学 | p.46 |
| 職場における多様性と健康                                                      |          |      |     |      |      |
| メンタルヘルス研修会ーストレスマネジメントおよびアンガーマネジメントの基礎知識ー                          | IⅡ       |      |     | 高知大学 | p.48 |
| 授業改善                                                              |          |      |     |      |      |
| 新任教員のためのリフレクションセミナー                                               | IⅡ       |      |     | 高知大学 | p.41 |

| プログラム名〈SDプログラム〉                          | 開催大学 | ページ  |
|------------------------------------------|------|------|
| <b>ビジネススキル</b>                           |      |      |
| 大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅠ)第1回【新任職員研修】 | 愛媛大学 | p.52 |
| 大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅠ)第2回         | 愛媛大学 | p.53 |
| 大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅡ)            | 愛媛大学 | p.54 |
| 大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅢ)            | 愛媛大学 | p.55 |
| 問題発見・解決の技法                               | 愛媛大学 | p.57 |
| <b>リーダーシップ・組織開発</b>                      |      |      |
| 次世代リーダー養成ゼミナール(第1回)                      | 愛媛大学 | p.50 |
| 次世代リーダー養成ゼミナール(第2回)                      | 高知大学 | p.50 |
| 次世代リーダー養成ゼミナール(第3回)                      | 香川大学 | p.50 |
| 次世代リーダー養成ゼミナール(第4回)                      | 愛媛大学 | p.50 |
| 職員のための講師養成講座                             | 愛媛大学 | p.56 |
| <b>ポートフォリオ</b>                           |      |      |
| スタッフ・ポートフォリオ作成ワークショップ                    | 愛媛大学 | p.58 |

※レベル・フェーズについては、p.7【SPOD-FDプログラムのレベルについて】をご参照ください。

# 平成29年度SPOD加盟校内講師派遣プログラム一覧

| 開催大学                 | プログラム名                                 | 日程        | 対象           |
|----------------------|----------------------------------------|-----------|--------------|
| <b>徳 島</b>           |                                        |           |              |
| 徳島大学                 | 大人数講義を魅力的にするテクニック                      | 3月9日(金)   | SPOD<br>全加盟校 |
| 四国大学・四国大学短期大学部       | 大学教職員のための危機管理                          | 9月5日(火)   | 学内           |
| 徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部   | 現代学生の理解と関わり方                           | 9月13日(水)  | SPOD<br>全加盟校 |
| 徳島工業短期大学             | 現代学生の理解と関わり方                           | 4月21日(金)  | SPOD<br>全加盟校 |
| 阿南工業高等専門学校           | アクティブラーニング実践（試験紙法）                     | 6月13日(火)  | 学内           |
| <b>香 川</b>           |                                        |           |              |
| 香川大学                 | 大学職員に必要な能力と専門性                         | 7月28日(金)  | SPOD<br>全加盟校 |
| 香川県立保健医療大学           | 大学職員に必要な能力と専門性                         | 9月4日(月)   | SPOD<br>全加盟校 |
| 高松大学・高松短期大学          | 大学職員に必要な能力と専門性                         | 9月11日(月)  | 学内           |
| 香川短期大学               | 現代学生の理解と関わり方                           | 5月30日(火)  | SPOD<br>全加盟校 |
| <b>愛 媛</b>           |                                        |           |              |
| 愛媛大学                 | アクティブ・ラーニング入門                          | 9月4日(月)   | SPOD<br>全加盟校 |
| 愛媛県立医療技術大学           | 授業アンケートを見直しませんか？<br>～アンケートの効果的実施と活用方法～ | 12月25日(月) | 学内           |
| 松山大学・松山短期大学          | 現代学生の理解と関わり方                           | 6月8日(水)   | SPOD<br>全加盟校 |
| 松山東雲女子大学・松山東雲短期大学    | 現代学生の理解と関わり方                           | 6月29日(水)  | 学内           |
| 今治明德短期大学             | 職員のための経験学習                             | 6月1日(水)   | 学内           |
| 環太平洋大学短期大学部          | 受講生が楽しく集中して参加する授業の雰囲気作り                | 9月19日(火)  | 学内           |
| 新居浜工業高等専門学校          | アクティブラーニング実践（試験紙法）                     | 5月30日(火)  | 学内           |
| 弓削商船高等専門学校           | 高専における学生クライシスとの対峙                      | 6月8日(水)   | 学内           |
| <b>高 知</b>           |                                        |           |              |
| 高知大学                 | 教学IR入門                                 | 調整中       |              |
| 高知工科大学・高知県立大学・高知短期大学 | チームビルディング                              | 9月11日(月)  | 学内           |
| 高知学園短期大学             | 受講生が楽しく集中して参加する授業の雰囲気作り                | 6月6日(火)   | SPOD<br>全加盟校 |
| 高知工業高等専門学校           | アクティブラーニング実践（試験紙法）                     | 9月5日(火)   | SPOD<br>全加盟校 |

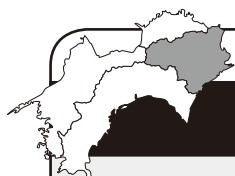
【本件に関するお問い合わせ先】

SPOD事務局（愛媛大学教育学生支援部教育企画課）  
TEL：089-927-9154 E-mail：spod@stu.ehime-u.ac.jp



# FDプログラム

(主に教員対象)



プログラム番号 T-001

# 授業設計ワークショップ

FD

## \*主な対象

新任教員、授業方法や授業設計を学びたい教員

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

1. FD活動の理念、活動計画を理解することができる
2. 授業を計画し、実施し、評価する方法を体得することができる
3. 授業研究の仕方を理解し、実践することができる
4. FD参加者同士の仲間づくりができる

## \*講師

徳島大学総合教育センター教員

## \*日時

6月17日(土)9:00~18:00,  
6月18日(日)9:00~15:00

## \*場所

未定

## \*受講定員

30名

## \*主催

徳島大学 FD委員会

## \*その他

要問い合わせ

## \*申込先・問合せ

徳島大学学務部教育支援課教育企画室  
E-mail: kykikakuk@tokushima-u.ac.jp

## \*内容\*

### 1日目

1. オリエンテーション
  - ・はじめに(副学長より挨拶)
  - ・進め方とスタッフ紹介
  - ・研修のねらいと意義
2. アイスブレイク「課題・目標設定」
  - 参加者自己紹介・交流
3. 講義・ワーク「アクティブ・ラーニング」
  - ・アクティブ・ラーニングの理論と効果
  - ・学生の深い学びを促す問いかけ
4. 講義「成績評価の仕方」
  - ・成績評価の意義・方法
5. 講義・ワーク「よりよい授業実施のために」
  - ・学生の学習を促す授業方法
  - ・反転授業の理論と実践
  - ・学習を省察するポートフォリオの活用
  - ・シラバス・授業計画書の書き方
6. 講義・ワーク「授業計画」
  - ・シラバス・授業計画書の修正
  - ・2日目の模擬授業の進め方について



### 2日目

7. 模擬授業実施(グループで実施)
  - ・FD委員紹介、流れの確認
  - 【模擬授業の流れ】(1人約25分×4人(休憩適宜))
  - ・シラバス・授業計画書等の紹介(5分)
  - ・模擬授業の実施(15分)
  - ・授業検討会(10分)
  - チェックリストをもとによかった点、改善点等を検討する。
8. 模擬授業の振り返り
  - ・模擬授業検討会を受けて授業の改善点
  - ・今後のアクションプラン
9. プログラムのまとめ
  - ・講評
  - ・教育力開発コースの意義・内容
  - ・修了証書授与
  - ・アンケート
  - ・おわりの言葉



## ▶参考資料

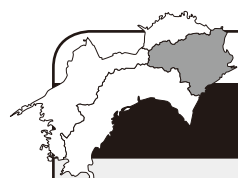
- ・ダネル・スティーンズ、アントニア・レビ著(2014)『大学教員のためのルーブリック評価入門』, 玉川大学出版部。
- ・佐藤浩章編(2010)『大学教員のための授業方法とデザイン』, 玉川大学出版部。
- ・ノエル・エントウィルス(2010)『学生の理解を重視する大学授業』, 玉川大学出版部。
- ・中井俊樹編著(2015)シリーズ教授法3『アクティブラーニング』, 玉川大学出版部。
- ・中島英博編著(2016)シリーズ教授法1『授業設計』

## ▶準備物等

事前に普段の授業(あるいは今後担当予定、担当したい授業)のシラバス、ある日の授業計画(講義1回分)の準備が必要になります。また、参加者全員が模擬授業を行いますので、ご自身が選ばれた担当授業の中からワンシーンを選び、スライドや資料(使用される方のみ)をご準備頂くことになります。

## ▶受講者の声

- ・これまでは前任者の例を参考にしていたが、アクティブラーニングなど自分オリジナルの講義を設計できると思います。
- ・他の先生方の取り組みを知ることができて良かった。
- ・自分にはない発想・手法を学ぶことができ、図書やWebだけでなく、生の実践例を知ること、自信を持って自分の授業に使えると思います。
- ・一旦学んだことの学びほぐしを実際に体験でき、自らの教育モチベーションを高めることができました。



プログラム番号 T-003

# ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ **FD**

## \*主な対象

教育活動を振り返り教育業績を  
まとめたい教員  
教育活動の改善、目標設定を行  
いたい教員

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

1. 個人の教育活動を振り返り、教育理念と教育目的を整理することができる。
2. 個人の教育活動を振り返り、教育戦略・方法を整理することができる。
3. 個人の教育活動を振り返り、成果と具体的な課題を整理することができる。
4. 参加者同士の関係をつくることができる。

## \*講師

小林直人(愛媛大学教育企画室)  
徳島大学総合教育センター教育  
改革推進部門教員

## \*日時

9月6日(水)～9月8日(金)

## \*場所

徳島大学新蔵キャンパス  
日亜会館2階 講義室1他

## \*受講定員

8名

## \*主催

徳島大学 FD委員会

## \*その他

要問い合わせ

## \*申込先・問合せ

徳島大学学務部教育支援課教育  
企画室  
E-mail : kykikakuk@  
tokushima-u.ac.jp

## \*内容\*

### 1日目

1. オリエンテーション
2. 昼食会
3. 意見交換
4. TPとは何か、作成のためのミニワーク
5. メンタリング
6. TP作成作業

### 2日目

1. メンタリング (午前・午後)
2. TP作成作業 (午前・午後)
3. 昼食会
4. 意見交換

### 3日目

1. メンタリング (午前・午後)
2. TP作成作業 (午前・午後)
3. 意見交換
4. TPとは何か、作成のためのミニワーク
5. メンタリング



## ▶参考資料

- ・大阪府立大学高専ティーチングポートフォリオ研究会(2011)「実践 ティーチング・ポートフォリオ スターターブックー実質的な教育改善活動を目指して」,エヌティーエス.
- ・ピーター・セルディン(2007)「大学教育を変える教育業績記録」,玉川大学出版部.

## ▶準備物について

申し込みを頂いた方にスタートアップシートを送付します。スタートアップシートをもとに、これまでの教育活動の概略をまとめます。

## ▶受講者の声

- ・自分の原点をみつめなおすことができ、これがこれからの教育のパワーとなると考えました。
- ・研究テーマを見つめなおす良い経験になりました。
- ・新たな発見があった。この作業なくしては、発見はなかったと思います。
- ・はじめは、どうなるかと思いましたが、自分の教育の理念も明確になり今後の教育に大いに役立つと思います。
- ・今の仕事についているのは過去から現在までのつながりがあることが理解できた。

プログラム番号 K-001

# **新任教員研修会「よりよい授業のためのFDワークショップ」**

FD

## **\*主な対象**

教員

## **\*対象校**

SPOD全加盟校

## **\*目標**

適切な目的・目標設定ができるようになる。  
 わかりやすいシラバスを書けるようになる。  
 様々な授業方法を知り、目的・目標にあった方法を選択できるようになる。  
 様々な成績評価方法を知り、目的・目標にあった方法を選択できるようになる。  
 学生参加型のグループ作業を、自らの授業で導入することができるようになる。

## **\*講師**

香川大学大学教育基盤センター教員

## **\*日時**

9月14日(木)9:00~21:00  
 9月15日(金)8:00~13:00

## **\*場所**

休暇村讃岐五色台(香川県坂出市)

## **\*受講定員**

20名

## **\*主催**

香川大学大学教育基盤センター

## **\*メ切**

8月21日(月)まで、先着順

## **\*申込先・問合せ**

香川大学教育・学生支援室修学支援グループ  
 E-mail: gakusenm4@jim.  
 ao.kagawa-u.ac.jp

## **\*内容\***

### **1日目**

1. オリエンテーション
2. アイスブレイク
3. グループワークⅠ「学生の考える良い授業」
4. 講義Ⅰ「シラバスの書き方」  
 目標設定の立て方  
 授業計画の立て方
5. グループワークⅡ「全学共通科目の開発Ⅰ」  
 目標設定  
 授業計画  
 シラバス作成
6. 講義Ⅱ「様々な授業方法」  
 アクティブラーニングとは  
 協同学習の技法
7. 講義Ⅲ「よりよい成績評価のために」  
 成績評価の目的  
 評価の方法と評価対象
8. グループワークⅢ「全学共通科目の開発Ⅱ」  
 授業計画と評価計画
9. グループ発表Ⅰ「中間発表」
10. グループワークⅣ「全学共通科目の開発Ⅲ」  
 授業計画案作成

### **2日目**

11. グループワークⅤ「全学共通科目の開発Ⅳ」  
 役割決定  
 授業の練習
12. グループ発表Ⅱ「ミニ授業」

(※宿泊研修です。1日だけの参加はできません。)



## **▶受講者の声**

・日頃からゼミなどの少人数の授業でグループワークの手法や授業の上手な進め方、学生のやる気について良い方策があればと思っていた。ワークショップ2日間、4人のグループワークを体験することでヒントを見つけることができた。

プログラム番号 K-002

## 大人数講義をもっとうまくやるためのコツ

FD

## \*主な対象

教員

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

葛城浩一（香川大学大学教育基盤センター）

## \*日時

9月25日(月)13:00～14:30

## \*場所

香川大学幸町北キャンパス  
4号館422講義室

## \*受講定員

50名

## \*主催

香川大学大学教育基盤センター

## \*メ切

開講日2週間前

## \*申込先・問合せ先

香川大学教育・学生支援室修学支援グループ  
E-mail : gakusenm4@jim.  
ao.kagawa-u.ac.jp

## \*目標\*

自分の授業で応用可能なコツをひとつ以上持ち帰る。

## \*内容\*

1. 大規模クラスの特異性
2. 構成をしっかりと考える
3. 明確に話す
4. 匿名空間にしない
5. ペア／グループ・ワークを挿入する
6. 発問で刺激を
7. 資料配布・回収やテストを効率的に行う
8. 学習を阻害する行為を管理する
9. まとめ

プログラム番号 K-003

## 始めよう!アクティブ・ラーニング型授業－協同学習・話し合いの技法編－

FD

## \*主な対象

教員

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

葛城浩一（香川大学大学教育基盤センター）

## \*日時

9月25日(月)14:40～16:10

## \*場所

香川大学幸町北キャンパス  
4号館422講義室

## \*受講定員

50名

## \*主催

香川大学大学教育基盤センター

## \*メ切

開講日2週間前

## \*申込先・問合せ先

香川大学教育・学生支援室修学支援グループ  
E-mail : gakusenm4@jim.  
ao.kagawa-u.ac.jp

## \*目標\*

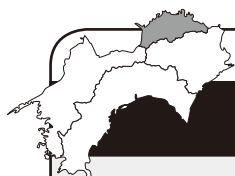
アクティブ・ラーニングとはどのようなものか、また、協同学習とはどのようなものか、説明することができる。

話し合いの技法を3つ以上挙げて、その手順を説明することができる。

自らの授業に話し合いの技法を取り入れることができる。

## \*内容\*

0. はじめに
1. アクティブ・ラーニングとは
2. アクティブ・ラーニングが求められる背景
3. 協同学習とは
4. 協同学習・話し合いの技法の紹介
5. 技法を実践する際の留意点
6. 授業をよりよいものにするために
7. おわりに



プログラム番号 K-004

## 始めよう!アクティブ・ラーニング型授業－協同学習・教え合いの技法編－ **FD**

### \*主な対象

教員

### \*対象校

SPOD全加盟校

### \*目標

右記参照

### \*講師

佐藤慶太（香川大学大学教育基盤センター）

### \*日時

9月26日(火)13:00~14:30

### \*場所

香川大学幸町北キャンパス  
4号館422講義室

### \*受講定員

50名

### \*主催

香川大学大学教育基盤センター

### \*メ切

開講日2週間前

### \*申込先・問合せ

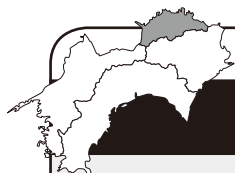
香川大学教育・学生支援室修学支援グループ  
E-mail : gakusenm4@jim.  
ao.kagawa-u.ac.jp

### \*目標\*

1. アクティブ・ラーニングとはどのようなものか、また、協同学習とはどのようなものか、説明することができる。
2. 教え合いの技法を3つ以上挙げて、その手順を説明することができる。
3. 自らの授業に教え合いの技法を取り入れることができる。

### \*内容\*

1. アクティブ・ラーニングについて
2. 教え合いの技法の紹介
  - 2-1. ノート・テイキング・ペア
  - 2-2. ラーニング・セル
  - 2-3. フィッシュボウル
  - 2-4. ロールプレイ
  - 2-5. ジグソー学習
  - 2-6. テスト・テイキング・チーム



プログラム番号 K-005

## 始めよう!アクティブ・ラーニング型授業－協同学習・問題解決の技法編－ **FD**

### \*主な対象

教員

### \*対象校

SPOD全加盟校

### \*目標

右記参照

### \*講師

三宅岳史（香川大学教育学部）

### \*日時

9月26日(火)14:40~16:10

### \*場所

香川大学幸町北キャンパス  
4号館422講義室

### \*受講定員

50名

### \*主催

香川大学大学教育基盤センター

### \*メ切

開講日2週間前

### \*申込先・問合せ

香川大学教育・学生支援室修学支援グループ  
E-mail : gakusenm4@jim.  
ao.kagawa-u.ac.jp

### \*目標\*

- 問題解決の技法を3つ以上挙げて、その手順を説明することができる。  
自らの授業に問題解決の技法を導入することができる。

### \*内容\*

0. はじめに
1. アクティブ・ラーニングと問題解決
2. 問題解決の技法の紹介
  - 2-1. タップス
  - 2-2. センド・ア・プロブレム
  - 2-3. ケース・スタディ
  - 2-4. ストラクチャード・プロブレム・ソルビング
  - 2-5. ネゴシエーション・ゲーム
3. 問題解決vs.オープンエンド
  - 3-1. こども哲学
  - 3-2. 哲学カフェ
4. おわりに

### ▶参考資料

エリザベス・バークレイほか（2009）『共同学習の技法』安永悟監訳，ナカニシヤ  
河野哲也（2014）『「こども哲学」で対話力と思考力を育てる』河出書房新社

プログラム番号 K-006

## 始めよう!アクティブ・ラーニング型授業 -協同学習・図解の技法編-

FD

## \*主な対象

教員

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

中住幸治 (香川大学大学教育基盤センター)

## \*日時

9月27日(水) 13:00~14:30

## \*場所

香川大学幸町北キャンパス  
4号館422講義室

## \*受講定員

50名

## \*主催

香川大学大学教育基盤センター

## \*メ切

開講日2週間前

## \*申込先・問合せ

香川大学教育・学生支援室修学支援グループ  
E-mail : gakusenm4@jim.  
ao.kagawa-u.ac.jp

## \*目標\*

図解の技法を3つ以上挙げて、その手順を説明することができる。  
自らの授業に図解の技法を導入することができる。

## \*内容\*

0. はじめに
1. アクティブ・ラーニングと協同学習
2. 図解技法の紹介・ワークショップ
  - 2-1. アフィニティー・グルーピング
  - 2-2. グループ・グリッド
  - 2-3. チーム・マトリックス
  - 2-4. シークエンス・チェイン
  - 2-5. ワード・ウェーブ
3. コンセプト・マップについて
4. おわりに

プログラム番号 K-007

## 始めよう!アクティブ・ラーニング型授業 -協同学習・文章作成の技法編-

FD

## \*主な対象

教員

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

西本佳代 (香川大学大学教育基盤センター)

## \*日時

9月27日(水) 14:40~16:10

## \*場所

香川大学幸町北キャンパス  
4号館422講義室

## \*受講定員

50名

## \*主催

香川大学大学教育基盤センター

## \*メ切

開講日2週間前

## \*申込先・問合せ

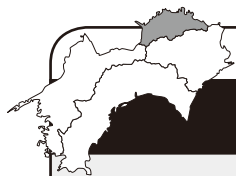
香川大学教育・学生支援室修学支援グループ  
E-mail : gakusenm4@jim.  
ao.kagawa-u.ac.jp

## \*目標\*

・アクティブ・ラーニングとはどのようなものか、説明することができる。  
・文章作成の技法を3つ以上挙げて、その手順を説明することができる。  
・自らの授業に文章作成の技法を導入することができる。

## \*内容\*

0. はじめに
1. アクティブ・ラーニングとは
2. アクティブ・ラーニングの課題
3. “ディープ・アクティブラーニング” を目指して
4. 協同学習・文章作成の技法
5. 授業計画の作成
6. おわりに



プログラム番号 K-008

## 初心者のためのクリッカー講座

FD

### \*主な対象\*

教員

### \*対象校\*

SPOD全加盟校

### \*目標\*

右記参照

### \*講師\*

西本佳代（香川大学大学教育基盤センター）

### \*日時\*

9月27日(水)16:20~17:50

### \*場所\*

香川大学幸町北キャンパス  
4号館422講義室

### \*受講定員\*

20名

### \*主催\*

香川大学大学教育基盤センター

### \*メット\*

開講日2週間前

### \*申込先・問合せ\*

香川大学教育・学生支援室修学支援グループ  
E-mail : gakusenm4@jim.  
ao.kagawa-u.ac.jp

### \*目標\*

クリッカー（TurningPoint Anywhere）の基本的な使い方を理解することができる。

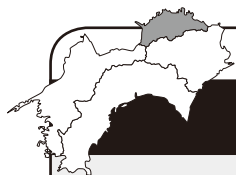
クリッカー（TurningPoint Anywhere）を用いた授業実践や教育活動を計画することができる。

### \*内容\*

1. クリッカーとは何か
2. TurningPoint Anywhereのインストール
3. 受講生の意思確認をする
4. 集計結果を用いる
5. プレゼンテーション資料の作成
6. 試行とフィードバック

### ▶準備物について

TurningPoint Anywhereをインストールしたノートパソコンをお持ちください。また、講座内で、お一人ずつクリッカーの試行（回答者ではなく問題作成者として）を行いますので、どのような場面でクリッカーを使用したいか、事前に考えておいてください。



プログラム番号 K-009

## 学生の学びを促すシラバスの書き方

FD

### \*主な対象\*

教員

### \*対象校\*

SPOD全加盟校

### \*目標\*

右記参照

### \*講師\*

葛城浩一（香川大学大学教育基盤センター）

### \*日時\*

12月25日(月)13:00~14:30

### \*場所\*

香川大学幸町キャンパス  
研究交流棟6階第一講義室

### \*受講定員\*

50名

### \*主催\*

香川大学大学教育基盤センター

### \*メット\*

開講日2週間前

### \*申込先・問合せ\*

香川大学教育・学生支援室修学支援グループ  
E-mail : gakusenm4@jim.  
ao.kagawa-u.ac.jp

### \*目標\*

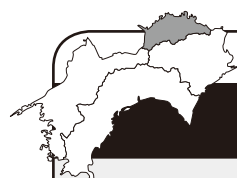
- ・シラバスの定義を説明することができる。
- ・適切な目的を書くことができる。
- ・適切な目標を書くことができる。
- ・効果的な学習を促すスケジュールをデザインできる。
- ・適切な評価方法を書くことができる。

### \*内容\*

1. シラバスとは何か
2. シラバスの項目例
3. 授業科目名の書き方
4. 目的の書き方
5. 目標の書き方
6. 評価に関わる情報の書き方
7. 授業計画の書き方
8. 教材に関わる情報の書き方
9. オフィスアワーの書き方
10. 受講のルールの書き方

### ▶準備物について

ご自分の授業のシラバスがあればご持参ください。



プログラム番号 K-010

## 基礎から学ぶ学習評価法

FD

### \*主な対象\*

教員

### \*対象校\*

SPOD全加盟校

### \*目標\*

右記参照

### \*講師\*

佐藤慶太（香川大学大学教育基盤センター）

### \*日時\*

12月25日(月)14:40~16:10

### \*場所\*

香川大学幸町北キャンパス  
研究交流棟6号第一講義室

### \*受講定員\*

50名

### \*主催\*

香川大学大学教育基盤センター

### \*メ切\*

開講日2週間前

### \*申込先・問合せ\*

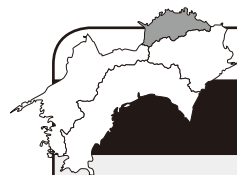
香川大学教育・学生支援室修学支援グループ  
E-mail : gakusenm4@jim.  
ao.kagawa-u.ac.jp

### \*目標\*

1. 成績評価の学習支援機能について説明することができる。
2. 学習目標に応じた評価方法を選択することができる。
3. 代表的な評価方法の特徴について説明することができる。

### \*内容\*

1. 成績評価の目的
2. 学習支援のための成績評価
3. 成績評価の基本
4. 様々な評価方法
5. よりよい成績評価のための工夫
6. ルーブリック評価表作成に挑戦
7. まとめ



プログラム番号 K-011

## 学生参加型授業の技法

FD

### \*主な対象\*

教員

### \*対象校\*

SPOD全加盟校

### \*目標\*

右記参照

### \*講師\*

西本佳代（香川大学大学教育基盤センター）

### \*日時\*

12月25日(月)16:20~17:50

### \*場所\*

香川大学幸町北キャンパス  
研究交流棟6階第一講義室

### \*受講定員\*

50名

### \*主催\*

香川大学大学教育基盤センター

### \*メ切\*

開講日2週間前

### \*申込先・問合せ\*

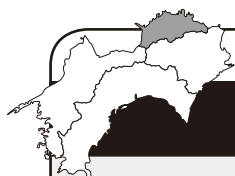
香川大学教育・学生支援室修学支援グループ  
E-mail : gakusenm4@jim.  
ao.kagawa-u.ac.jp

### \*目標\*

- ・アクティブ・ラーニングとはどのようなものか、説明することができる。
- ・学生参加型授業の技法を3つ以上挙げて、その手順を説明することができる。

### \*内容\*

1. 学生参加型授業の導入ーアイスブレイクー
2. 学生参加型授業が求められる背景ーアクティブ・ラーニングとは何かー
3. 学生参加型授業の技法紹介



プログラム番号 K-012

New!!

## シラバス・授業を改善しよう！

FD

### \*主な対象

教員

### \*対象校

SPOD全加盟校

### \*目標

右記参照

### \*講師

葛城浩一・佐藤慶太・西本佳代（香川大学大学教育基盤センター）

### \*日時

1月12日（金）9:30～12:00

### \*場所

香川大学幸町北キャンパス  
研究交流棟6階第一講義室

### \*受講定員

50名

### \*主催

香川大学大学教育基盤センター

### \*メー切

「学生の学びを促すシラバスの書き方」「基礎から学ぶ学習評価法」「学生参加型授業の技法」の3講座が開催される2週間前（当該3講座とセットで受講することが必要とされるため）

### \*申込先・問合せ

香川大学教育・学生支援室修学支援グループ  
E-mail : gakusenm4@jim.  
ao.kagawa-u.ac.jp

### \*目標\*

1. 適切な目的・目標設定ができるようになる。
2. わかりやすいシラバスが書けるようになる。
3. 目的・目標にあった授業方法を選択できるようになる。
4. 目的・目標にあった成績評価方法を選択できるようになる。
5. 学生参加型のグループ作業を、自らの授業で導入できるようになる。

### \*内容\*

#### 1. はじめに（10分）

#### 2. 模擬授業（90分）

一名30分×3名

授業計画とシラバスの説明 5分

模擬授業 15分

相互評価 10分

#### 休憩（10分）

#### 3. 模擬授業の振り返り（30分）

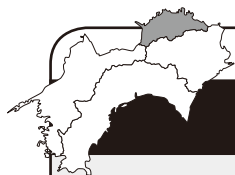
振り返りシートの作成 15分

グループでのシェア 15分

#### 4. おわりに（10分）

### ▶準備物について

「学生の学びを促すシラバスの書き方」「基礎から学ぶ学習評価法」「学生参加型授業の技法」の3講座受講後、講座内容をふまえて授業計画とシラバスの作成・修正を行っていただきます。それらを期日までに修学支援グループに提出すると、スタッフからさらなる改善のためのコメントが返されます。そのコメントを反映させた授業計画とシラバスを講座時に持参してください。また、講座では模擬授業（15分）を行います。90分の授業計画の中から15分を選び、模擬授業を行っていただきますので、そのために必要な資料作成等の準備をしておいてください。



プログラム番号 K-013

## 「アカデミック・スキル」をどう教えるか

FD

### \*主な対象

教員

### \*対象校

SPOD全加盟校

### \*目標

右記参照

### \*講師

葛城浩一（香川大学大学教育基盤センター）  
佐藤慶太（香川大学大学教育基盤センター）

### \*日時

3月1日（木）13:00～14:30

### \*場所

香川大学幸町北キャンパス  
4号館422講義室

### \*受講定員

50名

### \*主催

香川大学大学教育基盤センター

### \*メー切

開講日2週間前

### \*申込先・問合せ

香川大学教育・学生支援室修学支援グループ  
E-mail : gakusenm4@jim.  
ao.kagawa-u.ac.jp

### \*目標\*

1. 「情報整理の方法」を教える際のポイントを理解することができる。
2. 「レポートの書き方」を教える際のポイントを理解することができる。
3. 「プレゼンテーションの方法」を教える際のポイントを理解することができる。

### \*内容\*

1. はじめに
2. 「情報整理の方法」の教え方
3. 「レポートの書き方」の教え方
4. 「プレゼンテーションの方法」の教え方
5. 質疑応答

### ▶参考資料

香川大学 大学教育基盤センター編「大学入門ゼミハンドブック」  
（参加者には配布いたします。）

プログラム番号 K-014

## 「日本語技法」をどう教えるか

FD

## \*主な対象

教員

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

高水徹（香川大学インターナショナルオフィス）

## \*日時

3月6日（火）13:00～15:10

## \*場所

香川大学幸町北キャンパス  
4号館422講義室

## \*受講定員

50名

## \*主催

香川大学大学教育基盤センター

## \*メ切

開講日2週間前

## \*申込先・問合せ

香川大学教育・学生支援室修学支援グループ  
E-mail: gakusenm4@jim.  
ao.kagawa-u.ac.jp

## \*目標\*

6つの日本語技法に関して、学生の立場に立ってモデル授業を体験することにより、指導時のポイントを理解する。

## \*内容\*

以下の6つの汎用的な日本語技法に関して、学生の立場に立ってモデル授業を体験する。

## 技法1：教職員へのメールの書き方

目標：大人としてのマナーを守り、情報として過不足のない用件のメールを書くことができる。

## 技法2：書き言葉による手順の説明

目標：手順を言語化し、聞き手にわかりやすく伝えることができる。

## 技法3：推敲の技法

目標：文章を整理し、理解しやすく、誤りのない状態に仕上げるができる。

## 技法4：比較・対照の技法

目標：適切な表現を用いて、2つの物事を比較・対照し、文章で表現できる。

## 技法5：箇条書きの技法

目標：文章のポイントを箇条書きでまとめ

ることができる。

## 技法6：要約の技法

目標：文章の内容を、必要な情報を損なわずに要約することができる。

これらの技法は、プレゼンテーションやレポート作成等のアカデミックな活動の基礎となる、学生にとっての不可欠なスキルであるばかりではなく、卒業後も応用可能なものである。これらの技法の向上は、高度な専門性の習得をスムーズに行えるようにするための土台作りである。

## ▶参考資料

香川大学 大学教育基盤センター編  
「大学入門ゼミハンドブック」  
（参加者には配布いたします。）

## ▶受講者の声

- ・文章を書く技法について、理解を深めることができた。
- ・文章のまとめ方については、苦手な学生が多いように思う。

プログラム番号 I-001

## 会議マネジメント〈春期FD・SDスキルアップ講座〉

FD

## \*主な対象

教員

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

丸山智子（愛媛大学教育企画室）

## \*日時

4月6日（木）10:00～12:00

## \*場所

愛媛大学城北キャンパス愛大ミュージアム  
1階アクティブラーニングスペース2

## \*受講定員

30名

## \*主催

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）

## \*メ切

要問い合わせ

## \*申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail: opar@stu.ehime-u.ac.jp

## \*目標\*

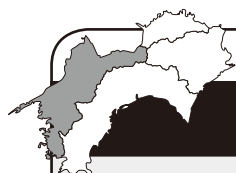
1. 会議のマネジメントプロセスについて説明できる
2. 会議を進める上で準備すべき事を理解できる
3. 会議を効果的・効率的に運営するために必要な手法を説明することができる
4. 会議のまとめ、及び会議後のフォローの注意すべき点を列挙できる

## \*内容\*

会議（ミーティング）は「意見の異なるもの同士が、議論の末に高次の合意点をみつけるもの」であることが望まれます。そのような会議を実現するため、ファシリテーションの重要性を理解し、マネジメントのプロセス、具体的な手法について学びます。

## ▶受講者の声

- ・会議ファシリテータの役割は大きく、議論の行方、成否を握っていることがよく分かりました。ディスカッションを行う授業に応用できると感じます。
- ・私は会議をマネジメントすることはほとんどない立場ですが、今回の研修内容は「1人の参加者」として会議に出る人にも十分に有意義な内容だったと思います。
- ・「論点がズレる理由」は目からウロコでした。
- ・会議の中身について分析したことがなかったので、初めて自覚することが多く、今までうまくいかなかった原因がよく気づけた。
- ・少しうまく進めるための道が見えてきた気がします。

プログラム番号 I-002 **New!!**

## 学生のやる気を引き出すアイスブレイクの技法 (春期 FD・SD スキルアップ講座)

FD

### \*主な対象\*

アイスブレイクの導入に関心のある教員  
実際に授業で導入されている／導入してみたいと考えている教員

### \*対象校\*

SPOD加盟校

### \*目標\*

右記参照

### \*講師\*

加地真弥 (愛媛大学教育企画室)

### \*日時\*

4月6日(木) 13:00~15:00

### \*場所\*

愛媛大学城北キャンパス愛大ミュージ  
1階アクティブラーニングスペース2

### \*受講定員\*

30名

### \*主催\*

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室

### \*メ切\*

要問い合わせ

### \*申込先・問合せ\*

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail: opar@stu.ehime-u.ac.jp

### \*目標\*

1. アイスブレイクを導入する効果を説明できる。
2. アイスブレイクの手法を知り、授業で活用できる手法を選択できる。
3. 参加者同士でアイスブレイクの実践例を共有し、実践へのヒントを得ることができる。

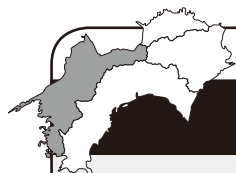
### \*内容\*

初回の授業でどのような工夫をされていますか。受講者同士や受講者と教員の緊張をほぐし、授業に参加しやすい雰囲気をつくる手法としてアイスブレイクがあります。学生同士の距離を縮め、話し合いなどの共同作業をスムーズに行えるような環境をつくりまします。また、初回の授業だけでなく、アイスブレイクは授業の途中でも効果を高めることができます。

このプログラムでは、授業で使えるアイスブレイクの技法を実際に体験し、アイスブレイクがもつ様々な働きを踏まえながら、どのような効果を期待して授業に導入するのか考えていきます。さらに、アイスブレイクを実践するにあたっての悩みや実践例を共有し、授業に役立つアイスブレイクを持ち帰っていただきます。

### ▶参考資料

中井俊樹編 (2015) 『アクティブラーニング』 (玉川大学出版部)

プログラム番号 I-003 **New!!**

## クラスルームコントロール (春期 FD・SD スキルアップ講座)

FD

### \*主な対象\*

教員

### \*対象校\*

SPOD全加盟校

### \*目標\*

右記参照

### \*講師\*

清水栄子 (愛媛大学教育企画室)

### \*日時\*

4月6日(木) 15:30~17:30

### \*場所\*

愛媛大学城北キャンパス愛大ミュージ  
1階アクティブラーニングスペース2

### \*受講定員\*

30名

### \*主催\*

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室

### \*メ切\*

要問い合わせ

### \*申込先・問合せ\*

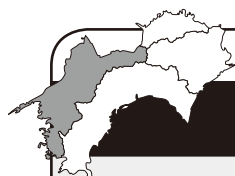
愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail: opar@stu.ehime-u.ac.jp

### \*目標\*

1. 学生が授業に集中できない理由を説明できる。
2. クラスルームコントロールについて自身の言葉で説明できる。
3. 学生の学習意欲を向上させる方法を提案できる。

### \*内容\*

1. 授業中の学生
2. クラスルームコントロールとは
3. 2つのアプローチ
4. 受講のルール
5. 学生の学習意欲のための工夫
6. 振り返り



プログラム番号 I-004

## 効果的なグループワークの進め方 (春期FD・SDスキルアップ講座)

FD

### \*主な対象

授業でのグループワークやゼミでのディスカッションをより活性化させたい教員

### \*対象校

SPOD全加盟校

### \*目標

右記参照

### \*講師

小林直人 (愛媛大学学長特別補佐, 教育企画室長)

### \*日時

5月11日(木) 15:30~17:30

### \*場所

愛媛大学城北キャンパス愛大ミュージアム1階アクティブラーニングスペース2

### \*受講定員

40名

### \*主催

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク (SPOD)

### \*メー

要問い合わせ

### \*申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail: opar@stu.ehime-u.ac.jp

### \*目標\*

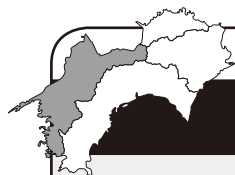
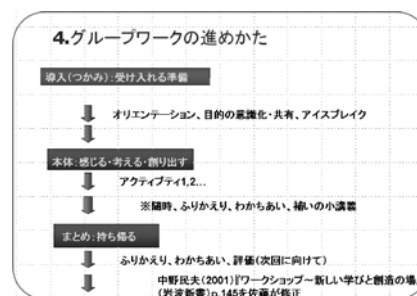
1. 学生がいきいきとグループワークに参加できる仕組みについて説明することができる。
2. 現状よりも活発なグループワークをしかけることができるようになる。
3. グループワークを導入することのメリットとデメリット, 導入時に注意すべき点を列挙できる。

### \*内容\*

1. アイスブレイク
  - ・自己紹介
2. グループワークを体験する
3. 成功するグループワークのカギ
4. グループワークの進め方
  - ・グループワークの流れ
  - ・ファシリテーターの基本スキル
5. グループワークの必須アイテム
6. 振り返りと質疑応答

### ▶受講者の声

- 私にとっては目からうろこでした。グループワークだけでなく日頃の授業にも活かせる内容だったと思います。
- グループワークの具体的な進め方に関して理解することが出来た。



プログラム番号 I-005

## 効果的なeラーニングの活用方法 (超入門編) (春期FD・SDスキルアップ講座)

FD

### \*主な対象

eラーニングを授業に取り入れてみたい, eラーニングをどのように活用したら良いのかわからないなど, eラーニングに興味をもっている教員

### \*対象校

SPOD全加盟校

### \*目標

右記参照

### \*講師

仲道雅輝 (愛媛大学総合情報メディアセンター兼教育企画室)

### \*日時

5月18日(木) 15:45~17:15

### \*場所

愛媛大学城北キャンパス愛大ミュージアム1階アクティブラーニングスペース2

### \*受講定員

24名程度

### \*主催

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室

### \*メー

開講日1週間前

### \*申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail: opar@stu.ehime-u.ac.jp

### \*目標\*

1. eラーニングとは何か説明できる。
2. 実践事例からeラーニングを授業に取り入れる際の効果的なポイントが説明できる。
3. eラーニング要素を活用して自身の授業での課題解決に向けた対策を考えることができる。
4. 自身の授業で使えるようなヒントやアイデア等を一つ以上持ち帰ることができる。

### \*内容\*

大学等において, 学習効果を上げるための方法としてeラーニングが注目されています。本プログラムでは, 「eラーニングを授業に取り入れてみたい」「有効な活用方法が知りたい」「自身の授業改善に役立てたい」「実はeラーニングとは何かかわからない」という方に対して, 実際に授業で活用されている様々な事例を紹介するとともに, ワークショップ形式にて自身の授業で, どう活用できるかを探っていきます。

※研修時にeラーニングソフト(Moodle)の操作等は行いません。

1. eラーニングとは
2. 広義・狭義のeラーニング
3. 実践事例の紹介(動画教材・テスト機能・ディスカッション機能・課題提出機能(振り返り)等)
4. eラーニングを取り入れた授業計画案作成に向けて, グループワークによる検討を行う。

### ▶準備物

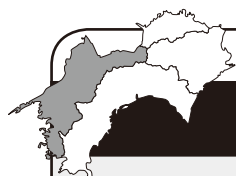
ご自身のシラバスもしくは授業計画等をご持参ください。

### ▶参考資料

『大学におけるeラーニング活用実践集』(ナカニシヤ出版)

### ▶受講者の声

- ・先生に気軽に質問ができる雰囲気よかった。
- ・eラーニングの基本が理解できた。
- ・授業の問題点をeラーニングで解決できることがわかった。
- ・著作権に注意が必要のことを知った。
- ・様々な事例を知ることができた。
- ・LMSを使った場合の問題点やアイデアを共有できた。



プログラム番号 I-006

## 学習評価の基本〈春期 FD・SD スキルアップ講座〉

FD

### \*主な対象

学習評価に関わる教員

### \*対象校

SPOD全加盟校

### \*目標

右記参照

### \*講師

中井俊樹、加地真弥（愛媛大学教育企画室）

### \*日時

5月19日（金）15:30～17:30

### \*場所

愛媛大学城北キャンパス愛大ミューズ  
1階アクティブラーニングスペース2

### \*受講定員

40名

### \*主催

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室

### \*メー

要問い合わせ

### \*申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail: opar@stu.ehime-u.ac.jp

### \*目標\*

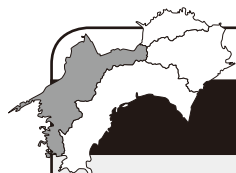
1. 学習評価の意義と目的を説明することができる。
2. 到達目標にあわせた評価の方法・基準を選択・設定できる。
3. 適切で効果的なフィードバックを行うことができる。
4. 公正で厳密な成績評価を行うことができる。

### \*内容\*

1. 学習評価の目的
2. 学習評価の主体
3. 学習評価の対象
4. 学習評価の基準
5. 学習評価の方法
6. 優れた評価の条件
7. 作問の具体的方法
8. 評価のさまざまな側面

### ▶参考書（購入する必要はないが、推奨する図書）

夏目達也、近田政博、中井俊樹、齋藤芳子（2010）『大学教員準備講座』（玉川大学出版部）



プログラム番号 I-008

## ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ

FD

### \*主な対象

教員

### \*対象校

SPOD全加盟校

### \*目標

右記参照

### \*講師

小林直人、清水栄子（愛媛大学教育企画室）ほか

### \*日時

7月15日（土）～16日（日）  
（2日間）

### \*場所

愛媛大学城北キャンパス愛大ミューズ

### \*受講定員

10名

### \*主催

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室

### \*メー

要問い合わせ

### \*申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail: opar@stu.ehime-u.ac.jp

### \*目標\*

1. ティーチング・ポートフォリオ（TP）とは何かを理解する。
2. ティーチング・ポートフォリオの必要性・有効性について知る。
3. ティーチング・ポートフォリオ作成の要点と手順を理解する。
4. ティーチング・ポートフォリオを作成する。

### ▶準備物

事前に課題（スタートアップシート）を作成・提出していただきます。

### ▶参考資料

ピーター・セルディン 著（2007）『大学教育を変える教育業績記録ティーチング・ポートフォリオ作成の手引』大学評価・学位授与機構監訳 栗田佳代子訳（玉川大学出版部）  
TP完成サンプル

### \*内容\*

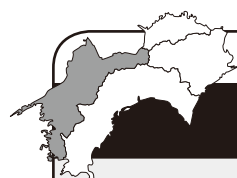
2日間を通しての参加となります。  
メンターによるメンタリングを行いながら作成します。

### <1日目>

1. オリエンテーション
2. 昼食会
3. 意見交換
4. メンタリング
5. TP作成作業（夜）情報交換会（任意）

### <2日目>

1. TP作成作業
2. メンタリング
3. 昼食会・意見交換
4. TP作成作業
5. TP披露・修了式



プログラム番号 I-007, I-009

# 授業デザインワークショップ

FD

FD

## \*主な対象

- ・愛媛大学教員のうち、下記のいずれかに該当する者
- ①新規採用された教員（大学での授業担当経験5年以上を除く）
- ②新たに大学の授業を担当した教員
- ③昨年度対象者で都合により欠席した該当教員
- ④参加を希望する教職員・SPOD加盟校教職員のうち、参加を希望する者

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

1. 適切な目的・目標設定ができるようになる。
2. わかりやすいシラバスを書けるようになる。
3. 様々な授業方法を知り、目的・目標にあった方法を選択できるようになる。
4. 様々な成績評価方法を知り、目的・目標にあった方法を選択できるようになる。
5. 学習者の学習を促す要因を説明できる。
6. グループ学習の手法を、自らの授業で導入するためのヒントを得る。

## \*講師

小林直人、中井俊樹、仲道雅輝、村田晋也、清水栄子、小林忠資、加地真弥（愛媛大学教育企画室）ほか

## \*日時

7月1日(土)～2日(日)(第28回)  
8月30日(水)～9月1日(金)(第29回)

## \*場所

いまばり湯ノ浦ハイツ  
(7月、第28回)  
愛媛大学愛大ミュージアムアクティブ・ラーニングスペース2  
(9月、第29回)

## \*受講定員

第28回 7月 20名  
第29回 9月 30名

## \*主催

第28回：四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）  
第29回：愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室

## \*その他

要問い合わせ

## \*申込先・問合先

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail: opar@stu.ehime-u.ac.jp

## \*内容\* (2日間ワークショップの場合)

### 1日目

1. オリエンテーション
  - ・研修の目的・目標の確認
  - ・スタッフの紹介とお願い
2. アイスブレイキング
  - ・自己紹介とグループワーク
  - ・アイスブレイキングの意義
3. 講義 I
4. 講義 II
  - 「何が学生の学びを促進するのか？」
  - 「シラバスの書き方」
  - ・目標設定の立て方
5. 講義 III
  - 「コース設計&クラス設計の考え方」
  - ・1科目（コース）の授業計画の立て方
6. グループワーク I
  - 「共通教育科目の開発 I」
  - ・目標設定
  - ・授業計画
  - ・シラバス作成
7. 講義 IV
  - 「様々な授業方法」
  - ・講義形式のメリット・デメリット
  - ・双方向型授業のコツ
  - ・体験型授業
  - ・参加型授業
8. グループワーク II
  - 「共通教育科目の開発 II」
  - ・授業計画
9. 講義 V
  - 「学習評価の基本」
  - ・学習評価の目的
  - ・評価の方法と評価対象
10. 中間発表
11. 講義 VI
  - 「クラス設計」
  - ・90分授業の基本構成
  - ・90分（クラス）の授業計画
12. グループワーク III
  - 「共通教育科目の開発 III, IV」
  - ・授業計画案作成

### 2日目

13. グループワーク IV
  - 「共通教育科目の開発 IV」
  - ・模擬授業練習
14. 模擬授業
  - 「模擬授業（導入の10分）」
  - ・模擬授業
  - ・討議・検討
15. 振り返り



※第28回は1泊2日の宿泊研修。

※第29回は3日間宿泊なしの研修。第28回と同じ内容となっております。一部、「職員のための講師養成講座」との共同開催となります。

## ▶参考資料

佐藤浩章 編『大学教員のための授業手法とデザイン』（玉川大学出版部）

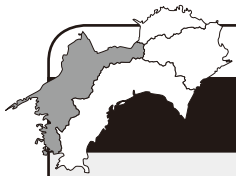
## ▶受講者の声

「新採教員として知りたかったこと、全てが盛り込まれた有意義なワークショップでした。模擬授業時にはお互いに評価し、講師陣より実際の教育の現場でのアドバイスを沢山して頂けたことが、非常に勉強になりました。」

「専門を異にする他学部教員と専門外のシラバスを作るという作業は、様々な考え方や物の見方に触れることができ、刺激に満ちたものだった。」

「キャンパスから離れた場所で、短期間で集中して取り組むことができました。タイトスケジュールでしたが内容の充実した研修が展開され、参加したことに一層大きな意義を感じました。数多くのグループワークを通して、学生の立場から改めて授業運営を見つめ直すことができました。」

「研修を通じて、授業の意味や教員の役割を改めて考えることができ、学生の視点やレディネスについて意識するようになった点が良かったと思います。独り善がりな授業にしたいと強く思うようになりました。今回学んだことは、断続的に実践していきたいです。私は授業経験がなく不安を感じながら参加しましたが、分かりやすい講義内容だし、グループワークにも参加しやすく、構えなくても参加できる研修でした。このような有意義なワークショップにもっと多くの教員が参加することを望みます。」



プログラム番号 I-010

## 大人数講義法の基本〈夏期 FD・SD スキルアップ講座〉

遠隔のみ

FD

## \*主な対象

右記参照

## \*対象校

右記参照

## \*目標

右記参照

## \*講師

小林直人 (愛媛大学学長特別補佐, 教育企画室長)

## \*日時

9月11日(月)13:30~15:30

## \*主催

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク (SPOD)

## \*メー

要問い合わせ

## \*申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail: opar@stu.ehime-u.ac.jp

## \*その他

遠隔配信のみのプログラムとなります

## \*主な対象\*

教員、とりわけ講義を受け持つようになって間もない教員 (I-018とセットで受講することが推奨されますが、単独受講も歓迎です)。また、職員の参加も大歓迎します。

## \*対象校\*

SPOD全加盟校(愛媛大学からの遠隔配信を受信できること、または受信できる施設にて受講すること)。ただし、愛媛大学内では受講できません。

## \*目標\*

学生数1人規模以上の大人数講義でも、分かりやすく知的緊張感があり、学生が参加する授業を実践するための、様々な授業スキルを身につけます。

## \*内容\*

1. 大人数講義のメリットとデメリットについて考えます。また、なぜ大人数講義が必要なのか、大人数講義のデメリットをどうやって克服できるのか、についても考えてみます。
2. アクティブラーニングの授業スキルは大人数講義室でも実践できます。そのために必要なことは何か、参加者の経験を元に考えます。
3. 大人数講義用の階段講義室にいるつもりになって、簡単なグループワークを経験してみます。
4. 大人数の階段講義室で学生に小さなグループを作ってもらふ方法や、学生が話しやすい環境を提供する方法について、前項の経験を元に考えます。
5. 学生の発言を促すための授業スキルを紹介し

ます。また、学生に質問を投げかけて学生間や教員とのやりとりをするための具体的な方法を考えます。

6. 学生に書かせることで議論を深め、学生同士の相互の学びを促すための授業スキルを紹介します。
7. 黒板/白板への板書や、配布物(プリント、ハンドアウト)の工夫について、具体的な事例を紹介します。
8. 上記のようなアクティブラーニングの授業スキルを自分の講義にどのように導入できるか、考えます。

## ▶参考資料

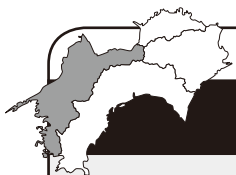
- ・中島・編著 (2016)『授業設計 シリーズ大学の教授法1』(玉川大学出版部)
- ・中井・編著 (2015)『アクティブラーニング 大学の教授法3』(玉川大学出版部)
- ・佐藤・編 (2010)『大学教員のための授業方法とデザイン』(玉川大学出版部)

## ▶準備物

・特にありませんが、ご自分の講義で工夫されていること、あるいはお困りのこと、などを講習の場で他の参加者と共有できることが望ましいです。

## ▶受講者の声

・大教室でのコミュニケーションの手法が学べた。授業時間外学習を促すことが大事だということがわかった。



プログラム番号 I-011

New!!

## ジグソー学習法入門〈夏期 FD・SD スキルアップ講座〉

FD

## \*主な対象

学生の学びを向上させるために「ジグソー学習法」の活用を検討している教員

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

村田晋也 (愛媛大学教育企画室)

## \*日時

9月12日(火)15:30~17:30

## \*場所

愛媛大学城北キャンパス愛大ミュージアム1階アクティブラーニングスペース2

## \*受講定員

20名

## \*主催

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室

## \*メー

開講日 1週間前

## \*申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail: opar@stu.ehime-u.ac.jp

## \*目標\*

1. ジグソー学習法の基本的な仕組みについて説明できる
2. ジグソー学習法を用いたグループワークの進め方を体験し、授業での活用を検討できる

## \*内容\*

社会心理学者K.レヴィンをはじめとした集団力学を専門とする研究者たちによってこれまで種々実証されてきたように、グループワークは、受講者が学習に対する積極的な姿勢を抱けるよう変化を促すのに有効な手法として注目されてきました。とりわけ同手法は近年、学校教育の場で広く導入されつつあることは周知のとおりです。しかし、一言で「グループワーク」とはいっても、その実践方法は玉石混濁であるのが実態です。

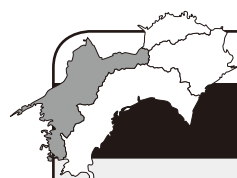
そこで本講では、それら数ある手法のうち、高い効果が得られるとして良く知られているやり方の1つを体験して頂ければと考えています。これは、社会心理学者E. アロンソンが1978年著書The Jigsaw Classroom (松山安雄訳『ジグソー学級 生徒と教師の心を開く協同学習法の教え方と学び方』)の中で提唱した「ジグソー学習法」なるもので、この学習法を用いた授業の進め方とその効果を皆さまに紹介することを本セミナーの主たる目的としています。

## ▶参考資料

- ・E.アロンソン著・松山安雄訳 (1986)『ジグソー学級 生徒と教師の心を開く協同学習法の教え方と学び方』
- ・E.アロンソン他著・昭和女子大学教育研究会訳 (2016)『ジグソー法ってなに? みんなが協同する授業』

## ▶受講者の声

- グループワークとは何か?ということがわからなかったが、この講義を通じて答えられるようになった。
- ジグソー法のアウトラインを理解することができた。
- 協同学習、ジグソー学習を実際に行いながらワークショップを進めることができ、流れがつかみやすかった。



プログラム番号 I-012

# ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ〈高専対象〉

FD

## \*主な対象

教員（教育力向上を目指し参加を希望する教員、教育歴5年以上を目安とします）

## \*対象校

SPOD加盟校（高専のみ）  
※高専を対象としています。SPOD加盟校からの希望者があれば、参加状況により、受け付ける場合がありますので、ご連絡ください。

## \*目標

右記参照

## \*講師

松本高志（阿南工業高等専門学校）、清水栄子（愛媛大学教育企画室）ほか

## \*日時

9月15日（金）～17日（日）

## \*場所

愛媛大学城北キャンパス愛大ミューズ

## \*受講定員

10名

## \*主催

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）

## \*その他

要問い合わせ

## \*申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail: opar@stu.ehime-u.ac.jp

## \*目標\*

ティーチング・ポートフォリオ（以下、「TP」という。）を用いて教員による主体的な教育力向上を目指します。TPは内省によって、教育業績を整理するだけでなく、教員が抱えている教育への情熱を振り返り、その思いを授業改善、さらに教育力向上へ結びつける教員の意識改革（主体性）を重視するものです。

TP作成者（ワークショップ参加者）は次回メンター（助言者）として参加し、他者をメンタリングすることにより更なる教育効果が上がり、TP作成者の増加のみならず、メンター養成によって相乗効果が生まれることが期待されます。

## \*内容\*

プログラムは以下のとおりです。3日間を通しての参加となります。

### <1日目>

12:00～12:30 オリエンテーション  
12:30～13:30 昼食会・意見交換  
13:30～14:30 第1回個人ミーティング  
14:30～17:00 TP作成作業  
18:30～20:30 情報交換会（任意）

### <2日目>

9:00～10:00 TP作成作業  
10:00～11:00 第2回個人ミーティング  
11:00～12:00 TP作成作業  
12:00～13:00 昼食会・意見交換  
13:00～17:00 TP作成作業

### <3日目>

9:00～10:00 TP作成作業  
10:00～11:00 第3回個人ミーティング  
11:00～12:00 TP作成作業  
12:00～13:00 昼食会・意見交換  
13:00～15:00 TP作成作業、プレゼンテーション準備  
15:00～16:30 TP披露・修了式、修了証書の授与

## ▶研修風景



## ▶準備物について

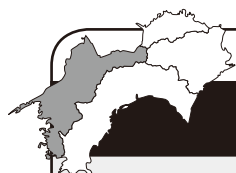
事前に課題（スタートアップシート）を作成・提出していただきます。

## ▶参考資料

ピーター・セルディン 著（2007）『大学教育を変える教育業績記録ティーチング・ポートフォリオ作成の手引』大学評価・学位授与機構監訳 栗田佳代子訳（玉川大学出版部）

## ▶受講者の声

- 参加してよかったと思うことは、自分の教育活動をはじめて文書化し、体系的にまとめることができたことです。
- 一人でデスクワークで取り組むのではなく、目的を共有した仲間と同じ空間の中で取り組んだことが、集中力と作業の行き詰まりの解消のヒントを得るにはとてもよかった。



プログラム番号 I-013

## アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ **FD**

### \*主な対象

ティーチング・ポートフォリオ  
を作成済みの教員

### \*対象校

SPOD全加盟校

### \*目標

右記参照

### \*講師

小林直人、清水栄子（愛媛大学  
教育企画室）ほか

### \*日時

9月15日(金)～17日(日)  
(3日間)

### \*場所

愛媛大学城北キャンパス愛大  
ミュージアム

### \*受講定員

5名

### \*主催

四国地区大学教職員能力開発  
ネットワーク (SPOD)

### \*その他

要問い合わせ

### \*申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail: opar@stu.ehime-u.ac.jp

### \*目標\*

1. アカデミック・ポートフォリオ (AP) とは何かを理解する。
2. アカデミック・ポートフォリオの必要性・有効性について知る。
3. アカデミック・ポートフォリオ作成の要点と手順を理解する。
4. アカデミック・ポートフォリオを作成する。

### \*内容\*

3日間を通しての参加となります。  
メンターによるメンタリングを行いながら作成します。

#### <1日目>

オリエンテーション

昼食会

意見交換会

メンタリング

AP作成作業

#### <2日目>

AP作成作業

メンタリング

昼食会・意見交換会

メンタリング

AP作成作業

#### <3日目>

AP作成作業

メンタリング

昼食会・意見交換会

AP作成作業

AP披露・修了式

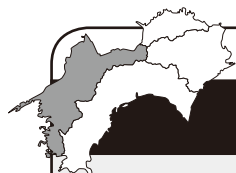
### ▶参考資料

ピーター・セルディン、エリザベス・ミラー著『アカデミック・ポートフォリオ』  
(2009) 大学評価・学位授与機構監訳 栗田佳代子訳 (玉川大学出版部)

AP完成サンプル

### ▶準備物

- ・ご自身のティーチング・ポートフォリオ (最新版)
- ・事前に課題 (スタートアップシート) を作成、提出していただきます。



プログラム番号 I-014

## 英語で授業をしたい教員のためのワークショップ **FD**

### \*主な対象

教員 (職員も受講可能)

### \*対象校

SPOD全加盟校

### \*目標

右記参照

### \*講師

ルース・バーজন (愛媛大学国際  
教育支援センター) ボグダン・ディ  
ビッド (愛媛大学教育学部)

### \*日時

2月19日(月)13:00～15:00

### \*場所

愛媛大学城北キャンパス愛大ミュージアム  
1階アクティブラーニングスペース2

### \*受講定員

40名

### \*主催

四国地区大学教職員能力開発  
ネットワーク (SPOD)

### \*その他

開講日 1 週間前

### \*申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail: opar@stu.ehime-u.ac.jp

### \*目標\*

英語で授業をするときの一般的なガイ  
ドラインを説明できる。ロールプレイ  
形式のワークショップで、英語による  
授業を経験する。

To learn some general guidelines  
for teaching in English.

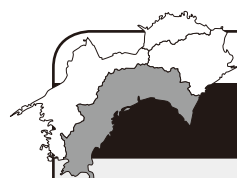
### \*内容\*

1. 創成授業「異文化のまなざし」で  
の事例報告
2. 英語で授業をする際の一般的なガイ  
ドラインについて
3. 質疑応答と休憩時間
4. グループワーク
5. まとめと振り返り

1. Report on the Issues in  
Research classes
2. Go over general guidelines for  
teaching in English
3. Q&A/short break
4. Use of Moodle forums
5. Time management
6. Group work
7. Summing up

### ▶参加者の声

- 久しぶりにネイティブの英語を生で  
聴けた。
- グループディスカッションの重要性  
がよく分かった。
- 体験とレクチャーのバランスが良  
かった。



プログラム番号 Y-001

# 大学授業入門

FD

## \*主な対象

新任教員，大学で授業を担当する教員

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

塩崎俊彦，立川明，杉田郁代，  
俣野秀典（高知大学 大学教育  
創造センター）

## \*日時

4月7日(金)9:00～12:00

## \*場所

高知大学朝倉キャンパス共通教育棟1号館多目的室

## \*受講定員

40名

## \*主催

高知大学 大学教育創造センター

## \*その他

開催日3日前，先着順

## \*申込先・問合先

高知大学学務部学務課

E-mail : y-spod@kochi-u.ac.jp

## \*目標\*

- ・教育効果を高めるために何が必要かを説明できる
- ・成績評価の方法が説明できる
- ・効果的なふりかえりの手法について説明できる

## \*内容\*

「教えられたように教える」方がほとんどだと思います。教えるのはそれでどうにかなっても，成績評価はどうすれば良いのでしょうか？大学教育にはアクティブ・ラーニングを導入する時代の要請がありますが，どう対処すれば良いでしょう。

この講習では，教育効果を高めるために必要な教授法の手法や，成績評価の方法について，学びます。

- ・アイスブレイキング・ブレインストーミング
- ・協同学習とアクティブ・ラーニング
- ・授業の目的・目標と成績評価
- ・ふりかえり

## ▶準備物

担当予定の授業のシラバスをプリントして  
ご持参ください。

## ▶受講者の声

- ・授業の方法を見直す良い機会になりました。
- ・アイスブレイキング等の活用と学生のモチベーションの向上について学ぶことができた。
- ・講義型の授業でもアクティブラーニングを取り入れられると分かったこと。
- ・人と会話し，自分の考えを述べ，他者の考えを聞くことで距離が深まった。



プログラム番号 Y-002

# 学生の学びを支援する授業準備ワークショップ

FD

## \*主な対象\*

大学での授業担当経験 5 年未満の教員、新たに大学の授業を担当した教員および参加を希望する教員

## \*対象校\*

SPOD全加盟校

## \*目標\*

右記参照

## \*講師\*

塩崎俊彦、立川明、杉田郁代、  
俣野秀典 (高知大学 大学教育創造センター)

## \*日時\*

8月29日(火)9:00~20:00  
※夕食をはさんで、参加者相互の意見交換、模擬授業の準備作業などを行います。  
8月30日(水)9:00~12:00

## \*場所\*

高知大学朝倉キャンパス共通教育棟3号館1階310教室

## \*受講定員\*

40名

## \*主催\*

高知大学 大学教育創造センター

## \*その他\*

開講日 2 週間前、先着順

## \*申込先・問合せ先\*

高知大学学務部学務課  
E-mail : y-spod@kochi-u.ac.jp

## \*目標\*

1. 適切な授業の目的・目標設定ができるようになる。
2. わかりやすいシラバスを書けるようになる。
3. 学習成果 (ラーニング・アウトカムズ) を意識して授業デザインができるようになる。
4. 学生参加型のグループ作業を自らの授業で導入することができるようになる。

## \*内容\*

### 1日目

1. オリエンテーション/アイスブレイキング
2. グループワーク「良い授業とは？」
3. ミニレクチャー「目標設定と授業計画、シラバスの書き方」
4. グループワーク「共通教育科目の開発① (目標設定と授業計画)」
5. ミニレクチャー「コースデザインの考え方」
6. ミニレクチャー「様々な授業形態、それぞれのメリットとデメリット」
7. ミニレクチャー「様々な成績評価、その目的と方法」
8. グループワーク「共通教育科目の開発② (授業計画と評価の方法・スケジュール)」
9. グループ発表「グループワーク中間報告」
10. グループワーク「共通教育科目の開発③ (授業の計画・指導案)」

### 2日目

11. グループワーク「共通教育科目の開発④ (最終発表準備)」
12. グループ発表
13. ふりかえり



## ▶参考資料

佐藤浩章編『大学教員のための授業方法とデザイン』玉川大学出版部  
高知大学 大学教育創造センター作成『FDハンドブック Tips集1 ~ 6』  
高知大学 大学教育創造センター作成『FDハンドブック Tips9』  
高知大学 大学教育創造センター『授業をもっと良くできる!授業改善アンケート、ピア・レビュー、授業参観の進め方』

## ▶受講者の声

- ・ 授業の準備という大切なところの研修を受けることができて良かったです。シラバスの重要性を正直なところ認識していなかったのですが、学生がどう学び何を得意にいくかに深く結びついており考えるべきところだなと内省すると共に、今後に生かしていきたいと思います。講師の先生方がとても分かりやすく教えてください、多くのことを一緒に考えて下さって、ユーモアもあり、自分のロールモデルとしても描かせていただきました。ありがとうございました。
- ・ 疑問について考察し、自分なりに答えを出せた気がする。合宿形式ではないが、ほどよい距離感で通い形式もありだと思う。

## プログラム番号 Y-003

講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザインー考え方と進め方ー **FD**

## \*主な対象

学生の学びを向上させるために、グループ・ペア学習を授業の一部に取り入れたい教員

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

俣野秀典（高知大学 大学教育創造センター）

## \*日時

8月31日(木)13:30～15:30

## \*場所

高知大学朝倉キャンパス共通教育棟3号館1階310教室

## \*受講定員

30名

## \*主催

高知大学 大学教育創造センター

## \*メー

開講日1週間前、先着順

## \*申込先・問合せ先

高知大学学務部学務課

E-mail : y-spod@kochi-u.ac.jp

## \*目標\*

1. グループでの活動による学習の効果を説明できる。
2. 協同的な学習活動を生産的なものにするための条件（要素）について二つ以上説明できる。
3. 学生を参加させるための技法を目的に応じて選択できる。

## \*内容\*

“学びのプロセスに学生自身がどれだけ関わることができたか”が学習成果を左右すると言われています。ここ数年、学生参加型や双方向型授業といった名称の授業が増えてきていることの大きな理由がここにあります。

そこで本プログラムは、授業の活動性を高めるために、講義の一部にグループ学習やペア学習を取り入れてみたいと考えている教員を主な対象として、そのための考え方や方法を参加メンバーと共に学び、理解することを目的として実施されます。

1. アイスブレイクの基本
2. 小グループ・ペア学習／能動的学習の効果
3. 学生を参加させるための要素・技法
4. 授業等への適用例
5. 学習課題の組み立て方
6. ふりかえり

## ▶受講者の声

- ・授業ですぐに使えることも含めてわかりやすく教えていただきました。
- ・なぜ、協同学習が必要かその意義と学習にもたらす影響をよく理解できた。
- ・様々なスキルが何を目指したものかが理解できた。
- ・アクティブラーニングを具体的に想像できたので、授業で反映したいと思います。

プログラム番号 Y-004 **New!!**大人数講義法～良い授業づくりのコツ～ **FD**

## \*主な対象

教員

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

杉田郁代（高知大学 大学教育創造センター）

## \*日時

9月5日(火)10:00～11:30

## \*場所

高知大学朝倉キャンパス共通教育棟3号館1階310教室

## \*受講定員

20名

## \*主催

高知大学 大学教育創造センター

## \*メー

開講日1週間前、先着順

## \*申込先・問合せ先

高知大学学務部学務課

E-mail : y-spod@kochi-u.ac.jp

## \*目標\*

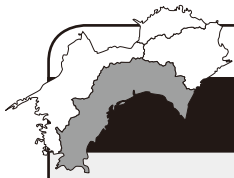
1. 「学生中心の大学」の実現のために“良い”授業ができるようになる。
2. 様々な授業スキルを、実際の体験を通して習得し、習得したことを自分の授業に生かすことができる。
3. 教育心理学の視点からの「わかる授業のメカニズム」が理解できる。

## \*内容\*

1. はじめに  
授業中の「困り感」は？
2. 「授業スキル」のいろいろ
3. 「わかる授業にするコツ～教育心理学の視点から～」
4. ミニ授業体験
5. 休憩と質疑応答
6. 学生との「コミュニケーション」の基本テクニック  
授業の中に学生の居場所をつくる
7. まとめ：  
あらためて、「良い」授業とは？

## ▶準備物について

授業で配布される資料（一部）をご用意ください。



プログラム番号 Y-005

## はじめてみよう!アクティブ・ラーニング

FD

## \*主な対象

アクティブ・ラーニングをはじめたい教職員

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

立川明（高知大学 大学教育創造センター）

## \*日時

9月6日(水)9:30～12:00

## \*場所

高知大学朝倉キャンパス共通教育棟3号館1階310教室

## \*受講定員

40名

## \*主催

高知大学 大学教育創造センター

## \*その他

開講日1週間前、先着順

## \*申込先・問合せ

高知大学学務部学務課  
E-mail: y-spod@kochi-u.ac.jp

## \*目標\*

- ・深い学びに誘うアクティブ・ラーニングには何が必要か説明できる。
- ・試験紙法の二つの方法の手順が説明できる。
- ・二つの方法に対応した良い課題の条件が説明できる。

## \*内容\*

グループワークを取り入れてみたけど盛り上がらない、思ったように進まないという経験はありませんか？参加型の要素を入れても深い学びに結びつけるには、工夫が必要です。効果的な学習を支援するための工夫に必要な要素があります。この要素を知り、具体的な手法を学ぶことで、自分の授業をアクティブ・ラーニングに変えてみましょう。

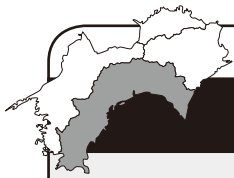


## ▶参考資料

- ・小林昭文著「アクティブ・ラーニング入門」（産業能率大学出版部）
- ・高知大学 大学教育創造センター作成『FDハンドブック Tips5「TBL（チーム基盤型学習）で授業改善」』

## ▶受講者の声

- ・アクティブラーニングを取り入れる際の基本的な考え方が分かりました。
- ・アクティブラーニングを授業のなかで取り入れたい。
- ・ふりかえりやアクティブラーニングの手法が勉強になりました。



プログラム番号 Y-006

## グループワークの技法

FD

## \*主な対象

課題探求実践セミナー担当教員、グループワーク型授業担当教員

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

塩崎俊彦、立川明、杉田郁代、  
俣野秀典（高知大学 大学教育創造センター）

## \*日時

9月6日(水)13:30～16:30

## \*場所

高知大学朝倉キャンパス共通教育棟3号館1階310教室

## \*受講定員

30名

## \*主催

高知大学 大学教育創造センター

## \*その他

開講日1週間前、先着順

## \*申込先・問合せ

高知大学学務部学務課  
E-mail: y-spod@kochi-u.ac.jp

## \*目標\*

- ・グループワーク型授業のねらいが説明できる。
- ・知識伝授型、課題探求型授業に適したグループワークの手法を理解する。
- ・グループワークに不可欠な省察とフィードバックの手法を理解する。

## \*内容\*

グループワークを多用することで、学生の諸能力が鍛えられると期待されますが、教員が間違った指導（介入）や評価をしてしまうと台無しになってしまう場合もあります。担当者が授業のねらいを理解し、観察の観点や介入のポイントを知っておく必要があります。PBL型授業を有意義なものにするため、以下の様な内容のワークショップを行います。

- ・ミニ講義 グループワーク型授業のねらい
- ・ワークショップ
  - ① アイスブレイクの手法
  - ② 試験紙法の手法
  - ③ 課題探求型授業の組み立て
  - ④ ふりかえりの手法

模擬的にグループワークを行うことで、その運営方法を理解します。  
※グループワークのためのファシリテーション入門とあわせて受講することを推奨します。

## ▶受講者の声

- ・手法がよくわかるとともに、グループワークの注意点がよく学べました。
- ・スキルアップと自己のふり返りができました。
- ・正直なところ、グループワークは自分には無理だと思っていましたが、経験してみると楽しくて、やってみたいようになりました。あまり難しく考え過ぎずに、とにかくチャレンジしようという前向きになれた点が良かったです。

プログラム番号 Y-007

## シラバスブラッシュアップワークショップ

FD

## \*主な対象

授業改善をしたい教員

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

立川明 (高知大学 大学教育創造センター)

## \*日時

1月31日(水) 13:30~15:00

## \*場所

高知大学朝倉キャンパス共通教育棟3号館1階310教室 (予定)

## \*受講定員

30名

## \*主催

高知大学 大学教育創造センター

## \*メー

開講日1週間前, 先着順

## \*申込先・問合せ先

高知大学学務部学務課

E-mail: y-spod@kochi-u.ac.jp

## \*目標\*

学習成果 (ラーニングアウトカムズ) を意識してシラバスを書くことができる。  
時間外学習を意識したシラバスを書くことができる。

## \*内容\*

シラバスを改善することによって, 教育効果を高めるため, 以下の内容について自作のシラバスをブラッシュアップします。

- ・成績評価しやすく学生にとってわかりやすい目標の書き方
- ・目標にリンクした成績評価の書き方
- ・目標にリンクした授業計画の書き方
- ・その他の項目の書き方

## ▶参考資料

佐藤浩章編『大学教員のための授業方法とデザイン』(玉川大学出版部, 2010年)

## ▶準備物について

ご自身のシラバス

プログラム番号 Y-008

New!!

## 新任教員のためのリフレクションセミナー

FD

## \*主な対象

右記参照

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

塩崎俊彦, 立川明, 杉田郁代, 俣野秀典 (高知大学 大学教育創造センター)

## \*日時

3月27日(火) 10:00~12:00

## \*場所

高知大学朝倉キャンパス共通教育棟1号館1階多目的室 (予定)

## \*受講定員

30名

## \*主催

高知大学 大学教育創造センター

## \*メー

開講日1週間前, 先着順

## \*申込先・問合せ先

高知大学学務部学務課

E-mail: y-spod@kochi-u.ac.jp

## \*主な対象\*

- ・平成29年度にSPODの新任教員研修を受講した教員
- ・平成29年度の自分の授業の振り返りを行いたい教員

## \*目標\*

1. 自らの授業を振り返り, 効果のあったことやうまくいかなかったことなどを説明できる。
2. 授業の振り返りを通じて, 次年度, どのように授業を行うか, アクションプランを作成できる。

## \*内容\*

このセミナーは, 主に新任教員を対象に, 参加者が実施した授業について, 学生の理解度の把握や授業方法, 授業期間中の自身のモチベーションや葛藤などについて振り返り, 次年度の授業の改善に結びつけていくことをめざします。「振り返り」は「良かったか」「悪かったか」で行う反省ではありません。

セミナーでは個人・ペア・グループワークを通じた担当者自身の気づきを大切にします。

【授業の振り返り】… 平成29年度の授業 (1科目) について, 振り返りを行う。

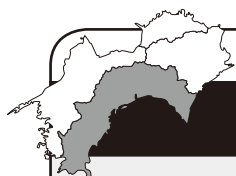
【アクションプランの作成】… 振り返りから得られた気づきをもとに, 次年度の授業でのアクションプランを考えます。シラバスを見直すことや, あらたな授業方法などについて, 参加者や大学教育創造センター教員との対話を通じて, 授業をブラッシュアップしていきます。

## ▶参考資料

佐藤浩章編『大学教員のための授業方法とデザイン』(玉川大学出版部, 2010年)

## ▶準備物について

1. 振り返りたい授業のシラバス (必須)
2. 授業アンケートや学生のコメントの控え (任意)
3. 成績評価の控え (任意)
4. 1~3のデータの入ったノートパソコン (任意)



プログラム番号 Y-009

## 能動的学習支援者必須！ グループワークのためのファシリテーション入門 FD

### \*主な対象

グループワークを取り入れている授業担当教員およびTA等として授業の補助を行う学生

### \*対象校

SPOD全加盟校

### \*目標

右記参照

### \*講師

塩崎俊彦、立川明、杉田郁代、俣野秀典（高知大学 大学教育創造センター）

### \*日時

3月27日（火）13:30～16:30

### \*場所

高知大学朝倉キャンパス共通教育棟1号館1階多目的室（予定）

### \*受講定員

30名

### \*主催

高知大学 大学教育創造センター

### \*その他

開講日1週間前、先着順

### \*申込先・問合せ

高知大学学務部学務課  
E-mail: y-spod@kochi-u.ac.jp

### \*目標\*

- ・グループワークを主とする授業担当者にとって必須となる能力：ファシリテーション力を身につける。
- ・グループ活動支援に必要なチームビルディングの方法を知る。
- ・チームビルディングゲームの進め方を知る。
- ・場の構築の重要性を理解する。
- ・フィードバックの重要性を理解する。
- ・ファシリテーションにおける注意点を覚える。

### \*内容\*

一方的な講義形式の授業から学生参加型／双方向型授業への展開に対応する形で、授業のファシリテーター（学習支援・促進者）としての教員の役割の重要性が顕著になってきています。

そこで本プログラムは、グループワークを多用した授業において教員が知っておきたい授業ファシリテーションについてのマインドとスキルについて、特にチームビルディングを重点的に取り上げ、実際に体験しながら習得することを目的として実施されます。

- ・オリエンテーション

- ・導入エクササイズ「グループの作り方とアイスブレイク」
- ・グループ演習「体験学習を体験する」～振り返りと解説
- ・ファシリテーターとしての行動・姿勢
- ・全体の振り返り、分かち合い

※グループ演習（チームビルディングゲーム）は、参加者のニーズ・人数に応じて、下記より3～4種類をピックアップの予定。

- ・記者会見・総当たりインタビュー・学習スタイル・コンセンサスを求めて・私の価値観／ライフポジション・パスは待ってこない・グループプロセスの観察

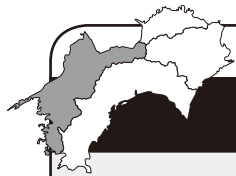
### ▶受講者の声

- ・実際に体験して、アクティブラーニングの重要性がよくわかった。
- ・ファシリテーターに対する理解が深まった。
- ・ファシリテーターとして必要な能力とは何かを知ることができた。
- ・自分自身の特性を確認することができました。学習スタイルの確認、集団の中での確認、そして、総合と結びついてよかったです。



# FD/SDプログラム

(教職員対象)



プログラム番号 I-015

## 学生の学びやすさと学習意欲を高める授業設計 —課題分析図の活用— 〈春期 FD/SD スキルアップ講座〉

FD/SD

## \*主な対象

教職員

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

仲道雅輝（愛媛大学総合情報メディアセンター兼教育企画室）

## \*日時

5月11日(木)13:00～15:00

## \*場所

愛媛大学城北キャンパス愛大ミュージ  
1階アクティブラーニングスペース2

## \*受講定員

24名程度

## \*主催

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室

## \*メー

要問い合わせ

## \*申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail: opar@stu.ehime-u.ac.jp

## \*目標\*

1. 学習目標を行動目標として明確に表現できる。
2. 自身の教授内容の課題分析図が作成できる。
3. 課題分析の結果をもとに、授業構成の改善案を立てることができる。

## \*内容\*

学生の学びやすさと学習意欲を高めるために、いくつかのID（インストラクショナル・デザイン）理論を用いて授業設計の手法を学びます。学習意欲は、学びやすさによって維持・促進され、動機づけによって高めることができます。学びやすさや意欲を設計するためには、教員が自身の教授内容を明確にし、学生目線で再構築する作業が必要です。その第一段階として、学生に対して「この授業で何ができるようになるればよいのか」が具体的に伝わる学習目標を提示します。次に教員の頭にある既に構成された教授内容を一旦分解します。

これを課題分析といい、分解した学習要素をより学びやすく、意欲の向上

に効果的な学習順序になるよう再構築します。

本プログラムでは、課題分析のワークを通じて、これからの授業改善に役立つヒントを持ち帰っていただきます。

## ▶準備物

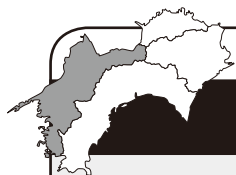
ご自身のシラバスもしくは授業計画等

## ▶参考資料

関田一彦・渡辺貴裕・仲道雅輝（2016）『教育評価との付き合い方—これからの教師のために』（さくら社）

## ▶受講者の声

- ・学習目標の記述の具体例が示され大変参考になった。
- ・教材の内容のみではなく、学習内容の再構造化が大切だと分かった。
- ・イメージしやすい説明で大変有意義でした。
- ・集中力が途切れずに受けられ、研修会自体が授業の参考になった。
- ・簡単な演習が入っていたので考えるトレーニングになった。
- ・質問に丁寧に答えていただけた。



プログラム番号 I-016

## アクティブラーニング入門セミナー 〈春期 FD・SD スキルアップ講座〉

遠隔

FD/SD

## \*主な対象

教育経験の浅い教員、大学職員全般

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

小林忠資（愛媛大学教育企画室）

## \*日時

5月18日(木) 13:30～15:30

## \*場所

愛媛大学城北キャンパス愛大ミュージ  
1階アクティブラーニングスペース2

## \*受講定員

40名

## \*主催

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室

## \*メー

要問い合わせ

## \*申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail: opar@stu.ehime-u.ac.jp

## \*目標\*

1. アクティブラーニングが必要な理由を述べることができる。
2. アクティブラーニングの教育手法のメリット・デメリットを具体的に説明できる。
3. 自ら担当する授業で活用できそうなアクティブラーニングの教育手法を列挙することができる。
4. アクティブラーニングの教育手法を実践することができる。

## \*内容\*

1. 意義ある学習とは
2. アクティブラーニングとは
3. 期待される効果
4. 説明、発問、指示
5. さまざまなアクティブラーニングの技法
6. 学習課題の組み立て方
7. アクティブラーニングの課題

## ▶参考書（購入する必要はないが、推奨する図書）

中井俊樹編（2015）『アクティブラーニング』（玉川大学出版部）

## プログラム番号 I-017

## プロジェクトマネジメント〈夏期 FD・SD スキルアップ講座〉 FD/SD

|                 |                                                      |
|-----------------|------------------------------------------------------|
| <b>*主な対象</b>    | 教職員                                                  |
| <b>*対象校</b>     | SPOD全加盟校                                             |
| <b>*目標</b>      | 右記参照                                                 |
| <b>*講師</b>      | 丸山智子（愛媛大学教育企画室）                                      |
| <b>*日時</b>      | 8月10日（木）10:00～12:00                                  |
| <b>*場所</b>      | 愛媛大学城北キャンパス愛大ミュージアム1階アクティブラーニングスペース2                 |
| <b>*受講定員</b>    | 30名                                                  |
| <b>*主催</b>      | 四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）                            |
| <b>*メー</b>      | 開講日1週間前                                              |
| <b>*申込先・問合せ</b> | 愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室<br>E-mail: opar@stu.ehime-u.ac.jp |

## \*目標\*

1. プロジェクトマネジメントとは何かを説明できる
2. プロジェクトマネジメントの考え方やプロセスを説明できる

## ▶参考資料

プロジェクトマネジメント知識体系  
＜PMBOK＞（PMI）

## \*内容\*

1. プロジェクトとは
2. プロジェクトマネジメントとは
3. プロジェクトの成功とは
4. プロジェクトのライフサイクル
5. プロジェクトの目的の共有
6. 9つの知識エリアとプロセス
  - －プロジェクト憲章
  - －Work breakdown structure (WBS)
  - －スコープ定義
  - －リスクマネジメント
  - －ステークホルダーマネジメント
7. プロジェクトマネジャーに求められる条件
8. チームの育成
9. プロジェクトの終結

## ▶受講者の声

- ・プロジェクトマネジメントについて必要な能力、資質について知ることができた
- ・日常の業務に生かせる内容が多く含まれていた
- ・過去にうまくいかなかったことに対して、どうして失敗したのかその手がかりを得ることができた
- ・受け身でなく能動的な研修で良かった

## プログラム番号 I-018

## 講義のための話し方入門〈夏期 FD・SD スキルアップ講座〉 FD/SD

|                 |                                                                                 |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| <b>*主な対象</b>    | 教員、とりわけ講義を受け持つようになって間もない教員（I-010とセットで受講することが推奨されますが、単独受講も大歓迎です）。また、職員の参加も歓迎します。 |
| <b>*対象校</b>     | SPOD全加盟校                                                                        |
| <b>*目標</b>      | 右記参照                                                                            |
| <b>*講師</b>      | 小林直人（愛媛大学学長特別補佐、教育企画室長）、<br>飯島永津子（愛媛大学医学部教育協力者）                                 |
| <b>*日時</b>      | 8月21日（月）13:00～15:00                                                             |
| <b>*場所</b>      | 愛媛大学城北キャンパス愛大ミュージアム1階アクティブラーニングスペース2                                            |
| <b>*受講定員</b>    | 40名                                                                             |
| <b>*主催</b>      | 愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室                                                              |
| <b>*メー</b>      | 開講日1週間前                                                                         |
| <b>*申込先・問合せ</b> | 愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室<br>E-mail: opar@stu.ehime-u.ac.jp                            |

## \*目標\*

1. 「学生中心の大学」の実現のために“よい”授業ができるようになる。  
⇒ “良い”授業とは？
  - ・わかりやすい授業
  - ・知的な緊張感のある授業
  - ・学生が積極的に参加し自ら考える授業
2. 講義をするときに注意が必要な話し方のコツを、講習中の実習を通して習得し、習得したことを自分の授業に生かすことができる。

## \*内容\*

1. イントロダクション
  - ・本日のメニュー
  - ・本日の目的と目標

## ▶受講者の声

- 子音でわかりにくい言葉の事例を聞いて納得。
- 自分では声は大きいし、大丈夫と思ってましたが、話し方には話す内容も大事だということを実感しました。

## ▶参考資料

- ・佐藤浩章編（2010）「大学教員のための授業方法とデザイン」、玉川大学出版部。

## 2. 講師が気をつけていること

- ・学生にとってわかりやすい話し方とは？
- ・どうしたらわかりやすい話し方ができるか？
- ・発音しにくい言葉
- ・区別しにくい言葉

## 3. 実例を元に演習

- ・聞き手が理解しやすい話し方
- ・どう話すか？の前に何を話すか？

## 4. 休憩とストレッチ

## 5. 外部講師（教育協力者）による発声練習

- ・大きな声を出すためには？
- ・はっきりと発音するためには？

## 6. まとめ・セルフアセスメント

- ・あらためて、「良い」授業とは？

## 7. 質疑応答

どうしたら  
分かりやすい話し方ができるか？

—小林が気をつけていること—

- ・ゆっくり話す・大きな声で話す
- ・子音をはっきり話す
- ・否定後や文末を強調する
- ・アイ・コンタクトして話す
- ・聞き手に近寄って行って話す
- ・特に抑揚をつけて前後に間を入れて何度も繰り返して
- ・キーワードを強調して話す
- ・紛らわしい言い方は避ける
- ・板書やプリントを併用する



プログラム番号 I-019

New!!

## 3つのポリシー(ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー; アセスメント・ポリシー)の開発と一貫性構築



FD/SD

## \*主な対象

学長、学部・学科長、学務関係の委員長と委員、事務局長、学務関係の事務職員(管理職を含む)、他

## \*対象校

右記参照

## \*目標

右記参照

## \*講師

小林直人(愛媛大学学長特別補佐、教育企画室長)

## \*日時

9月11日(月)16:00~17:30

## \*主催

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク(SPOD)

## \*メー

要問い合わせ

## \*申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail: opar@stu.ehime-u.ac.jp

## \*その他

遠隔配信のみのプログラムとなります

## \*対象校\*

SPOD全加盟校(愛媛大学からの遠隔配信を受信できること、または受信できる施設にて受講すること)。ただし、愛媛大学内では受講できません。

## \*目標\*

中央教育審議会大学分科会大学教育部会が示した(平成28年3月31日)「3つのポリシーの策定及び運用に関するガイドライン」に基づき、所属する大学等の「3つのポリシー」の原案を策定できる。

## \*内容\*

1. 大学等に求められている「3つのポリシー」を策定するには、「学力の3要素」に含まれる内容を網羅する必要がある。これに関連して、「3つのポリシー」を誰が読むのか、誰に向けて発信するのかを考える。
2. それぞれの大学等の「建学の精神」「大学憲章」と「3つのポリシー」とがどのように関係するのか、大学と学部の「3つのポリシー」の間の関係性をどうするのか、それらの階層性を規定する必要がある。
3. ディプロマ・ポリシー(DP)の具体例を紹介する。
4. カリキュラム・ポリシー(CP)の具体例を紹介する。

5. CPを具体的に表現するための、「履修系統図」などのツールを紹介する。
6. アドミッション・ポリシー(AP)の具体例を紹介する。特にAPは「学力の3要素」との関連づけを強く求められている。
7. 「4つ目のポリシー」として、教育学習効果を測定するためのアセスメント・ポリシーを構築する必要性を考える。
8. 「3つのポリシー」の一貫性を構築する手法について考える。

## ▶参考資料

- ・白川優治「特集 3つのポリシーの具現化:愛媛大学 全学の教育改革推進の核となる3ポリシーの見直し」, リクルート『カレッジマネジメント』201号, 2016年11・12月号, 36~39ページ

## ▶準備物について

- ・自大学の「建学の精神」や「大学憲章」など
- ・全学や学部の「3つのポリシー」
- ・中教審のガイドライン(文科省のウェブサイトで入手可)

## ▶受講者の声

- ・3つのポリシーと学力の3要素について理解できた。

プログラム番号 I-020

学習者の学習意欲を高める授業設計を行うためのインストラクショナル・デザイン(ID)入門  
- ARCS 動機づけモデルの活用 - (夏期FD・SDスキルアップ講座)

FD/SD

## \*主な対象

授業等において、改善したい課題を持っている教員もしくは、インストラクショナルデザインに関心がある教職員。

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

仲道雅輝(愛媛大学総合情報メディアセンター兼教育企画室)

## \*日時

9月12日(火)13:00~15:00

## \*場所

愛媛大学城北キャンパス愛大ミュージアム1階アクティブラーニングスペース2

## \*受講定員

24名程度

## \*主催

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室

## \*メー

開講日1週間前

## \*申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail: opar@stu.ehime-u.ac.jp

## \*目標\*

1. 「インストラクショナル・デザイン(ID/教育設計)」が課題解決の方法論であることを説明できる。
2. 自分の授業を振り返り、到達目標を明確化するためのポイントが説明できる。
3. 学習者を動機づけるための一つの手法(ARCS動機づけモデル)を活用し、授業設計のヒントを得ることができる。

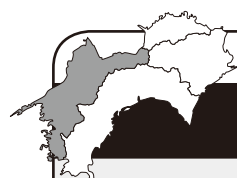
## \*内容\*

本プログラムでは、これまで自身が実施してきた教育に対する考え方や実施方法について見つめ直し、何が課題であるかについて考えるところからはじめ、教育をより効果的・効率的・魅力的にするための方法論であるインストラクショナルデザイン(教育設計)(以下、IDという)の中から、学習者を動機づけするための手法(ARCS動機づけモデル)や学習者の学びを支援するための働きかけに関する理論を事例とともに学び、ワークショップ形式にて課題解決策の糸口を探っていきます。

## ▶準備物について ご自身のシラバスもしくは授業計画等をご用意ください。

## ▶受講者の声

- ・具体的な改善点が見えた。
- ・学生目線での授業を設計する必要性を感じた。
- ・自身の授業改善のヒントを得られた。
- ・改善のためのツールを闇雲に取り入れるのではなく、体系的に設計することの必要性が理解できた。



## プログラム番号 I-021

eラーニング活用(入門編)ー学習支援システム Moodle を活用して  
きめ細やかな学習支援を実現しようー(夏期 FD・SD スキルアップ講座)

FD/SD

## \*主な対象

Moodleを使ってみたい、  
Moodleで何ができるのか、  
操作できるようになりたい教職員

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

佐々木隆志(愛媛大学総合情報メディア  
センター)、仲道雅輝(愛媛大学総合  
情報メディアセンター兼教育企画室)

## \*日時

9月14日(木)13:00~15:00

## \*場所

愛媛大学城北キャンパス  
総合情報メディアセンター演習室

## \*受講定員

40名

## \*主催

四国地区大学教職員能力開発  
ネットワーク(SPOD)

## \*メ

開講日2週間前

## \*申込先・問合せ先

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail: opar@stu.ehime-u.ac.jp

## \*目標\*

1. 学習支援システム(LMS) Moodleを操作できるようになる。
2. Moodleを活用したeラーニングについて説明ができる。
3. Moodleでコースを作成できる。

## \*内容\*

1. Moodleコースが開設されるまで(登録方法)
2. Moodleとは
3. コースへのログイン
4. コンテンツ(文書&動画)のアップロード
5. フォーラム(掲示板)によるディスカッション
6. レポート課題の提出
7. 小テストの作成と実施
8. アンケート機能
9. 採点と成績(評定)の管理
10. メールの送信(クイックメール)
11. 受講ログの確認

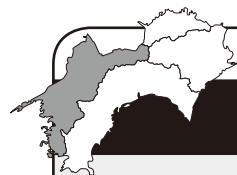
2017年度よりMoodleのバージョンが2系から3系になります。  
本研修では主にMoodle 3を使います。

## ▶参考資料

「大学におけるeラーニング活用実践集」(2016)、大学eラーニング協議会監修、  
日本リメディアル教育学会監修、ナカニシヤ出版。

## ▶受講者の声

- ・資料が充実していて、わかりやすく受講できました。
- ・学生とのコミュニケーションが出来き、細かい指導が可能だと思いました。



## プログラム番号 I-022 (New!!)

## IRer 養成講座

FD/SD

## \*主な対象

IRを担当する教職員、IRに関心  
のある教職員

## \*対象校

全国の高等教育機関

## \*目標

右記参照

## \*講師

中山晃、中井俊樹、清水栄子、  
小林忠實、加地真弥(愛媛大学)  
ほか

## \*日時

11月17日(金)~11月19日(日)

## \*場所

愛媛大学城北キャンパス

## \*受講定員

40名

## \*主催

愛媛大学教育・学生支援機構教  
育企画室(教職員能力開発拠点)

## \*メ

愛媛大学教育企画室ホームページ(<http://web.opar.ehime-u.ac.jp/>)に掲載予定

## \*申込先・問合せ先

愛媛大学教育学生支援部教育企画課  
E-mail: kjiyoiku@stu.ehime-u.ac.jp

## \*目標\*

1. IRの5つのステップを説明できる
2. データ収集の方法を説明できる
3. 所属大学のIRの実践を説明できる
4. データを分析することができる
5. データ分析の結果を報告できる
6. IRに関する多様な考えや経験を尊重し、共に学び合う雰囲気をつくること

## \*内容\*

1. オープニング・アイスブレイク
2. オリエンテーション
3. IRの5つのステップを理解する
4. 所属大学でのIRの実践を紹介する
5. データを分析する
6. 教育改善の提案を考える
7. 分析結果を報告する
8. 振り返り



## ▶受講者の声

- ・IRの意識や心構えから分析ツールの紹介、分析例、分析に実践とステップを踏んでIRerの業務を理解できました。
- ・他大学の方々とネットワークを持つことができた。分析手法等即戦力となる内容であった。
- ・いろいろな分析手法を学べたこと、有意義なグループワークができたことが良かった。
- ・実践で役立つ知識・スキルを学ぶことができて良かった。

プログラム番号 I-023

## 学生の授業時間外学習を促すシラバス作成法

FD/SD

### \*主な対象

これから授業を担当する教員、  
これまで作ったシラバスをより  
よいものにしたい教職員

### \*対象校

SPOD全加盟校

### \*目標

右記参照

### \*講師

仲道雅輝 (愛媛大学総合情報メ  
ディアセンター兼教育企画室)

### \*日時

12月14日(木) 10:00~12:00

### \*場所

愛媛大学城北キャンパス愛大ミュージ  
1階アクティブラーニングスペース2

### \*受講定員

24名程度

### \*主催

愛媛大学教育・学生支援機構教  
育企画室

### \*その他

要問い合わせ

### \*申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail : opar@stu.ehime-u.ac.jp

### \*目標\*

1. シラバスの役割を説明できる。
2. 授業の「目的」と「目標」との違いを説明できる。
3. 適切な「目的」と「目標」を書くことができる。
4. 学習者が自学自習に励むようなシラバスを書くことができるようになる。

### \*内容\*

1. 授業デザインの考え方
2. シラバスとは何か?  
・定義
3. 授業題目・キーワードの書き方  
・わかりやすく書く
4. 目的の書き方  
・授業の目的の書き方
5. 目標の書き方  
・到達目標の書き方
6. 授業内容・スケジュールの書き方  
・無理のない進み具合
7. 授業時間外での学習を促す戦略  
・外発的・内発的動機づけによる  
学習課題に取り組ませるコツ  
・eラーニングを活用した課題への取  
り組ませ方

### 8. 受講条件の書き方

- ・ニーズと授業内容のミスマッチ防止

### 9. 受講ルールの書き方

- ・受講のマナー

### 10. 教材に関わる情報の書き方

### 11. 評価情報の書き方

### ▶準備物

ご自分の授業のシラバスをご持参下さい

### ▶参考資料

『FDハンドブック第1巻』『FDハンドブック第2巻』、愛媛大学教育企画室作成。  
・鈴木克明著 (2002) 『教材設計マニュアル-独学を支援するために-』、北大路書房。

### ▶受講者の声

- ・具体例が提示されており、自分のシラバス作成における対策がよくわかった。
- ・目標が成績評価項目になるという点が実感できた。
- ・自分が作成していたシラバスの良い点、改善点がわかった。
- ・評価の記述方法がわかった。
- ・個別の質問に丁寧に答えていただけた。

プログラム番号 Y-010

New!!

## メンタルヘルス研修会 -ストレスマネジメントおよびアンガーマネジメントの基礎知識-

FD/SD

### \*主な対象

教職員

### \*対象校

SPOD全加盟校

### \*目標

右記参照

### \*講師

杉田郁代 (高知大学 大学教育  
創造センター)

### \*日時

9月5日(火) 13:30~15:00

### \*場所

高知大学朝倉キャンパス共通教  
育棟3号館1階310教室

### \*受講定員

30名

### \*主催

高知大学 大学教育創造センター

### \*その他

開講日1週間前、先着順

### \*申込先・問合せ

高知大学学務部学務課  
E-mail : y-spod@kochi-u.ac.jp

### \*目標\*

- メンタルヘルスとストレスに関わる基礎知識を習得する。
- ストレスマネジメントとアンガーマネジメントの手法についても習得する。

### \*内容\*

1. メンタルヘルスとストレスの基礎知識
2. ストレスマネジメント (認知行動療法) の基礎知識  
ストレスとコーピングスキルについて
3. アンガーマネジメントの基礎知識

### ▶準備物について

事前課題あり



# SDプログラム

(主に職員対象)

プログラム番号 I-025, Y-014, K-015, I-032

## 次世代リーダー養成ゼミナール

SD

## \*主な対象

以下の条件を満たす職員

- ・40歳以下を原則とする。
- ・各機関の長が推薦する職員
- ・SPOD加盟校の職員。ただし、定員に達していない場合は、SPOD加盟校外の職員を受け入れることができる。
- ・スタッフ・ポートフォリオを作成し、受講申し込み時に提出できる職員
- ・受講にあたっての抱負が明確であり、受講申込時に文書（2,000字程度）で提出できる職員
- ・SPOD研修プログラムのレベルⅡ程度を修了した者、または、それと同等の能力があると認められた職員

※各機関においては受講者を選抜する段階で、面接等を実施してください。

※2年間で修了要件である全日程の9割以上出席可能な職員を推薦してください。

## \*対象校

SPOD全加盟校。ただし、定員に達していない場合は、SPOD加盟校外にも開放。

## \*目標

右記参照

## \*講師

外部講師、SPOD内講師

## \*日時

第1回 6月1日(木)～3日(土)  
(3日間)  
第2回 7月20日(木)～22日(土)  
(3日間)  
第3回 10月26日(木)～28日(土)  
(3日間)  
第4回 1月18日(木)～19日(金)  
(2日間)

## \*場所

第1回 愛媛大学  
第2回 高知大学  
第3回 香川大学  
第4回 愛媛大学

## \*受講定員

12名

## \*主催

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）

## \*メー

要問い合わせ

## \*申込先・問合せ

愛媛大学  
教育学生支援部教育企画課  
E-mail: spod@stu.ehime-u.ac.jp

## \*目的\*

将来、所属大学でのトップリーダーや高等教育界のリーダーとして大学等の経営を担うために必要な知識、技能、態度を身につけた人材を養成する。

## \*目標\*

## 【知識】

大学等の経営に必要となる以下のことができる。

- ・高等教育に関する理論・知識を応用する。
- ・経営管理・戦略、財政管理・戦略、危機管理に関する理論・知識を応用する。
- ・リーダーシップに関する理論・知識を応用する。

## 【技能】

上記の知識を利用して、大学等の大局的な運営に必要な以下のことことができる。

- ・情報収集・分析を行う。
- ・企画策定・提案を行う。
- ・判断を行う。
- ・折衝・調整を行う。
- ・後継者育成を行う。

## 【態度】

- ・学生を中心とした教育活動に積極的に働きかけることができる。
- ・立場の違う構成員と協力して働くことができる。
- ・地域や高等教育界のニーズに応えることができる。
- ・リーダーとしてふさわしい言動をとることができる。

## \*内容\*

プログラムは、「講義」「プロジェクト」「SD実践・演習」の3つを柱とする。

## 【1年目】

## 第1回 1日目

- ・次世代リーダー養成ゼミナール受講にあたって（決意表明）
- ・講義「リーダーシップ論Ⅰ」
- ・インストラクション・スキルⅠ（プレゼンテーションスキル）
- ・振り返り

## 2日目

- ・講義「研究方法論Ⅰ」（課題発見と解決）
- ・2年目生とのメンタリング実践Ⅰ
- ・講義「高等教育論」
- ・2年目生によるプロジェクト実践Ⅱ講評（進捗状況発表）

## 3日目

- ・講義「SD論」
- ・インストラクション・スキルⅠ（プレゼンテーションスキル）（自大学プレゼン発表）
- ・プロジェクト実践Ⅳ（ゼミ指導）

## 第2回

## 1日目

- ・2年目生によるSD実践Ⅱ講評（模擬講義）

## 2日目

- ・プロジェクト実践Ⅰ（課題設定①）※3つの課題発表
- ・講義「大学のガバナンスとマネジメント」
- ・プロジェクト・マネジメント

## 3日目

- ・講義「高等教育政策論」
- ・インストラクション・スキルⅡ（プログラム設計）
- ・講義「研究方法論Ⅱ」（文献検索・調査法）

## 第3回

## 1日目

- ・プロジェクト実践Ⅰ（課題設定②）※プロジェクトの発表・決定
- ・プロジェクト実践Ⅳ（ゼミ指導）
- ・2年目生によるSD実践Ⅲ（振り返り）

## 2日目

- ・2年目生とのメンタリング実践Ⅱ
- ・プロジェクト実践Ⅳ（2年目生対象ゼミ指導）
- ・研究方法論Ⅲ（調査票の作成）
- ・講義「人材育成ビジョン」

## 3日目

- ・講義「教育関係法規」
- ・プロジェクト実践Ⅳ（2年目生対象ゼミ指導）
- ・振り返り

## 第4回

## 1日目

- ・2年目生によるプロジェクト実践Ⅲ講評（修了プロジェクト発表）
- ・プロジェクト実践Ⅳ（ゼミ指導）



**2日目**

- ・SD実践Ⅰ（プログラム構築）
- ・講義「メンター入門」
- ・中間成績通知
- ・2年目生による発表「次世代リーダー養成ゼミナールを振り返って」
- ・修了式

**【2年目】****第5回 1日目**

- ・SD実践Ⅰ（プログラム構築）
- ・SD実践Ⅰ（マイクロティーチング）
- ・振り返り

**2日目**

- ・SD実践Ⅰ（プログラム構築）
- ・1年目生へのメンタリング実践Ⅰ
- ・研究方法論Ⅳ（データ分析基礎）
- ・研究方法論Ⅴ（レポートの書き方）
- ・2年目生によるプロジェクト実践Ⅱ（進捗状況発表）

**3日目**

- ・講義
- ・1年目生によるインストラクション・スキルⅠ 講評（プレゼンテーションスキル）（自大学プレゼン発表）
- ・プロジェクト実践Ⅳ（ゼミ指導）

**第6回****1日目**

- ・SD実践Ⅰ（プログラム構築）
- ・講義「リーダーシップ論Ⅱ」
- ・SD実践Ⅰ（プログラム構築）

**2日目**

- ・1年目生によるプロジェクト実践Ⅰ 講評（課題設定①）
- ・プロジェクト実践Ⅳ（ゼミ指導）
- ・講義

**3日目**

- ・講義
- ・SD実践Ⅰ（プログラム構築）

**第7回****1日目**

- ・SD実践Ⅱ（プログラム実践）
- ・SD実践Ⅲ（振り返り）

**2日目**

- ・1年目生へのメンタリング実践Ⅱ
- ・プロジェクト実践Ⅳ（2年目生対象ゼミ指導）
- ・講義

**3日目**

- ・講義
- ・プロジェクト実践Ⅳ（2年目生対象ゼミ指導）
- ・振り返り

**第8回****1日目**

- ・プロジェクト実践Ⅲ（修了プロジェクト発表）
- ・プロジェクト実践Ⅳ（ゼミ指導）

**2日目**

- ・最終口頭試問
- ・インストラクション・スキルⅡ（シラバス作成）
- ・成績通知
- ・発表「次世代リーダー養成ゼミナールを振り返って」
- ・修了式

**\*修了要件\***

- ・全日程の9割以上出席
  - ・全ての課題（レポート、プレゼンテーション、ディスカッション、実践等）を完遂し、合格すること。
  - ・最終口頭試問で合格すること。
  - ・全てのプログラムについてA～Dの4段階で評価し、合判定A～Cの評価を得ること。
- ※SPOD加盟校の職員は、修了後にSPODのSD講師に登録すること。

**▶受講者の声**

- ・リフレクション力が身についたと感じた。プロジェクトを遂行しレポートに落とし込んだことで、通常の業務よりも深い内省が出来たことはよかったと思う。また、模造紙やレポートなどで文字に書き起こしたことで論理的に考える力もついたと感じている。
- ・大学の「理念」とは何かを自分に問い、同僚に問いながら、物事を考える中心に据えることができるようになった。
- ・業務の問題点を意識し、新たな視点で解決する為の方策を思考する力が身についたと思う。日常業務だけでは見過ごされてしまうような問題でも、問題意識を持ち課題解決に向けて他者と協同することが大事であることが分かった。
- ・他大学の教職員と知り合えたこと、また同期のメンバーとともに協力し合い1つのことを成し遂げることが出来た点がよかった。同期の成長が自分の成長を刺激してくれたように思う。他大学との関係をさらによくすることで、自大学の発展に貢献していきたいと思った。

プログラム番号 I-024

# 大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルI）第1回【新任職員研修】 SD

## \*主な対象

新任職員（H28年4月2日～  
H29年4月1日採用の職員）

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

高等教育機関の職員として一般的に求められている広汎な素養を習得することができる。

## \*講師

丸山智子、吉田一恵、久保秀二、  
渡邉友樹（愛媛大学）  
野口悟（高知大学）  
中村詩乃（松山大学）

## \*日時

5月10日（水）～5月12日（金）  
（3日間）

## \*場所

愛媛大学総合情報メディアセンター  
メディアホール

## \*受講定員

80名

## \*主催

愛媛大学、四国地区大学教職員  
能力開発ネットワーク（SPOD）

## \*その他

要問い合わせ

## \*申込先・問合せ

愛媛大学  
教育学生支援部教育企画課  
E-mail : spod@stu.ehime-u.ac.jp

## \*内容\*

大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルI）のうち、6つの研修科目を実施する。

### ■高等教育職員入門

#### \*概要（目的）\*

・職員として自覚を持って業務を遂行する第一歩として、大学等を取り巻く状況を理解し、最低限必要な知識を身につける。

#### \*目標\*

・大学・短大・高専を取り巻く状況について説明することができる。  
・これからの職員の役割や求められる能力について説明することができる。

### ■メンタルヘルス・セルフケア

#### \*概要（目的）\*

・業務を行っていく上で最低限必要なメンタルヘルスの知識を習得する。

#### \*目標\*

・メンタルヘルスの重要性について説明することができる。  
・自己のメンタルの状況を把握することができる。

### ■コミュニケーション入門

#### \*概要（目的）\*

・コミュニケーション能力の向上を図るために、コミュニケーションスキルに関する基礎的な知識・技能・態度を身につける。

#### \*目標\*

・職場におけるコミュニケーションの必要性を説明することができる。  
・自身の考えを分かりやすく伝えることができる。  
・相手の意図を的確に汲み取ることができる。

### ■ビジネスマナー入門

#### \*概要（目的）\*

・業務を円滑に遂行するために、職員として最低限必要なビジネスマナーの基礎知識の習得と立ち居振る舞い等の基本動作を身につける。

#### \*目標\*

・業務における文書作成のルールを説明することができる。  
・メールのマナーを説明することができる。  
・基本的な来訪者対応・電話対応を行うことができる。  
・整理整頓を行うことができる。  
・報告・連絡・相談の重要性を説明することができる。

### ■キャリア形成入門

#### \*概要（目的）\*

・充実した職業生活（キャリア）を設計するために、自身のビジョン・適性等を明らかにし、自発的な能力開発・向上の意識を涵養する。

#### \*目標\*

・自身のキャリアを振り返ることができる。  
・自身の興味・適性・能力（キャリア・アンカー）等を説明することができる。  
・自身のキャリアプランを作成することができる。

### ■危機管理入門

#### \*概要（目的）\*

・職員が業務を行っていく上で最低限必要な危機管理について学ぶ。

#### \*目標\*

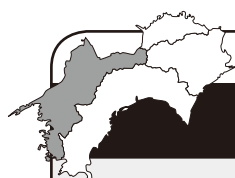
・危機管理の基本について、説明することができる。  
・危機が発生した場合、先ず自身がとるべき行動について、優先順位をつけることができる。

### ■振り返り

#### ▶受講者の声

・大学の置かれている状況や求められる職員像についてグループワークを通じて考える機会が多く、今後のキャリア形成について考える上で非常に役立った。  
・さまざまな分野の研修科目を学ぶことにより、物事を多角的に見る姿勢を身に付けることができた。  
・大学人・社会人としての心構えを学び、より一層日々の業務に責任感を持てるようになった。  
・仕事が以前より効率よくできるようになった。  
・自分の理想とする自分を知ることによって将来に向けて今何をすべきなのかが明確化できた。





プログラム番号 I-030

# 大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルI）第2回 **SD**

## \* 主な対象

係員相当級の職員

## \* 対象校

SPOD全加盟校

## \* 目標

高等教育機関の職員として一般的に求められている広汎な素養を習得することができる。

## \* 講師

吉田一恵、久保秀二、大本盛嗣  
(愛媛大学)  
下元浩二 (高知大学)

## \* 日時

11月9日(木)～11月10日(金)  
(2日間)

## \* 場所

愛媛大学本部5階第1会議室

## \* 受講定員

40名

## \* 主催

愛媛大学、四国地区大学教職員  
能力開発ネットワーク (SPOD)

## \* メ切

要問い合わせ

## \* 申込先・問合せ

愛媛大学  
教育学生支援部教育企画課  
E-mail: spod@stu.ehime-u.ac.jp

## \* 内容\*

大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルI）のうち、4つの研修科目を実施する。

## ■ リーダーシップ入門

### \* 概要（目的）\*

・業務遂行のために、リーダーシップ、フォローシップが重要であることを理解する。

### \* 目標\*

- ・リーダーシップについて説明することができる。
- ・フォローシップについて説明することができる。
- ・自己の仕事レベルでリーダーシップを発揮することができる。
- ・自己の仕事レベルでフォローシップを発揮することができる。



## ■ タイムマネジメント論

### \* 概要（目的）\*

・目標を達成するために時間を有効活用し、仕事を効果的・効率的に進めるための技術について理解する。

### \* 目標\*

- ・効率的な時間の使い方を説明することができる。
- ・スケジュールの優先順位をつけることができる。
- ・業務上の個人・係レベルのスケジュール計画・管理を行うことができる。
- ・段取りの基本テクニックを習得し、日常業務への展開を図ることができる。
- ・仕事がかどる基本習慣を築くことができる。

## ■ プレゼンテーション実践

### \* 概要（目的）\*

・実践で活用するために、プレゼンテーションの基礎的な知識・技能・態度を身に付ける。

### \* 目標\*

- ・プレゼンテーションの本質を説明することができる。
- ・相手に伝わる話の内容を組み立てることができる。
- ・プレゼンテーションに必要な技法を説明することができる。
- ・プレゼンテーションに必要な技法を使うことができる。

## ■ クレーム対応入門

### \* 概要（目的）\*

・クレームを最小限にとどめるため、クレームに対する1次対応者の取るべき基本的事項を学ぶ。

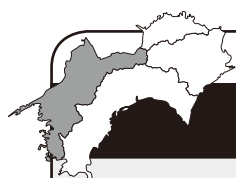
### \* 目標\*

- ・クレームに対する初期対応について説明することができる。
- ・真摯な態度で相手の話を聴くことができる。
- ・正確にメモを取り、事実を確認・整理することができる。
- ・慌てず、冷静に考えて正しい説明をすることができる。



## ▶ 受講者の声

- ・実際の仕事に密接に関わる内容で、研修そのものが有意義だっただけでなく、ワークを通して他の参加者の仕事について、普段は意識していないような視点で知ることができた。
- ・自主性、主体性をもって仕事をする事を学べた。
- ・将来自分が管理職になったときのことを意識するきっかけとなった。
- ・複数の仕事を並列して管理するための考え方のヒントを得ることができた。
- ・自己を表現する大切さを学べた。
- ・内容的にも学びが多かったが、前に立って長時間プレゼンし、内容や資料を準備した先輩職員の方々を目標にしたいと思った。



プログラム番号 I-026

## 大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅡ） SD

### \*主な対象

係長・主任相当級の職員

### \*対象校

SPOD全加盟校

### \*目標

高等教育機関の職員として一般的に求められている広汎な素養を習得することができる。

### \*講師

阿部光伸、秋谷恵子、上甲功治、大塚陽介（愛媛大学）

### \*日時

6月29日(木)～6月30日(金)  
(2日間)

### \*場所

愛媛大学校友会館2階サロン

### \*受講定員

30名

### \*主催

愛媛大学、四国地区大学教職員  
能力開発ネットワーク（SPOD）

### \*メー

要問い合わせ

### \*申込先・問合先

愛媛大学  
教育学生支援部教育企画課  
E-mail: spod@stu.ehime-u.ac.jp

### \*内容\*

大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅡ）のうち、3つの研修科目を実施する。

### ■大学リテラシー

#### \*概要（目的）\*

・効率的な日常業務処理だけにとどまらず、大学及び高等教育政策の全体を視野に入れ、将来の方向について積極的に議論できる素養を身につける。

#### \*目標\*

- ・大学という組織・制度について説明することができる。
- ・自校のミッションやアイデンティティについて説明することができる。
- ・高等教育政策に対して議論することができる。

### ■コミュニケーション実践

#### \*概要（目的）\*

・業務を円滑に遂行するために、他者を理解したコミュニケーションスキルを身につける。

#### \*目標\*

- ・自身の意見を整理し、主張することができる。
- ・他部署や立場による意見の違いを調整することができる。
- ・事前調整を行うことができる。
- ・部下に的確な指示を出すことができる。

### ■会議運営実践

#### \*概要（目的）\*

・効果的・効率的な会議を実施するために必要な運営手法を学ぶ。

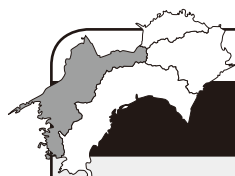
#### \*目標\*

- ・会議開始までに準備すべきことを説明することができる。
- ・会議の運営プロセスを説明することができる。
- ・議事要録のポイントを踏まえ作成の指導をすることができる。
- ・円滑な会議を実施することができる。

### ▶受講者の声

- ・実務上、知らず知らず実践できていることの論理的意義の発見や、新たな知識を得ることができた。
- ・今後の業務に対してモチベーションが上がり部下の指導に生かせると感じた。
- ・準備段階が非常に重要であることや、準備の方法を教えていただいたことが大変参考になった。





プログラム番号 I-029

## 大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅢ） SD

### \*主な対象

課長，課長補佐相当級の職員

### \*対象校

SPOD全加盟校

### \*目標

高等教育機関の職員として一般的に求められている広汎な素養を習得することができる。

### \*講師

野本ひさ，中井俊樹，吉田一恵（愛媛大学）

### \*日時

9月20日(水)～9月21日(木)  
(2日間)

### \*場所

愛媛大学本部5階第1会議室

### \*受講定員

30名

### \*主催

愛媛大学，四国地区大学教職員  
能力開発ネットワーク（SPOD）

### \*メモ

要問い合わせ

### \*申込先・問合先

愛媛大学  
教育学生支援部教育企画課  
E-mail : spod@stu.ehime-u.ac.jp

### \*内容\*

大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅢ）のうち，3つの研修科目を実施する。

### ■戦略マネジメント論

#### \*概要（目的）\*

・管理職として必要な高等教育政策や制度に関する知識を学ぶとともに，政策策定や改善策の企画・提案を行うために必要な考え方及び手法を学ぶ。

#### \*目標\*

- ・大学等の施策に対して改善策を提案することができる。
- ・大学等の理念・社会動向等に応じた方針を策定することができる。
- ・高等教育政策の背景や国内外の高等教育制度を説明することができる。
- ・経営の中・長期計画の策定に参画することができる。

### ■人材育成論

#### \*概要（目的）\*

・組織運営のため，求められる人材像を明らかにし，それに基づく人材マネジメントの手法を学ぶ。

#### \*目標\*

- ・その部署で求める人材像を明らかにすることができる。
- ・モチベーション理論について説明することができる。
- ・職場の活性化を促す提案ができる。

### ■メンタルヘルス・ラインケア実践

#### \*概要（目的）\*

・組織の健全なメンタルヘルス環境を整えるために必要な方策を学ぶ。

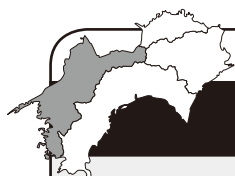
#### \*目標\*

- ・管理職の果たすべき役割について説明することができる。
- ・組織のメンタルヘルス環境を整えることができる。
- ・メンタル不調者に適切な対応ができる。
- ・職場復帰の支援ができる。

### ▶受講者の声

- ・管理職（リーダー）としての責任，自覚を再認識した。
- ・管理者として必要な能力，スキルについて学ぶことができた。
- ・シミュレーションをすることで想定していないことを体験できた。
- ・管理する視点を改めて知ることができ，自分に不足している点がわかった。
- ・課題だと思いながらこれまで真剣に考えることがなかった事について，今回勉強することができた。





プログラム番号 I-027

## 職員のための講師養成講座

SD

### \*主な対象

- ・上手に教えられようになりたい職員
- ・学内での研修で講師を務める可能性のある職員
- ・将来SPOD-SD講師になる意欲のある職員

### \*対象校

SPOD全加盟校

### \*目標

右記参照

### \*講師

中井俊樹, 清水栄子, 丸山智子, 吉田一恵（愛媛大学）ほか

### \*日時

8月30日(水)～9月1日(金)  
(3日間)

### \*場所

愛媛大学城北キャンパス

### \*受講定員

15名

### \*主催

愛媛大学, 四国地区大学教職員  
能力開発ネットワーク (SPOD)

### \*メモ

要問い合わせ

### \*申込先・問合せ

愛媛大学  
教育学生支援部教育企画課  
E-mail: spod@stu.ehime-u.ac.jp

### \*目標\*

- ・SPOD-SD講師としての心構えを持つことができる。
- ・研修プログラムをデザインすることができる。
- ・研修技法を述べることができる。
- ・研修講師を務める際に必要な知識・技法を習得することができる。

### \*内容\*

SPOD加盟校の意欲のある職員に対して、研修講師として必要な心構え、知識、技法を習得させることにより、将来のSPOD-SD講師として育成する。

- ・講師に求められる役割と姿勢を説明することができる。
- ・講師として研修を設計することができる。
- ・参加者の学習を促すスキルを身につけることができる。
- ・大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅠ）や自大学でのSD講師をすることに特化したマイクロティーチングを実施する。

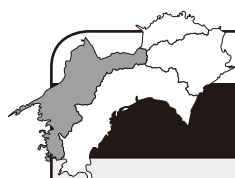
※マイクロティーチングとは、教え方を学ぶ方法で、少人数で順番に短時間の講義とフィードバックを繰り返しながら、講義・説明・プレゼンのスキルアップを行う研修。教える技術だけでなく、学習者心理を経験し、フィードバック法を学ぶ。

### ▶受講者の声

- ・型にとられない講義が必要であること、いかに受講者の興味をひけるかということ、分かりやすく説明すること、そのためには、順序立てて講義を行う必要があること等を学ぶことができた。
- ・例えば、会場のレイアウト、パワーポイントの基本形（色・フォントなど）、配布物等の形式的な環境整備も重要で、おろそかにしてはいけないことがわかった。
- ・講座の課題をまず提示し、最終的にどれだけ受講者がその課題に取り組み成果が見られたか、その成果の確認が重要であることがわかった。

※一部、「第29回授業デザインワークショップ」との共同開催となります。



プログラム番号 I-028 **New!!**

## 問題発見・解決の技法

SD

### \*主な対象

職場の問題を解決したい、仕事のやり方を改善したいと思っている職員の方。

### \*対象校

SPOD全加盟校

### \*目標

右記参照

### \*講師

丸山智子（愛媛大学教育企画室）

### \*日時

9月14日（木）10:00～12:00

### \*場所

愛媛大学城北キャンパス愛大ミューズ  
1階アクティブラーニングスペース2

### \*受講定員

30名

### \*主催

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室

### \*メー

開講日 1 週間前

### \*申込先・問合せ先

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail : opar@stu.ehime-u.ac.jp

### \*目標\*

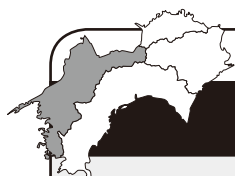
1. 問題解決とは何かを理解することができる。
2. 問題解決のステップを説明することができる。
3. 問題解決技法を仕事へ適用する策を講じることができる。

### \*内容\*

1. 問題解決におこる問題を考える
2. 「現状」と「あるべき姿」を認識する
3. 現状をなぜ改めて理解するのか
4. あるべき姿の合意形成を図る
5. 解釈をし、原因を分析する
6. 解決策の検討方法
7. 問題解決の5つのステップ
8. 問題解決技法の職場への適用

### ▶参考資料

- ・ 齋藤 嘉則（2010）『新版 問題解決プロフェッショナル—思考と技術』（ダイヤモンド社）
- ・ 後正武（1998）『論理思考と発想の技術』（プレジデント社）



プログラム番号 I-031

# スタッフ・ポートフォリオ作成ワークショップ SD

## \*主な対象

スタッフ・ポートフォリオを作成したい高等教育機関の職員

## \*対象校

全国の高等教育機関

## \*目標

右記参照

## \*講師

丸山智子, 吉田一恵（愛媛大学）ほか

## \*日時

12月中(2日間)

## \*場所

愛媛大学城北キャンパス

## \*受講定員

16名

## \*主催

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室(教職員能力開発拠点)

## \*メモ

愛媛大学教育企画室ホームページ (<http://web.opar.ehime-u.ac.jp/>) に掲載予定

## \*申込先・問合せ

愛媛大学  
教育学生支援部教育企画課  
E-mail: [kiyoiku@stu.ehime-u.ac.jp](mailto:kiyoiku@stu.ehime-u.ac.jp)

## \*目標\*

- ・スタッフ・ポートフォリオのメリットについて説明できる。
- ・スタッフ・ポートフォリオにおけるメンター、メンタリングの重要性について説明できる。
- ・自身のキャリアを振り返ることができる。
- ・自身のキャリアのビジョンについて考えることができる。
- ・スタッフ・ポートフォリオを作成することができる。

## \*内容\*

大学職員としての自己を振り返り、メンタリングを通して今後のキャリアにおけるビジョンを明確にしながら、スタッフ・ポートフォリオを実際に作成する。

※2日間を通しての参加となります。

## 【1日目】

### \*内容\*

1. レクチャーⅠ  
「スタッフ・ポートフォリオ（SP）について」  
「SPを作成することのメリット、組織にとってのメリットについて」
2. ワークショップⅠ  
「職員としてのキャリアの振り返り～なぜ大学職員になったのですか？～」
3. 個人メンタリング
4. SP作成作業
5. メンターとメンティーで振り返り

## 【2日目】

6. レクチャーⅡ  
「スタッフ・ポートフォリオにおけるメンター・メンタリングについて」
7. SP作成作業
8. 個人メンタリング
9. SP作成作業&発表資料準備
10. 参加者全員でSP作成の振り返り

## ▶受講者の声

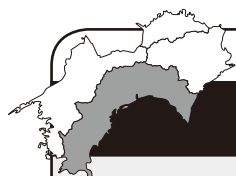
- ・これまでの自分の経歴を振り返ることによって自分自身を見つめ直すことができた。
- ・過去の業績等を振り返り、自分のキャリアプランを構築することができた。
- ・メンタリングにより自分の気付けない点を気付かせていただいた結果、自分自身を振り返ることができて有意義であった。





# プレFDプログラム

(大学院生・学部生対象)



プログラム番号 Y-011, Y-012

## TA講習

プレFD

### \*主な対象

2017年度第2学期および2018年度第1学期にTA、SA、FT担当予定の者および将来希望の者

### \*対象校

SPOD全加盟校

### \*目標

右記参照

### \*講師

立川明(高知大学 大学教育創造センター)

### \*日時

9月27日(水)13:30~17:30  
3月30日(金)13:30~17:30

### \*場所

9月27日/高知大学物部キャンパス(会場未定)  
3月30日/高知大学朝倉キャンパス 共通教育棟1号館4階142教室

### \*受講定員

TA担当予定の高知大生は制限無し

### \*主催

高知大学 大学教育創造センター

### \*メー

開講日1週間前

### \*申込先・問合せ

高知大学学務部学務課  
E-mail: y-spod@kochi-u.ac.jp

### \*目標\*

TAを担当する上で注意すべき事が3つ言える。  
TAの職務内容を3つ説明できる。  
ホウ・レン・ソウの重要性が分かる。

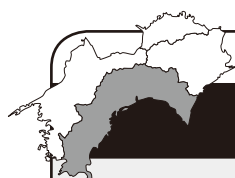
### \*内容\*

TA(SA)を単なるバイトと思っていませんか?TA(SA, FT)を引き受けた時から皆さんは高知大学の職員となります。自覚を持って取り組みましょう。また、TAの皆さんには、専門知識だけでなく、マネジメント力やコミュニケーション力が求められます。メンタルヘルスも必要です。研修を受けて、知識や技能だけでなく、心の準備もしっかり付けておきましょう。

- ・グループ作り
- ・アイスブレイキング
- ・事務手続きについて(説明)
- ・TAとしての心得・注意点等(説明とグループワーク)
- ・職務内容(説明)
- ・社会人としての心得、ホウ・レン・ソウの重要性
- ・ふりかえり

### ▶受講者の声

- ・受講生を思いやる事。何を望んでいるのか、どのように接していくのかを考えていく事が大切だと感じました。
- ・受講生と接する際の対応方法で距離感や周囲の観察を行うこと。また、「伝えた」ことと「伝わったこと」はイコールではないことがわかった。
- ・ただ答えを教えるのではなく、その答えに辿りつけるようなアドバイスやヒントをうまく伝え、受講生のやる気を引き出す、向上心をもたせるための動機づけがTAの役割として重要なことであると感じた。



プログラム番号 Y-013

## ファシリテーション力養成道場

ブレFD

### \*主な対象

話し合いの質を高めたい学部生・院生、実際の授業でファシリテーターを経験したい学生

### \*対象校

SPOD全加盟校

### \*目標

1. ファシリテーターらしい言動について自分の言葉で説明できる。
2. 話し合いのコンテンツとプロセスを区別できる。
3. 話し合いの場のデザインのポイントを挙げられる。
4. 意識的に傾聴と質問ができる。
5. 話し合いの時にボードの横に立つことができる。
6. ファシリテーションについてさらに勉強しようと思える。

### \*講師

俣野秀典、塩崎俊彦 (高知大学 大学教育創造センター)

### \*日時

9月28日(木)~29日(金)  
(2日間) 10:00~18:00

### \*場所

高知大学朝倉キャンパス  
共通教育棟3号館1階310教室

### \*受講定員

36名

### \*主催

高知大学 大学教育創造センター

### \*メ切

開講日1週間前、先着順

### \*申込先・問合せ

高知大学学務部学務課  
E-mail: y-spod@kochi-u.ac.jp

### \*内容\*

本プログラムは、ファシリテーションの考え方を知り、必要最低限の知識・技術を習得することにより、話し合いのファシリテーションを実践できるようになることを目的に開催されます。

ミニレクチャーとワークを交互に織り交ぜながら進みますので、参加者全員がファシリテーションを体感することができます。

### 1日目

1. オープニング：趣旨の理解／アイスブレイク
2. FT (ファシリテーション) の考え方と基本を身につける I
3. FTの考え方と基本を身につける II
4. グループプロセスを観察する

### 2日目

1. アイスブレイク～模造紙にイロイロ書いてみよう
2. FG (ファシリテーション・グラフィック) の基本を身につける
3. FGのための図解の方法と板面の使い方
4. 総合演習

### ▶参考資料

畠中智子 (2008) 『つぶやきの育て方』 南の風社  
堀公俊 (2004) 『ファシリテーション入門』 日経文庫

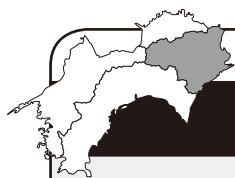
### ▶参加者の声

- ・「興味があるスキル」から「真剣に身に付けたいスキル」になった。
- ・話を聴き出すための質問のメソッドを得られた。
- ・ファシリテーションとは何なのか全く知らない状況からこの2日間を通して楽しい経験をしながら学ぶことができて良かった。
- ・充実した二日間だった。私には出来ないと思っていましたが、やってみると思ったより (!?) 楽しく、前向きにファシリテーターをしている自分がいました。そのような環境を作ってくれたからだと思って感謝しています。





## 総合プログラム



プログラム番号 T-002

# SPOD フォーラム 2017

FD/SD

## \*主な対象

教育改善に関心のある教職員

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*日時

8月23日(水)～25日(金)

## \*場所

徳島大学常三島キャンパス

## \*主催

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク (SPOD),  
徳島大学

## \*問い合わせ先

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク事務局 (愛媛大学教育学生支援部教育企画課)  
TEL 089-927-9154  
E-mail : spod@stu.  
ehime-u.ac.jp

**SPODフォーラムは…** 大学等の教職員が自らの能力開発のために役立つ、多種多様で質の高いFD / SD プログラム, ならびに組織を超えた持続的な相互交流・関係づくりの場を提供します。

## 【SPODフォーラムの特徴】

### 特徴1. 多彩な講師陣

先進的な教育改革で知られる大学のトップ, 各大学のFDやSDの第一線で活躍する教職員やディベロッパー, 職場の人材育成・能力開発分野で活躍するプロフェッショナルなど, 多彩かつ魅力的な講師陣をそろえます。

### 特徴2. 職場で使える実践型プログラム

講師と受講者の間でのインタラクティブなワークショップ形式のプログラムを数多く開講します。参加者には意見を出し合い, 知を共同で作り上げることが求められると同時に, 職場ですぐに使える実践的なノウハウを持ち帰ることができます。

### 特徴3. SDプログラムも多数開講

SPODでは, 教員の能力開発同様に職員の能力開発に力を入れており, 他では体験できないプログラムを数多く開講します。

## 【SPODフォーラム2017のテーマ】

「"Feeling" と "Thinking" を "Learning" につなげる」

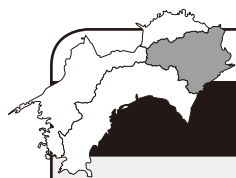
## プログラムの例

- ・FD担当者研修
- ・グラフィックシラバスの書き方
- ・大学の危機管理 - 実例から考えるハラスメント -

最新情報は, WEB で随時更新していきますので, ご確認ください (昨年同様, WEB 上のみでの申込みを予定)

<https://www.spod.ehime-u.ac.jp/>





プログラム番号 T-004

# 大学教育カンファレンス in 徳島

FD/SD

## \*主な対象

教職員、学生、一般市民

## \*対象校

SPOD全加盟校、その他高等教育機関

## \*目標

1. 高等教育に関する優れた取り組みとその効果検証についての情報を共有する。
2. 特色ある授業実践・授業改善例や学生支援、FD・SDの実践例を共有し、教育改善に生かす。
3. SPOD加盟校間のFD・SD活動のネットワークづくりをする。

## \*発表者

教職員・学生

## \*日時

1月5日(金)9:00~18:00

## \*場所

徳島大学教養教育4号館 他

## \*受講定員

特になし

## \*主催

徳島大学 FD委員会  
四国地区大学教職員能力開発ネットワーク (SPOD)

## \*その他

要問合わせ

## \*申込先・問合先

徳島大学  
学務部教育支援課教育企画室  
E-mail: kykikakuk@  
tokushima-u.ac.jp

## \*内容\*

1. 特色ある授業実践例や授業改善例の発表と意見交換
2. 口頭発表・ポスター発表での意見交換
3. 参加・体験型ワークショップ
4. 自由参加型ディスカッションによる課題の共有と意見交換
5. 教育・FD・SDに関する特別講演

## ○開催概要

- ・1年間の教育活動を総括する場で、他の高等教育機関で行なわれている教育実践の先駆的な取り組みを共有し、大学教育の質的向上に向けた努力の成果を確認することを目的に開催する。
- ・各プログラムでは、各大学・部局における特色ある授業実践例や授業改善例などの報告・討議が行われ、その場で担当者や質疑応答ができ、より詳しい情報収集をすることができる。
- ・発表の形式には、口頭発表、ポスター発表があり、学外からの発表もできる。また、学生も発表筆頭者となることできる。

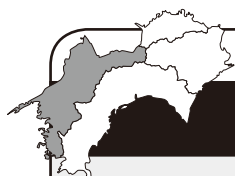
▶準備物について 特になし。当日、発表抄録の配布あり。

## ▶受講者の声（2016年度大学教育カンファレンスin徳島より）

- ・他の先生方の取り組みを知ることができ、今後の講義・演習の参考となりました。
- ・ワークショップは斬新で面白かった。自由参加型ディスカッションはテンポも良くなかなか面白いやり方かもしれない。
- ・新しい知識、異なる視点、他学部の情報を得ることができた。
- ・アクティブ・ラーニングの実践例。反転授業について知ることができた。



【プログラム風景】（2016年度大学教育カンファレンスin徳島より）



プログラム番号 I-033

# 愛媛大学教育改革シンポジウム

FD/SD

## \*主な対象

愛媛大学の教育内容・方法の改善について興味を持っている教職員、学生等

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

ポスターセッションでの質疑応答や講演の傍聴を通じ、現在、愛媛大学で進めている教育内容・方法の改善に関する取組について理解を深める。

## \*講師

愛媛大学教員（愛大教育改革GP取組担当者）

## \*日時

3月中

## \*場所

愛媛大学城北キャンパス

## \*受講定員

特になし。入場自由。

## \*主催

愛媛大学教育改革促進事業審査委員会

## \*その他

要問い合わせ

## \*申込先・問合せ

愛媛大学  
教育学生支援部教育企画課  
E-mail: kiyoku@  
stu.ehime-u.ac.jp

## \*内容\*

愛媛大学では、学内の優れた教育取組に支援を行う「愛媛大学教育改革促進事業」（愛大GP）を平成18年度から実施してきましたが、学生の海外派遣・受入に特化した「愛媛大学国際連携促進事業」（国際連携GP）との発展的統合を行い、「愛媛大学教育改革促進事業」（愛大教育改革GP）として今年度から再スタートしました。

「教育改革シンポジウム」は、本事業採択取組の進捗状況と成果について情報発信することを目的に、主に、採択取組のポスターセッション及び事例報告等の講演を中心に行います。特にポスターセッションでは、その場での質疑応答を通じて取組担当者の生の声をきくことができます。



## ▶参考：愛大教育改革GPとは

愛媛大学における国内外に向けた視野の広い優れた教育改革の取組を取り上げ、教育経費の重点配分を行い、教育の高度化・活性化を図る事業。学士課程及び大学院課程における組織基盤的な教育改革の取組（種目A）、中期計画で掲げられている目標の達成や教育政策への対応のための組織的な取組（種目B）、1人又は比較的少人数の教員グループによる授業等開発・改善に関する取組（種目C）、1人又は比較的少人数の教員グループによる留学生受入れや留学先の新規開拓に関する取組（種目D）を学内から公募。事業期間は1年又は2年。前身である「愛大GP」に採択された取組の中には、さらに内容を発展させ、文部科学省のGPに応募、採択された例もある。

## ▶参考資料

| 教育改革シンポジウムにおける事例報告等 |                                                                                               |
|---------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成26年度              | 学部を越えた教員チームによる汎用的能力育成のためのサービスラーニング・プログラムの拡充と全学的展開<br>※平成26年度愛媛大学教育改革促進事業採択取組                  |
|                     | 附属高校をモデルとした高大接続改善の試み—大学教育の到達点を高度化するために—<br>※平成26年度文部科学省「大学教育再生加速プログラム」（テーマⅢ：高大接続）採択取組         |
| 平成27年度              | 社会共創学部教育理念と特色について                                                                             |
|                     | 法文学部の教育改革—一学科制（人文社会学科）に向けて—                                                                   |
|                     | 教育学部・大学院教育学研究科の改組と教育改革                                                                        |
| 平成28年度              | 農学部教育改革 ～1学科制から3学科制へ～                                                                         |
|                     | 地域を「知る」、「体験する」、地域と「出会う」、「協働する」ための地域指向型プログラムの整備とキャリアデザイン・ポートフォリオの導入<br>※平成28年度愛媛大学教育改革促進事業採択課題 |
|                     | 学生を中心とした高大接続事業の展開<br>※平成28年度愛媛大学教育改革促進事業採択課題                                                  |

## ▶受講者の声

- ・改革の全体像が良く分かった。
- ・今後授業を実施していくにあたっての動機付けが向上した。



## 学内向け研修プログラム

# 学内向け研修プログラム

## 徳島大学

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承ください。  
なお、お問い合わせは徳島大学SPOD担当者までお願いします。

| 研修名            | 対象者                   | 開催時期                    | 目的・内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|----------------|-----------------------|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 授業参観・授業研究会     | 「授業設計ワークショップ」受講者及び希望者 | 随時                      | 総合教育センターの教員が中心となり授業改善のためのコンサルティングを行う。方法としては、授業参観（ビデオ録画・学生アンケートを含む）を行い、それらのデータをもとに授業記録を作成し、授業研究会を行う。学部等FD委員会と共催で開催する。                                                                                                                                                                                            |
| 質保証のためのワークショップ | 各学部・学科等のFD委員、教務委員     | 随時                      | ミドルレベルのFDとして、徳島大学における各教育プログラムのPDCAサイクルを確立させるために、カリキュラムの質保証、学部等FDの評価・改善に向けた具体的なワークを行う。<br>また、学部等の実態に合わせた学部等FDを実質化するための支援や情報提供を必要に応じて行う。                                                                                                                                                                          |
| 新任教職員研修会       | 新規採用者（教職員）            | 4月上旬                    | 大学を取り巻く諸情勢と本学が達成すべき諸課題等について理解を深めるとともに、本学の教職員としての基礎知識を学ぶことを目的とする。                                                                                                                                                                                                                                                |
| 放送大学利用職員研修     | 事務系・技術系・医療技術系職員       | 第1学期：4月上旬<br>第2学期：10月上旬 | ①医療技術職員に対し、その職務遂行に有用な知識を習得させ、もって職員の能力と資質の向上を図る。<br>②大学の国際化に対応するため、職員の外国語能力を養うとともに、職員の能力と資質の向上を図る。<br>③業務及び職務の遂行、資質の向上に役立つと認められる科目を自ら選択、履修させ自己啓発意欲の向上を図る。<br>④国立大学法人化への対応、また、大学改革に伴う経営管理についての知識を修得させることにより、大学職員としての能力と資質の向上を図る。                                                                                  |
| 英会話研修          | 事務系・技術系・医療技術系職員       | 9月～11月（うち12週）           | （基礎編）大学のグローバル化に対応するため、英語によるコミュニケーションの基礎を学び、具体的なシチュエーションに対応できるスキル習得を目的とする。（応用編）大学のグローバル化に対応するため、実務において英語で対処できること及び優れたパブリックスピーキングの基礎を学ぶとともに、英語によるプレゼンテーションやディスカッションのスキル習得を目的とする。（上級編）大学のグローバル化に対応するため、よりプロフェッショナルな書類、電子メール等の書き方を習得するとともに、討議によるトレーニングによりプレゼンテーションやディスカッションの高度なスキルを習得し、実務において臨機応変に対応できる職員の育成を目的とする。 |
| パソコン講習会        | 事務系・技術系・医療技術系職員       | 9月上旬                    | パソコンに対する知識・技術を習得させ、日常業務でのパソコンの有効利用の促進を図ることにより、業務処理の効率化に資することを目的とする。                                                                                                                                                                                                                                             |

## 鳴門教育大学

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承ください。  
なお、お問い合わせはSPOD事務局までお願いします。

| 研修名    | 対象者        | 開催時期    | 目的・内容                                                             |
|--------|------------|---------|-------------------------------------------------------------------|
| 新任職員研修 | 新規採用者（教職員） | 4月4日(火) | 本学に採用となった職員に対し、本学の理念及び達成すべき諸課題等について理解させ、職務遂行に必要な基礎知識・倫理観を付与する。    |
| 管理職研修  | 課長級、課長補佐級  | 4月下旬    | 管理職としての役割や責任を再認識するとともに、適切な人事評価・労務管理手法を習得し、組織としての業務向上に資することを目的とする。 |

## 香川大学

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承ください。  
なお、お問い合わせは香川大学SPOD担当者までお願いします。

| 研修名                    | 対象者                        | 開催時期                      | 目的・内容                                                                                                                                  |
|------------------------|----------------------------|---------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 新任教員研修会                | 新規採用者（全学教員）                | 4月中旬                      | 本学の新任教員を対象に、国立大学法人を取り巻く諸情勢と本学の今後の課題及び大学教育等について、理解を深めることを目的とする。                                                                         |
| 放送大学研修                 | 事務系・技術系職員                  | 第1学期：4月上旬～<br>第2学期：10月上旬～ | 職務の遂行に必要な最新の知識の習得及び幅広い視野と見識を養うことによって、職員の資質の向上を図ることを目的とする。                                                                              |
| 語学研修                   | 事務系職員                      | 8月                        | 組織の国際化に対応するため、海外のサマープログラム等に職員を派遣し、語学力・国際的感覚を養うことを目的とする。                                                                                |
| 女性リーダー育成研修             | 事務系・技術系職員                  | 9月                        | 組織内の女性の活用を推進し、指導的地位に就く女性職員を育成することを目的とする。                                                                                               |
| 若手職員フォローアップ研修          | 事務系・技術系職員                  | 10月中旬                     | 近年採用になった若手職員が、必要となる基礎知識・素養等を習得することを目的とする。                                                                                              |
| 全学共通教育の平成30年度実施に向けた研修会 | 全教員（特に平成30年度全学共通教育担当予定の教員） | 12月上旬                     | 全学共通科目担当にあたって、第1部では全学共通教育における現状と課題を把握し、現在取り組んでいる事業及び事務的な手続について知る。第2部では、各分科会に分かれ、授業改善に関する具体的な事例紹介と設定したテーマについての意見交換を行い、全学共通教育に関する理解を深める。 |

# 愛媛大学

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承ください。  
なお、お問い合わせはSPOD事務局までお願いします。

| 研修名                         | 対象者                                   | 開催時期                      | 目的・内容                                                                                                                                                                               |
|-----------------------------|---------------------------------------|---------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 新任教職員研修                     | 新規採用者<br>(教職員)                        | 4月4日(火)<br>～5日(水)         | 新規採用の教職員に対し、「本学の理念・目標を理解し、教育・研究、地域連携、国際連携の特徴的な取り組みを学ぶこと」、「新任教職員同士、新任教職員と学生との交流を通じ、互いの理解を深めること」、「大学職員としてのキャリアビジョン、ゴールを明確化すること」を目的とする。                                                |
| 愛媛大学TA・SA研修会                | TA・SAを活用する<br>教員及び新TA・SA<br>採用予定者     | 4月7日(金)                   | TA・SAの心構えや業務に就く際の注意事項を学び、わかりやすく教える技術を習得することを目的とする。                                                                                                                                  |
| 放送大学研修                      | 事務系・<br>技術系職員                         | 第1学期：4月上旬～<br>第2学期：10月上旬～ | 放送大学の授業受講を通じて職務遂行に必要な知識を修得させ、その資質の向上を図ることを目的とする。                                                                                                                                    |
| 有期契約職員<br>初任者研修             | 有期契約職員<br>(事務系)                       | 4月下旬                      | 新規採用の有期契約職員（事務系）に対し、本学職員としての使命と心構えを自覚させるとともに、業務遂行に必要な基礎知識、能力及び資質等を養成することを目的とする。                                                                                                     |
| 英語研修                        | 教職員、<br>有期契約職員                        | 前期：5月上旬～<br>後期：11月上旬～     | 教職員の英語によるコミュニケーション能力の向上を図ることを目的とする。                                                                                                                                                 |
| 教育学<br>生支援実務研修              | 事務系職員<br>(主に学務系<br>以外)                | 未定                        | 大学改革の推進等により、大学の学務系事務も複雑多岐にわたるようになったことから、学務系TL等が講師となり、担当チームの事務分掌等について講義することにより、本学事務職員に学務系事務の必要な知識を修得させるとともに、講師となる職員のプレゼンテーション能力の向上を図ることを目的とする。                                       |
| 研究支援・社会連携・<br>国際連携系<br>実務研修 | 事務系職員<br>(主に研究支援・<br>社会連携・<br>国際連携以外) | 未定                        | 大学改革の推進等により、大学の研究支援・社会連携・国際連携系事務も複雑多岐にわたるようになったことから、研究支援、社会連携、国際連携支援系TL等が講師となり、担当チームの事務分掌等について講義することにより、本学事務職員に研究支援・社会連携・国際連携系事務の必要な知識を修得させるとともに、講師となる職員のプレゼンテーション能力の向上を図ることを目的とする。 |
| 教育コーディネーター<br>研修会           | 各学部の<br>教育コーディネーター                    | 年4回程度                     | 教育コーディネーター間の意思疎通を図り、教育改革の方向性について共通認識を持つことを目的としている。研修会テーマは毎回、全学的かつ重要な教育課題となるものを採りあげている。                                                                                              |

# 高知大学

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承ください。  
なお、お問い合わせは高知大学SPOD担当者までお願いします。

| 研修名       | 対象者                                      | 開催時期                      | 目的・内容                                                                              |
|-----------|------------------------------------------|---------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 全学新任教職員研修 | 新規採用の<br>教職員                             | 4月上旬                      | 新たに採用になった教職員に対し、本学職員としての使命と心構えを自覚させるとともに、業務遂行に必要な基礎知識、能力及び資質等を養成することを目的とする。        |
| 新任事務職員研修  | 新規採用の<br>事務職員（施設系<br>技術職員含む）             | 4月下旬                      | 新たに採用となった事務職員に対し、本学の理念・目標など大学運営の基礎となる事項について理解させるとともに、新規採用職員として業務遂行に必要な基本的知識を習得させる。 |
| 放送大学研修    | 附属学校教員、<br>看護師等医療職員、<br>事務職員<br>(技術職員含む) | 第1学期：4月上旬～<br>第2学期：10月上旬～ | 自己啓発意欲の高揚と能力開発のために、放送大学の授業科目を受講して自己研鑽を行う機会を与えることにより、大学職員としての資質の向上を図る。              |
| 語学研修      | 窓口業務など<br>職務上外国語<br>能力を必要と<br>する職員等      | 未定                        | 語学力の向上を図るとともに、国際感覚を養う。                                                             |
| パソコン研修    | パソコンの<br>スキルアップを<br>希望する職員               | 未定                        | スキルアップの機会を提供し、日常業務の効率化に繋げることを目的とする。                                                |
| 事務職員研修報告会 | 全事務職員                                    | 各部(課)：随時<br>全学：12月頃       | 事務職員を対象に、研修受講者の発表能力（プレゼンテーション）の向上、受講しなかった者への情報提供等を目的とする。                           |

## 香川県立保健医療大学

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承ください。  
なお、お問い合わせはSPOD事務局までお願いします。

| 研修名              | 対象者 | 開催時期 | 目的・内容                                                         |
|------------------|-----|------|---------------------------------------------------------------|
| ティータイム<br>教育サークル | 教職員 | 2月   | 他大学における修学支援の新しい取組み事例等を紹介することにより、学生支援を行う教職員のさらなる資質向上を図ろうとするもの。 |

## 愛媛県立医療技術大学

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承ください。  
なお、お問い合わせはSPOD事務局までお願いします。

| 研修名                | 対象者           | 開催時期  | 目的・内容                                      |
|--------------------|---------------|-------|--------------------------------------------|
| 新任教員研修             | 新規採用者<br>(教員) | 4月予定  | 新たに採用した教員に対し、本学職員としての基礎知識を伝えることを目的として実施する。 |
| ハラスメント研修           | 学内教職員         | 8月予定  | 様々な視点からハラスメントを理解することを目的として実施する。            |
| 外部資金獲得のための研修       | 学内教職員         | 9月予定  | 科研費取得のノウハウと事務的留意事項の研修を実施する。                |
| SPOD内<br>講師派遣プログラム | 学内教職員         | 12月予定 | 授業評価アンケートの効果的実施と活用方法について研修を実施する。           |

## 高知工科大学

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承ください。  
なお、お問い合わせはSPOD事務局までお願いします。

| 研修名  | 対象者 | 開催時期 | 目的・内容                                                   |
|------|-----|------|---------------------------------------------------------|
| 職員研修 | 職員  | 未定   | 大学職員としての果たすべき役割について理解を深めるとともに、段階に応じた能力の向上を目的とした研修を実施する。 |

## 四国大学・四国大学短期大学部

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承ください。  
なお、お問い合わせはSPOD事務局までお願いします。

| 研修名         | 対象者            | 開催時期  | 目的・内容                                                                  |
|-------------|----------------|-------|------------------------------------------------------------------------|
| 新規採用教職員研修   | 新規採用者<br>(教職員) | 4月上旬  | 本学教職員としての心構え並びに勤務にあたってこれからの教育や職務に対する必要な知識等を習得することを目的とする。               |
| 就業力育成セミナー   | 教職員            | 8月    | 学生への「就業力育成」に関する意識の向上やノウハウを学ぶことを目的に実施する。                                |
| 大学事務運営懇話会   | 職員             | 未定    | 事務を本務とする職員が自らの研修と情報交換を行うことで、大学職員としての資質向上を図ることを目的とする。                   |
| 人権教育研修会     | 教職員            | 9月中旬  | 人権尊重の徹底と人権啓発の充実及び人権への意識を高めることを目的とする。                                   |
| キャリア相談研修会   | 教職員            | 9月・1月 | 学生のキャリア相談に応じる力量を向上させることを目的に実施する。                                       |
| ハラスメント防止研修会 | 教職員            | 1月    | セクハラ、アカハラ、パワハラについての認識を深めるとともに、修学、教育研究、就労上のすべてのハラスメントの防止及び排除することを目的とする。 |
| 教育問題懇話会     | 教職員            | 未定    | これからの教育諸問題に対する適切な対応や指導の在り方についてお互いに意見交換を行い、解決策を探っていく。                   |
| 外国語研修       | 職員             | 9月    | 大学の国際化に対応し、職員の外国語によるコミュニケーション能力を向上させることを目的に実施する。                       |

## 徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承ください。  
なお、お問い合わせはSPOD事務局までお願いします。

| 研修名        | 対象者          | 開催時期   | 目的・内容                                                                                |
|------------|--------------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 新任教職員研修会   | 新任教職員        | 4月初旬   | 新任教職員に対し、本学の教職員としての使命と心構えについて自覚させるとともに、服務及び学務について理解させ、業務遂行に必要な基礎知識と能力等を養成することを目的とする。 |
| 新任・昇任教員研修会 | 新任・昇任教員      | 4月～5月  | 新任・昇任教員に対し、本学における教育の現状と課題について理解を深め、更なる教育力の向上を図ることを目的とする。                             |
| 研究授業       | 全教員          | 前期及び後期 | 授業改善を目的とし、教員相互の授業参観を実施する。                                                            |
| 防災研修・避難訓練  | 全教職員・<br>全学生 | 12月初旬  | 火災・地震・津波に対応する知識の習得、防災担当の役割等の研修を通して災害時の対応の仕方を身につけることを目的とする。                           |

|                   |      |      |                                    |
|-------------------|------|------|------------------------------------|
| セクシャルハラスメント防止研修会  | 全教職員 | 2月中旬 | セクシャル・ハラスメント防止の講演会を開催する。           |
| 学内人権教育研修会         | 全教職員 | 2月中旬 | 人権教育の視点から、講演会を開催する。                |
| AED（自動体外式除細動器）講習会 | 全教職員 | 2月下旬 | 救急体制強化のためのAED講習会を開催する。             |
| FD研修会・講演会         | 全教職員 | 適宜   | 資質の向上を目的とし、学内・学外の講師による研修会を年間数回程度実施 |
| SD研修会・講演会         | 全教職員 | 2月中旬 | 1年間のSD活動を報告後、テーマを絞った研修会を実施する。      |

## 高松大学・高松短期大学

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承ください。  
なお、お問い合わせはSPOD事務局までお願いします。

| 研修名     | 対象者        | 開催時期                      | 目的・内容                                                                       |
|---------|------------|---------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 新任教職員研修 | 新規採用者（教職員） | 4月3日                      | 新たに採用になった教職員に対し、本学職員としての使命と心構えを自覚させるとともに、業務遂行に必要な基礎知識、能力及び資質等を養成することを目的とする。 |
| FD研修会   | 専任教員、非常勤講師 | 9月中旬、2月中旬                 | 全教員を対象に、本学における教育の現状と課題について理解を深め、具体的な対策を講じることを目的に、年2回実施する。                   |
| 研究授業    | 専任教員、非常勤講師 | 6月、12月                    | 授業の改善のために、各学部、学科で年2回研究授業を実施する。授業後には検討会を行い、互いの授業改善に活かすことを目的とする。              |
| SD研修会   | 専任職員       | 8月中旬・2月中旬                 | 活気のある事務局づくりを目指し、大学職員としての意識、知識、資質向上を目的に、年2回実施する。                             |
| 放送大学研修  | 専任職員       | 第1学期：4月上旬～<br>第2学期：10月上旬～ | 放送大学の科目を履修することで、職員の資質向上及び自己啓発を目的とする。                                        |

## 聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承ください。  
なお、お問い合わせはSPOD事務局までお願いします。

| 研修名      | 対象者       | 開催時期   | 目的・内容                                                                                                        |
|----------|-----------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 新任教員研修   | 新規採用の教員   | 4月上旬   | 新たに採用になった教員に対して、本学教員としての使命と心構えを自覚させるとともに、本学の建学の精神、教育理念、業務遂行に必要な基礎知識を養成することを目的とする。                            |
| 新任事務職員研修 | 新規採用の事務職員 | 4月上旬   | 新たに採用になった事務職員に対し、本学の理念・目標を自覚させるとともに、業務遂行に対する基礎知識や基本的な能力・資質の養成を図る。                                            |
| FD研修会    | 専任教員      | 未定     | 全専任教員を対象に、授業、教授法の改善、カリキュラム改善、組織の整備・改善等、更なる教育力向上を図ることを目的として実施する。                                              |
| SD研修会    | 全教職員      | 8月、12月 | 時宜に応じたテーマの設定により、本学の教職員として必要な知識、情報、技術の習得を図る。また、学外研修において得た知識や情報の報告を行うことにより、その共有化を図るとともに、報告者のプレゼンテーション能力の向上を図る。 |

## 松山東雲女子大学・松山東雲短期大学

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承ください。  
なお、お問い合わせはSPOD事務局までお願いします。

| 研修名      | 対象者        | 開催時期    | 目的・内容                                                 |
|----------|------------|---------|-------------------------------------------------------|
| 新任教職員研修  | 新規採用者（教職員） | 4月3日(月) | 新任教職員に対し、本学の建学の精神、学園の沿革、教育体制および服務等について理解を深めることを目的とする。 |
| FD・SD研修会 | 教職員        | 年2回     | 全教職員を対象とし、講演・ワークショップ等の研修会を開催する。                       |
| SD研修会    | 事務職員       | 年2回     | 事務職員として基本的な知識の習得、能力向上を目的として実施する。                      |

## 徳島工業短期大学

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承ください。  
なお、お問い合わせはSPOD事務局までお願いします。

| 研修名       | 対象者   | 開催時期 | 目的・内容                                                      |
|-----------|-------|------|------------------------------------------------------------|
| 新任職員研修    | 新任職員  | 4、6月 | 新たに採用になった職員に対し、本学職員としての使命と心構えを自覚させるとともに、業務遂行に必要な基礎知識を得させる。 |
| FD/SD合同研修 | 全職員   | 未定   | 未定                                                         |
| SD研修      | 全事務職員 | 未定   | 学生アンケートに基づいた業務改善、教職協働を視野に入れた教育の質的転換についての研修                 |
| FD研修      | 全教育職員 | 未定   | アンケート分析を活用した授業見学に基づく教授・プレゼン方法の研修                           |

## 香川短期大学

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承ください。  
なお、お問い合わせはSPOD事務局までお願いします。

| 研修名         | 対象者  | 開催時期       | 目的・内容                                           |
|-------------|------|------------|-------------------------------------------------|
| 新 任 職 員 研 修 | 新任職員 | 4 月初旬      | 本学の建学の精神等の教育理念および教育体制の理解を促進し、業務遂行に必要な基礎知識を養成する。 |
| リスクマネジメント研修 | 全職員  | 8 月下旬      | 所属法人が主催する、学校職員のためのリスクマネジメント研修                   |
| S D 研 修     | 全職員  | 9 月初旬      | 平成29年度 SPOD フォーラムに参加した者による伝達講習等                 |
| S D 研 修     | 全職員  | 1 月 5 日(金) | 研究企画委員会委員長より研究倫理に関する講習および教務担当者研修参加者による伝達講習等     |
| 救 急 法 研 修   | 全職員  | 2 月中旬      | 救急隊員による AED の使用方法を含む救急法の研修                      |

## 今治明德短期大学

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承ください。  
なお、お問い合わせはSPOD事務局までお願いします。

| 研修名            | 対象者      | 開催時期      | 目的・内容                                                                  |
|----------------|----------|-----------|------------------------------------------------------------------------|
| 平成29年度新任教職員研修会 | 新任教職員    | 4 月初旬     | 本学に対する理解を深め。教職員としての自覚を醸成するとともに本学での職務を円滑にこなしていけるようにする。                  |
| 公開授業とピアレビュー    | 全教員      | 6 月頃      | 学科・コースから選出された授業を公開し、ピアレビューを行うとともに参観後に学生のよりよい学びに向けた意見交換を行い、授業の質の向上に繋げる。 |
| 学内FD／SD研修会     | 全教職員     | 未定        | 教職協働での学生支援を目指し、個々の能力を高めるとともに組織力の向上に繋げる。                                |
| 学生による授業評価アンケート | 全教員      | 前期7月・後期1月 | 全授業科目について受講者による授業評価アンケートを実施し、授業の質の向上、学科・コースでの教育の質の向上に繋げる。              |
| 卒業時アンケート       | 卒業予定の全学生 | 平成30年3月   | 卒業予定の学生に卒業直前に本学での学びの満足度等にかかわる調査を行い、本学でのよりよい学生の学び、学生支援に繋げる。             |

## 環太平洋大学短期大学部

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承ください。  
なお、お問い合わせはSPOD事務局までお願いします。

| 研修名       | 対象者   | 開催時期  | 目的・内容                                                                 |
|-----------|-------|-------|-----------------------------------------------------------------------|
| 新任教職員研修   | 新任教職員 | 4 月初旬 | 新任教職員に対し、本学教職員としての使命と心構えを自覚させるとともに、業務遂行に必要な基礎知識、能力及び資質等を養成することを目的とする。 |
| F D 研 修 会 | 全教員   | 未定    | 教員の資質向上を目的とし、学内外の講師による研修を実施する。                                        |
| S D 研 修 会 | 全事務職員 | 未定    | 事務職員として必要な能力、専門性の習得を目的として実施する。                                        |

## 阿南工業高等専門学校

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承ください。  
なお、お問い合わせはSPOD事務局までお願いします。

| 研修名     | 対象者   | 開催時期 | 目的・内容                                                          |
|---------|-------|------|----------------------------------------------------------------|
| 新任教職員研修 | 新任教職員 | 4 月  | 本校教職員としての使命と心構えを自覚させるとともに、業務遂行に必要な基礎知識、能力及び資質等を養成することを目的とする。   |
| 夏季教員研修会 | 全教員   | 9 月  | 教員の資質向上を目的として、年2回、時機にあったテーマを選び、講演会・分科会・ワークショップ等の形式による研修会を実施する。 |
| 冬季教員研修会 | 全教員   | 11 月 |                                                                |

## 香川高等専門学校

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承ください。  
なお、お問い合わせはSPOD事務局までお願いします。

| 研修名                 | 対象者  | 開催時期 | 目的・内容                                                                   |
|---------------------|------|------|-------------------------------------------------------------------------|
| 新任教員研修              | 新任教員 | 4 月  | 本学の新任教員に対して、教員としての心構えを自覚させるとともに、学校運営上必要な基礎知識の習得及び資質の向上を図ることを目的とする。      |
| FD・SD研修会            | 全教職員 | 9 月  | 香川高専の課題とその対応を討議し、全教職員がそれらを共有するとともに、教職員の資質向上を図ることを目的とする。                 |
| 教育実践事例報告会           | 全教職員 | 12 月 | 学生の教育意欲を増進させる教育実践事例や創意工夫など FD に寄与する事項を公開することにより、教職員の FD に対する意識高揚を目的とする。 |
| メンタルヘルス及びハラスメント防止研修 | 全教職員 | 未定   | 快適なキャンパスライフの実現に向けて、教職員ひとりひとりの心構えを再認識することを目的とする。                         |

## 新居浜工業高等専門学校

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承ください。  
なお、お問い合わせはSPOD事務局までお願いします。

| 研修名              | 対象者   | 開催時期 | 目的・内容                                                                                                      |
|------------------|-------|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 新任教職員研修          | 新任教職員 | 4月上旬 | 新たに採用になった教員に対し、高等専門学校の教員としての基本的な業務に習熟し、学校運営全体について理解を深めるための実践的な研修を計画的に実施することにより、本高専の教員としての資質の向上を図ることを目的とする。 |
| 学生相談に関する研修会      | 教職員   | 未定   | 学生が抱える種々の問題に対する理解を含め、学生の課題解決の支援を実施することができる教職員を養成する。                                                        |
| 教育改善事例報告         | 教員    | 未定   | 教育改革に取り組んでいる実践的な事例報告を通して、各教員が教育改善への一助とする。                                                                  |
| 最優秀担任による学生指導事例報告 | 教員    | 未定   | 前年度に最優秀担任として選考された教員から、学生指導についての実践的事例を報告し、学級経営の一助とする。                                                       |

## 弓削商船高等専門学校

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承ください。  
なお、お問い合わせはSPOD事務局までお願いします。

| 研修名     | 対象者        | 開催時期    | 目的・内容                                                                        |
|---------|------------|---------|------------------------------------------------------------------------------|
| 新任教職員研修 | 新規採用者（教職員） | 4月3日(月) | 新たに採用となった教職員に対し、本校教職員としての使命と心構えを自覚させるとともに、業務遂行に必要な基礎知識、能力及び資質等を養成することを目的とする。 |
| 教員研究懇談会 | 全教員        | 8月、12月頃 | 教員の資質向上を目的とし、学科から選考された教員が発表を行う。                                              |

## 高知工業高等専門学校

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承ください。  
なお、お問い合わせはSPOD事務局までお願いします。

| 研修名            | 対象者          | 開催時期    | 目的・内容                                                                                      |
|----------------|--------------|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 新任教職員研修        | 新規採用者（教職員）   | 採用時     | 新たに採用になった教職員に対し、本校教職員としての使命と心構えを自覚させるとともに、業務遂行に必要な基礎知識、能力及び資質等を養成することを目的とする。               |
| 放送大学研修         | 教職員          | 1学期・2学期 | 放送大学高知地域学習センターの協力のもとに、職務遂行に必要な幅広い知識及び視野、基本的な社会知識を習得させ、教職員の資質の向上を図ることを目的とする。                |
| メンタルヘルス研修会     | 教職員          | 未定      | 教職員の心身の健康管理について毎回テーマを絞り、正しい理解と対処方法についての知識を高めることを目的とする。                                     |
| 新任教員FD研修       | 本校に新採用となった教員 | 通年      | 通年にわたり、指導教員との相互授業参観や指導教員からの授業方法等に関するアドバイス等を受けることで、授業力や教育力を向上させ、学生によりよい授業が提供できる教員育成を目的とする。  |
| FD研修会          | 全教員          | 8月、12月頃 | テーマを絞った教育改善のための研修会を実施する。<br>(例) 学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは？                                          |
| 教員の相互授業参観      | 全教員          | 7月～8月初旬 | 教員が相互に授業を参観し、授業改善への意識の向上を図るとともに、学生が授業に取り組む姿勢を見学して授業改善の必要性を感じてもらうことを目的とする。                  |
| 学生による授業評価アンケート | 全教員          | 7月、1月   | 学生による全科目の授業評価を実施し、その結果に対して、教員の振り返りコメントを入力させることにより授業改善への意識の向上を図るとともに、授業改善や工夫を喚起させることを目的とする。 |

## ■各種研修プログラムのお申し込み・お問い合わせについて■

**徳島大学**（〒770-8501 徳島県徳島市新蔵町2丁目24, HP <http://www.tokushima-u.ac.jp/>）

|                                                                                                                     |                                                                                                                   |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>【FDプログラム】</b><br><b>学務部教育支援課教育企画室</b><br>TEL：088-656-7686 FAX：088-656-7688<br>E-mail：kykikakuk@tokushima-u.ac.jp | <b>【SDプログラム】</b><br><b>総務部人事課SD担当</b><br>TEL：088-633-7017 FAX：088-633-7474<br>E-mail：jinjihosak@tokushima-u.ac.jp |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

**香川大学**（〒760-8521 香川県高松市幸町1-1, HP <http://www.kagawa-u.ac.jp/>）

|                                                                                                                           |                                                                                                                       |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>【FDプログラム】</b><br><b>教育・学生支援室修学支援グループ</b><br>TEL：087-832-1151 FAX：087-832-1155<br>E-mail：sogaksen@jim.ao.kagawa-u.ac.jp | <b>【SDプログラム】</b><br><b>経営管理室給与福利グループ</b><br>TEL：087-832-1044 FAX：087-832-1054<br>E-mail：jinsenm@jim.ao.kagawa-u.ac.jp |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

**愛媛大学**（〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番, HP <http://www.ehime-u.ac.jp/>）

|                                                                                                                    |                                                                                                               |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>【FDプログラム】</b><br><b>教育学生支援部教育企画課能力開発室</b><br>TEL：089-927-8922 FAX：089-927-8922<br>E-mail：opar@stu.ehime-u.ac.jp | <b>【SDプログラム】</b><br><b>教育学生支援部教育企画課</b><br>TEL：089-927-9154 FAX：089-927-8100<br>E-mail：spod@stu.ehime-u.ac.jp |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

**高知大学**（〒780-8520 高知県高知市曙町二丁目5-1, HP <http://www.kochi-u.ac.jp/>）

|                                                                                                       |                                                                                                         |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>【FDプログラム】</b><br><b>学務部学務課</b><br>TEL：088-844-8144 FAX：088-844-8367<br>E-mail：y-spod@kochi-u.ac.jp | <b>【SDプログラム】</b><br><b>総務部人事課SD担当</b><br>TEL：088-844-8584 FAX：088-844-8119<br>E-mail：kj08@kochi-u.ac.jp |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## ■お申し込み方法■

下記の内容を開催大学の申し込み先にメールで送付ください。

- ①氏名 ②所属大学 ③所属学部，所属部署など  
④職種（教員，職員等） ⑤プログラム番号 ⑥プログラム名

各プログラムには受講定員があります。そのため，申し込み受付は先着順とさせていただきます。

遠隔配信の申し込みについては，各加盟校事務担当者を通じて別途お知らせします。

## ■研修料について■

SPODは、加盟校の皆様の会費によって運営しています。そのため、原則としてSPOD加盟校以外の教職員の皆様は研修プログラムを受講する場合には、研修料を徴収させていただきます。研修料については下の表をご参照ください。ただし、下の表に関わらず外部委託する研修プログラムの研修料は、委託費の総額を受講定員で除した金額とします。

| 区 分 | (1)<br>2時間以下<br>の<br>プログラム | (2)<br>4時間以下<br>の<br>プログラム | (3)<br>1日で終了<br>する<br>プログラム | (4)<br>1泊2日<br>の<br>プログラム | (5)<br>2泊3日以上<br>の<br>プログラム | (6)<br>SPOD<br>フォーラム<br>(受講時間、日数に<br>かわらず) |
|-----|----------------------------|----------------------------|-----------------------------|---------------------------|-----------------------------|--------------------------------------------|
| 研修料 | 2,000円                     | 4,000円                     | 6,000円                      | 12,000円                   | 18,000円                     | 10,000円                                    |

## ■SPODホームページについて■

SPODホームページでは、研修プログラムやSPODフォーラムの内容を随時更新し公表しています。また、これまでのSPODの取組についても掲載しておりますので、是非ご参照ください。

SPODホームページアドレス <https://www.spod.ehime-u.ac.jp/>



## ■お問い合わせ先■

SPOD事務局（愛媛大学教育学生支援部教育企画課）  
TEL：089-927-9154 E-mail：spod@stu.ehime-u.ac.jp

## 研修プログラムガイド 2017

平成29年4月 発行

発 行 四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

(事務局：愛媛大学教育学生支援部教育企画課)

〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番

TEL/FAX 089-927-9154

E-mail [spod@stu.ehime-u.ac.jp](mailto:spod@stu.ehime-u.ac.jp)

ホームページ <http://www.spod.ehime-u.ac.jp/>

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク (SPOD)」は、  
加盟校の共同事業として運営しています。



SPOD=Shikoku

Professional and  
Organizational

Development Network in Higher Education

